

第五十九回帝國議會
衆議院

電氣事業法改正法律案委員會會議錄(速)第五回

會議

昭和六年三月十二日(木曜日)午後一時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 河西豐太郎君

理事 松尾 四郎君

理事 百瀬 渡君

理事 安田 正男君

理事 高見 之通君

理事 大野 伴陸君

藍川 清成君

道源 權治君

淺川 浩君

喜多 孝治君

清瀬規矩雄君

松山常次郎君

同日委員喜多孝治君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ松山常次郎君ヲ議長ニ於テ選定

セリ

同日船舶積量測定法中改正法律案(政

府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ

付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 小泉又次郎君

出席政府委員左ノ如シ

逓信政務次官 中村啓次郎君

逓信參與官 福田 五郎君

逓信省電氣局長 富安 謙次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
電氣事業法改正法律案(政府提出)

○河西委員長 是ヨリ開會致シマス

○清瀬委員 昨日第十七條ノ電氣料金

制ニ付キマシテ色々御伺致シタノデ

アリマスガ、マダハッキリ致シマセヌ

カラ、モウ少シ確メテ置キタイト思

フ、私ハ料金認可ヲナサル基準ト云フ

モノニ付テ、ハッキリ致シマセヌガ、是

ハ又同僚カラモ改メテ御間スルサウデ

アリマスカラ、此點ハ姑ク措キマシテ、

私ハ電力事業者間ノ電力需給ノ關係ニ

付テ、モウ少シ伺ヒタイ、例ヘテ申シ

マスナラバ、甲ノ會社カラ從來電力ヲ

買ッテ居ル、所ガ甲ヨリ安イ電力ガアル

カラ、甲デ買フヨリ乙デ買ッタ方ガ宜

イ、斯ウ云フ場合ニ付テ考ヘマス、

是ハ電力ノ安イ、或ハ過剩シテ居ルト

云フ場合ニ、サウ云フコトガアリ得ル、

所ガ反對ニ電力ガ足ラナクナルト云フ

ヤウナ場合、電力ヲ賣ル方ノ側カラ申

シマス、乙ノ電力會社ニ賣ルヨリ

一今マデ賣ッテ居ッタケレドモ、丙ノ電

力會社ニ賣ッタ方ガ高ク賣レルカラ、乙

ニ賣ルノヲ止メル、斯ウ云フ場合モア

リ得ルト思フ、サウ云フ場合ニモ、電

力界ニ非常ナ混亂ヲ起ス場合ニ、逓信

大臣ハ出動サレテ相當協調ヲ圖リ、電

力界ノ統制ヲ圓滿ニスルヤウニサレル

カドウカト云フコトヲ、ハッキリ御伺致

シテ置キタイ、ソレニ付テ私ハ茲ニ質

問致シマスカラ、ソレヲ肯定サレルカ、

否定サレルカシテ戴キタイ

一、電氣事業者間需給調節契約期間

中、料金其他條件ヲ變更セントスル時、

相互協議調ハザル場合、二、右契約期

間満了シ、更ニ需給ヲ繼續セントシテ

協議調ハザル場合、萬一買手ガ他ヨリ

購入セントスル時、之ヲ電氣事業トシ

テ取扱ハズ、需給ノ繼續トシテ、一方

ヨリ繼續ヲ申請シタル場合、斯ウ云フ

場合ニ於テ逓信大臣ハ御出動ナサル御

意思デアルカドウカト云フコトヲハッ

キリ致シテ置キタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 第十七條ニ付キマシ

テハ、只今御質問ノ要旨ガ一番重要ナ

點ト考ヘマス、カラ、之ニ付テハハッキリ

ト御答ヘシタ方ガ宜カラウト思ッテ居

リマス、只今ノ第一、第二、第三點ニ

互リマス御質問ハ、其爭議ガ公益上ニ

關係アリマスコトナラバ、御質問ノ御

趣意ノ如ク此十七條ノ成文ニ依リマシ

ル取計ヒテ致ス、斯様ナコトハ確ニ此

十七條ニ含マレテ居ルト明瞭ニ御答ヘ

致シテ置キマス

○清瀬委員 サウナリマス、公益上

ノ必要ト云フ解釋ノ問題ニ移ッテ參ル

ノデアリマス、買フ場合ニ於テ、甲ノ

會社デ買フヨリカ、乙ノ會社デ買フ方

ガ宜イト考ヘル場合、賣ル場合ニ於テ

乙ノ會社ニ賣ルヨリモ丙ノ會社ニ賣ッ

タ方ガ宜イト云フ場合ハ、其會社ノ營

業上ノ何ト申シマス、關係カラ

起ルノデアッテ、是ハ必ズシモ公益ト認

メルコトガ出來ルカドウカ、併シ事實

ハ電力界ノ色々ナ混亂、或ハ統制ヲ案

ルト云フヤウナコトニナルノデアリマ

ス、之ヲ公益ト認メルカドウカ、サウ

云フヤウナ場合ヲ一々公益ト認メルカ

ドウカ、一體公益ト云フ定義ヲ今度ハ

御聽キシナケレバナラヌコトニナリマ

スガ、サウ云フ場合ニハドウ云フ御考

デアリマス

○小泉國務大臣 公益上ト申シマスル

コトモ、極メテ是ハ範圍ノ廣イコトデ、

解釋ノ仕様ニ色々アラウト思ヒマス

ルガ、之ヲ要シマスルノニ、御賣業者

ト電氣事業者トノ間ニ於ケル料金ノ爭

付託議案

電氣事業法改正法律案(政府提出)

船舶積量測定法中改正法律案(政府提出、貴族院

送付)

第五類第二十五號

電氣事業法改正法律案(政府提出)委員會會議錄

第五回

昭和六年三月十二日

一

來ストカ、若クハ公共ノ不利益ヲ醸ス
トカ、斯様ナ點ハ公益上ニ必要アリト
云フヤウナ解釋ヲ下スノガ一番適當ダ
ラウト思ヒマス

○清瀬委員 サウ致シマスト、要スル
ニ私が御尋ネシタコトハ、三點ヲ舉ゲ
テ御尋ネ致シマシタガ、此三點ニ付テ、
公益上必要ガアルト認メル場合ニハ、
出動ナサルト云フ御意思デアルト云フ
コトニ承知致シテ宜シイノデアリマス
カ、ソコデ十七條ノ第二項ノ「供給條
件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ
得」ト云フヤウナ御規定ヲ爲サツテ居
ヤウデアリマスガ、此命令ノ内容デゴ
ザイマス、一體ドウ云フヤウナ命令ヲ
爲サルト云フ御意嚮デアルカ、豫メ御
伺ヒスルコトガ出來マセウカ

○小泉國務大臣 只今其命令ノ内容ヲ
此處デ明示致シマスコトハ困難ト考ヘ
マスルガ、此條文ニ依リマスレバ「供
給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト
ヲ得」トシテアリマスカラ、其供給條
件ニ關シマシテ、其時ノ實際ニ當嵌メ
マシテ、サウシテ必要ナル命令ヲイッ
デモ發スルコトガ出來ル、斯様ニ認メ
テ置イタノデアリマスガ、其命令ノ内
容ハドウ云フモノヲ含ンデ居ルカト云
フコトハ、其實際ニ即シテ見マセスト、
只今一寸申上ゲ兼ネルト考ヘテ居リマ
ス

○清瀬委員 昨日私ノ質問ニ對シマシ
テ、中村遞信次官ハ只今申上ゲタヤウ
ナ電氣事業者間ノ需給ノ關係ト云フモ
ノモ、第二十四條ノ「電氣設備ノ效用
ヲ増進シ」ト云フ、此文言ニ依ッテ相當
ニ調節スルコトガ出來ルノダ、相當ニ
取締ルコトガ出來ルノダト云フヤウナ
御説明ガアッタト思フノデアリマス、若
シ此條項ニ依ッテ取締ルト云フコトニ
相成リマスルト、非常ニ危險ガ伴フ、若
シ又是デ御取締ニナルト云フ御意思デ
アレバ、是ダケデハ文字ガ足りナイノデ
アル、要スルニ是ハ統制權ヲ規定サレ
タ條項ト思ヒマスガ、主トシテ是ハ技
術上ニ關スル、例ヘバ設備ノ效用ヲ増
進シ或ハ或ル場合ニ於テハ機械ヲ取換
ヘタ方ガ、效用ヲ増進スルカラ機械ヲ
取換ヘロト云フヤウナコトヲ命令スル
トカ何トカ云フコトデナケレバナラス

ト私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、
所ガ中村次官ノ御答辯ニ依ルト、昨日
此條項ニ依ッテモ、電氣事業者間ノ需給
關係ヲ調節スルコトガ出來ルト云フヤ
ウナ御説明デアリマシタガ、大臣モ左
様ニ御認メニナルノデアリマセウカ、
或ハ是ハ御認メニナラヌト云フノデア
リマセウカ、之ヲハッキリシテ置カヌ
ト、後日ニ必ズ色々ナ問題ガ起ルト思
ヒマス、此點ヲハッキリシテ置キタイト
思ヒマス

○小泉國務大臣 此點ハ昨日モ申上ゲ
タト存ジテ居リマスガ、只今ノ御問ノ
要旨ハ第十七條ノ一項ニ付テ明瞭ニナ
ルト思ヒマス、昨日政務次官ノ申上ゲ
マシタノハ、第十七條ヲ本據ト致シマ
シテ、此二十四條ノ電氣設備ノ效用ヲ
増進スルト云フ中デモ、ヤリ得ルト云
フヤウナ、詰リ之ヲ延長シタ説明カト
思ッテ居リマシタ、只今ノ御尋ノ御趣意
ニ依リマススト、十七條ノ第一項ニ於テ
當嵌ツテ、居ル、斯様ニ信ジテ居リマス
○清瀬委員 然ラバ此第二十四條ヲ電
氣事業者間ノ需給調節ノ法規ニハ、適
用シナイト云フヤウニ諒解シテ宜シイ
ノデゴザイマスカ

○小泉國務大臣 諄々シク申上ゲルヤ
ウデアリマスガ、只今御答致シマシタ
ル通り第十七條ニ於テ明ニ其權能ハ發
揮シ得ラレヨウト思ヒマスカラ、或ハ
二十四條ノ電氣設備ノ效用ノ方ニハ、
關係ガ薄クナル、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、ドウゾ此程度ニ於テ御諒解ヲ願ヒ
タイノデアリマス

○百瀬委員 一寸關聯シテ御尋ネシタ
イト思ヒマス、第十七條ニ付キマシテ、
政友會ノ清瀬サンカラ、先日來反復御
尋ネガアリ、尙ホ其前日ニハ森サンカ
ラモ御尋ガアッタノデアリマス、私モ其
點ニ付テ多少本條ガ明確ヲ缺イテ居ル
嫌ガアルカノヤウニ存ズル者デアリマ
ス、本法ノ改正案ハ、要スルニ統制ヲ
期スルコトガ目的デアリマス、而シテ
統一アル職權ノ發動ヲスルト云フコト
ニアルノデアリマスカラ、例ヘバ需給
兩者ノ相互間ニ於キマシテ、供給スル
者ト需要スル者トノ電氣事業者間ニ於
キマシテ、一方ハ事業ヲ繼續シタイト
云フ希望デアアル、然ルニ需要者ノ方ハ
繼續ヲ好マナイト云フヤウナ狀態ニ置
カレル場合ガアル、是ト反對ニ需要ス
ル側デ繼續ヲ希望シナイ場合、而シテ
供給者側デ繼續ヲ希望スル場合ガ當然
アリ得ル事ト思フノデアリマス、左様
ナ場合ニ於キマシテハ、必ズ協議ガ調
ヒマセズデ、其結果主務大臣ニ兩者ノ
一方カラ申請ヲスル場合ガアルダラウ
ト思フノデアリマス、料金ニ於テモ亦
其通りデアリマス、斯様ナ場合ニ於キ
マシテハ一方ノ申請ニ依リマシテモ、
協議ノ調ハナイ場合ニ於キマシテハ、
主務大臣ハ之ヲ裁定スルト云フコトニ
シナケレバ如何カト思フノデアリマ
ス、本條ハ其點ニ於テ、稍、明確ヲ缺ク
嫌ガアルノデアリマス、主務大臣及ビ
政府委員ノ御説明ニ依リマシテモ、サ
ウ云フ意思デアルト云フ事ダケハ分ッ
テ居リマスケレドモ、就キマシテハ之
ヲ更ニ省令カ何カノ中ニ、具體的ニサ
ウ云フ事ヲ明記シテ置ク必要ガアリハ
シナイカト思フガ、ソレニ對シマシテ

思ヒマス

思ヒマス

當局ノ御考ハ如何デアリマスカ

○小泉國務大臣 此法文ニ依ッテ明瞭ヲ缺クノ虞アリト致シマスレバ、將來左様ナ疑義ノ生ジマシタ時ニハ、明確ニ命令若クハ裁定ヲスルト云フ具體的ノ事ヲ省令ヲ以テ別ニ設クルコトニハ一向異議ガゴザイマセヌ、而シテ遞信省ニ於キマシテハ、左様ナ事ヲ省令デハツキリ致シタイト考ヘテ居リマス

○森委員 只今ノ問題ハ相當大キイ事ト思ヒマスガ、是ハ電氣委員會ノ諮問事項中ニ具體的ニ記入スルコトガ出來得マスカ、ドウデスカ

○小泉國務大臣 本案ニ付キマシテハ、第十七條ニ付テ最モ各位ガ慎重ニ御審査ヲ願ッテ居ルヤウニ感ジテ居リマスノデ、只今森君ノ御尋ノ通り是ハ委員會ノ諮問事項ニ明記スルト云フコトヲ御答致シマス

○清瀬委員 新規需用ト云フ御解釋ヲ私ハ一應御伺シテ置キタイト思ヒマス、先般私ノ豫算分科會ニ於ケル質問ニ於キマシテ、政府委員ノ方ハ、新規需用ト云フノハ新シイ需用ヲ新規需用ト云フノデアッテ、從來繼續シテ居ッテ、期間ガ參ッテ期間ガ滿了致シタノハ、ソレハ新規需用トハ認メナイ、所ガ事實上ニ於テハ斯ウ云フ事ガアリハシナイカト思フ、今マデ需給關係ヲ結ンデ居ッタ、所ガ期間ガ滿了致シテ、需給關係

ノ契約ノ期限ハ過ギタ、此場合ニ於テ之ヲ新規需用ト認メナケレバ、新ニ供給區域ノ認可ヲ受ケタ會社ハ、之ヲ取ルコトハ出來ナイト云フコトニナル、所ガ需用者ノ方デ、今マデノ會社ト繼續シテ需給關係ヲ結ブコトハ嫌ダ、他ノ會社カラ需用致シタイト云フ場合ニハ、ドウ云フ御取計ニナルカ、斯ウ云フ場合ニ於ケル新規需用ト云フ御解釋ヲドウ云フ風ニナサルノデアアルカ、從來ナサツテ居ルカ、又今後モ爲サラウト云フノデアアルカト云フ事ヲ一應御伺ヒシタイ

○小泉國務大臣 其點ニ關シマシテハ、電氣局長カラ御答致サセマス

○富安政府委員 御答申上ゲマス、新規需用ト云フ事ガ問題ニナリマスノハ、區域ヲ重複シテ許可致シマス場合ニ於キマシテ、重複ノ結果、競争ノ望マシクナイ不當ナ程度ニマデ激化スルコトヲ防遏致シタイト云フ目的ヲ以テマシテ、極ク近イニツバカリノ處分ノ場合ニ於キマシテ附ケタル條件ノ中ニ、新規需用ハ此程度ノモノニ限ルト云フコトヲ附ケタ、其爲ニ新規需用ト云フコトガ問題ニナリ、又御尋ノヤウナ事モ起ッタノダト考ヘテ居リマス、其場合ニ條件ニ新規需用ト書キマシタ文字ガ何ヲ考ヘテ居タカト云フコトニ付キマシテハ、分科會ノ時ニ御話ヲ申上

デタヤウナ事ヲ私共ハ觀念ニ致シテ居リマシタ、併シソレダケヲ以チマシテハ、御示シニナリマシタヤウナ契約期間ガ滿了シタ場合ニ新シキ供給者ノ方ヘ行ク事ガ、所謂新規需用ノ中ニ入ルカ入ラスカト云フ問題ニハ、直接解決ノ鍵ニナツテ居ナイノデ、別ノ問題トシテ考ヘナケレバナラヌ事ナノデアリマス、契約ノ期間ガ滿期ニナツタ場合ニ、新シキ需用者ニ參ルト云フ事ガ、果シテ新規需用ト云フ條件ニ違反スルカ、又違反シナイカト云フ事ニ付キマシテハ、一概ニ之ヲ違反スルトモ、又違反シナイトモ言ヒ兼ネルト存ジマス、個個ノ場合ニ方リマシテ、其當該ノ新ニ設定セントスル需給ノ關係ガ、附シマシタル許可ノ條件ノ趣旨精神カラ見テ適合スルモノデアアルカナイカト云フヤウナコトヲ、諸般ノ狀況カラ綜合シマシタ上デ判斷ヲ下シテ、是ハ競争ヲ防遏スル趣旨ヲ以テ附シタ條件ノ精神ニ合シナイモノデアアルト云フノデ、許可シナイ場合モアリマセウシ、又必シモサウデナイ場合モアルカト存ジマス、要スルニ豫メ抽象的ニ、御示シノヤウナ場合ガ所謂新規需用トシテ認メラルベキモノニ入ルカ入ラスカト云フコトヲ一概ニ申上ゲルコトハ出來ナイ、個個ノ場合ニ付テ判定スルノ外ハナイ問題デアアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマ

ス

○清瀬委員 少シハツキリ致サナイノデアリマスケレドモ、要スルニ遞信省ノ御解釋デハ、新規需用ト云フモノハ、契約期間ガ滿了致シタカラ、之ヲ新規需用トハ見ナイト云フ原則ハ御認メニナツテ居ルト思フ、ソコデ其場合ニ於テ、今マデ供給ヲ受ケテ居ッタ以外ノ會社カラ供給ヲ受ケタイト云フヤウナ場合ニ、之ヲ新規需用トシテ御取扱ニナルノデアアルガ、或ハ是ハマア具體的デアアリマセヌガ、一々ニ付テ言ハナクテモ多ク有リ得ルコト、思フノデアリマスカラ左様ナ場合ニ一體之ヲ新規需用トシテ認メナイノデアリマスカ、新規需用トシテ認メルノデアリマスカ極ク簡單ナコトデアリマスガ、モウ少シハツキリ御答辯出來マセスカ

○富安政府委員 ソレガ私ヨリ先程申上ゲマシタ、甲會社ト乙需用者ト云フヤウナ關係ニマデ具體的ニ當ッテ見テ上ゲナケレバ申上ゲ兼ネルト云フコトヲ申シテ居ル譯デアリマス、新規需用ト云フ場合ノ觀念ノ中ニ、契約滿期ノ場合モ合セテ入レルモノト考ヘル譯デハナイト云フコトヲ先ヅ申上ゲマシタ、然ラバ新シイ問題トシテ、契約滿期ノ場合ハドウカト云フコトニ付キマシテハ箇々ノ具體的ニ甲會社乙需用者ト云フヤウナコトニ付テ詮議シタ上デ

第五類第二十五號 電氣事業法改正法律案(政府提出)委員會會議錄 第五回 昭和六年三月十二日

ナケレバ、ソレニ新シク供給スルコトヲ認ムベキカ認ムベキモノデナイカト云フコトヲ決シ兼ネル、斯様ニ申ゲタ次第デアリマス

○清瀬委員 次ニ私二十一條ニ付テ、

チヨット昨日御伺ヒ致シマシタガ、大臣ノ御意向ヲ確メテ置キタイ、二十一條ニ「他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ」ト云フコトニナツテ居リマス、他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズト云フコトニ相成ルナラバ、營ムコトハシナイケレドモ、併ナガラ投資ヲスルコトハドウ云フコトニナルカ、營ミハシナイケレドモ、事實上ニ於テ營ムト同様、或ハ營ム以上ニナル投資ヲ致シテ、九分九厘マデ或ル會社ノ株ヲ持ツテ、而シテ自分達ガ營業シテ居ルノデナイカラ、他ノ會社デア

ス様ナ風ニ政府委員カラ答ヘタヤウニ心得ヘテ居リマスガ、ヤハリ政府委員ノ答辯ガ正鵠ヲ得テ居ルト、私トシテハ左様ニ考ヘテ居リマス

○清瀬委員 第三條ニ色々認可ノ條件

ガアル「左ノ書類ヲ具シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、此中ニ定款ト云フモノガ入ラナケレバナラスト思フ、起業目論見書、工事設計書、工事費概算書デアルトカ云フモノガ入ッテ居ルガ、定款ト云フモノ此處ニ入レナケレバナラスト思フ、何故入レナイカ、定款ト云フモノデアル場合ニハ、御取締リニナラナケレバナラスト思フ、所ガ定款ハ一面此處ニ入ッテ居ナイ、之ヲ除外シタト云フ理由ハ何處ニ在ルカ、之ヲ御伺ヒヲ致シテ置キマス

スヘシ、一水力ヲ原動力ニ使用セムトスルモノハ發電水力ノ使用ニ關スル當該官廳ノ許可書並命令書ノ謄本未タ其ノ許可ヲ得サルモノハ其ノ願書ヲ當該官廳ニ提出シタルコトヲ記載セル書面、

二他ヨリ受電スル電力ニ依リ電氣事業ヲ經營セムトスルモノハ其ノ供給者トノ契約者受電地點、送電ノ責任分界、受電電力」是ハ略シマス「四既設會社ノ事業ニ在リテハ定款及會社登記簿ノ謄本並株主總會若ハ社員ノ電氣事業經營ニ關スル議事及決議錄ノ謄本」ト斯様ニアリマシテ、是ノ書類ヲ添付スベシト云フ中ニ既設會社ノ事業ニ在リテハ定款及會社登記簿ノ謄本ト斯様ナコトガアリマスカラ……

○清瀬委員 私ノ申上ゲルノハ添付書類デナイノデアル、添付書類デアッタナラバ、遞信省ノ方デハ是ハイケナイカラ此處ヲ直セト訂正サシタリ變更サシタリスルコトガ出來ルカ知レマセヌガ、定款ニ依ッテ色々ナコトガ決メラレ

ナケレバナラストデハナイカ、此中ニ御入レニナツタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘタノデ御尋致シタノデアリマスガ、餘リ私ノ質問バカリ長クナリマスカラ、成ベク簡單ニシテ先進ミマス、第二十二條ノ「電氣事業ノ會計ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテ居ルガ、其命令ハドウ云フ風ニ御定メニナル積リデアリマスカ、承ルコトガ出來レバ承リタイ、會計ニ關スル事項ハ、利益ノ配當デアルカ、銷却デアルカト云フコトハ一々之ヲ規定ナサル御積リデアアルカドウカト云フコトヲ御伺シテ置キタイノデアリマス

○小泉國務大臣 第二十二條ノ會計ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、是モ最モ重要ナ案ノ一ツデアリマス、只今御尋ノ如ク配當ノ如キマデ何割配當スルガ宜イカト云フヤウナコトハ、餘程是ハ重大ナ問題ト思ヒマスカラ、此條項ニ付キマシテモ左様ナ方針ハ是モ委員會ニ於テ能ク審議シテ貰ヒマシテ、其答申ヲ待ツテ決定ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○清瀬委員 第二十三條デゴザイマス、主務大臣ハ電氣工作物及其ノ工事、業務並ニ會計ニ關シ電氣事業者ニ對シ改築、改善其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトニ

○小泉國務大臣 昨日二十一條ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答ガシテアルサウデアリマスルガ、其速記ノ大要ヲ見マスルト、定款等ニ明記セズシテ、正面カラハ何等ノ現ハレモナクシテ、巨額ナ投資ヲサレテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、ドウモ是ハ他ノ事業ト看做スト云フコトハ困難デハナイカ、

斯様ナ風ニ政府委員カラ答ヘタヤウニ心得ヘテ居リマスガ、ヤハリ政府委員ノ答辯ガ正鵠ヲ得テ居ルト、私トシテハ左様ニ考ヘテ居リマス

ト云フコトニ相成ッテ居リマスノデ、電氣事業法施行規則第一章第一條ニ「電氣事業經營ノ許可申請ニハ左ノ書類ヲ具備スヘシ」トアリ「一起業目論見書、二工事設計書、三工事費概算書第一號様式ニ依リ調製スヘシ、四事業上ノ收支概算書第二號様式ニ依リ調製スヘシ、前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添付

以上ニ定款ト云フモノヲ御認メニナラ

ナルト、是ハ非常ナ主務大臣ニ統制上
必要カモ知レマセヌガ權力ヲ與ヘルコ
トニナル、是モヤハリ委員會デ一々御
諮問ニ相成ツテ、斯ウ云フ御命令ヲ發ス
ルノデアルカ、斯ウ云フコトハ會社ニ
取ツテ餘程私ハ重大ナコトデ、金ガ幾ラ
掛ツテモ、主務大臣カラ命ゼラレ、バ、
シナケレバナラヌト云フコトニナル
ト、會社ノ死活ニ關スルヤウナコトガ
起リ得ルト思ヒマスカラ、是ハ無論委
員會ニ御掛ケニナッタ上ニ御命令ナサ
ルコト、思ヒマスガ、左様ニ承知シテ
宜ウゴザイマスカ

○小泉國務大臣 申上ゲルマデモナイ
ノデアリマスガ、此電氣事業ハ他ノ一
般ノ事業ト違ヒマシテ、公企業、公共
的ノ事業デアリマスガ故ニ、之ヲ監
督致シマスルニ、餘程力ノ強イ權利ヲ
當局ガ持ツテ居ラザレバ、イツ何時公益
ヲ害スルノ虞ナシトシナイノデアリマ
スカラ、一般事業者ト異ツタ公共ニ關
スル事業デアルト云フ故ヲ以テ、主務
大臣ガ之ヲ監督スル力ヲ餘計持チタイ
ト云フノガ精神デアルノデアリマス、
而シテ此二十三條ノ第二項ハ大體ニ於
テ此點ダケハ料金ノ認可制度ニ致シマ
スル其料金ノ認可ト云フ大キナ問題ニ
付キマシテハ、孰レモ是ハ委員會ニ諮
問スル積リデアリマスガ、其認可ヲ致
シマシタル以上ハ、此二十三條ノ第二

項位ノ行政權ヲ持ツテ居ルコトガ相當
デアルト考ヘテ居リマスノデ、大體ニ
於キマシテハ、此第二項ダケハ諮問委
員會ニハ掛ケズニ、主務大臣ニ於テ此
行政ハ進行シテ見タイ、現在デハ斯様
ニ考ヘテ居リマスガ、但シ此中ニ會計
ニ關スルト云フヤウナコトデ、重要ナ
問題ニナリマシテ主務大臣ガ餘リ特權
ヲ揮ヒ過ギルト云フ虞ガアリマス致
シマスレバ、其時ニハ又別ニ考直シマ
スガ、只今ノ所ニ於キマシテハ、第二
項ダケハ先以テ委員會ノ方ニハ諮問シ
ナイト云フダケノ考ヲ持ツテ居リマス

○小泉國務大臣 第二十三條ノ第一項ノ、此
致シマス、第二十三條ノ第一項ノ、此
行政官廳ト云フノハ、是ハ遞信省デア
リマスカ、但シハ地方廳ヲモ含ムノデ
アリマスカ、行政官ト云ヘバ甚ダハッ
キリ致シマセヌガ、地方廳ヲモ含ムト、
地方廳ガ勝手ニ電氣會社ノ工作物ト
カ、或ハ財産、會計ノ狀況ニ關シテ檢
査スルト云フコトニナルト、隨分ヤ
ヤコシクモアレバ、又地方廳ト主務省
トノ間ニ見解ノ相違ガ起ツタリ、隨分弊
害モ起ルト思フノデアリマス、デ此際
行政官廳ト云フノハ何處ヲ御指シニナ
ルノデスカ伺ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 第二十三條ノ行政官
廳ハ遞信局長竝ニ地方長官ヲ意味シテ
居ルノデアリマスルガ、但シ二十三條
ノ一項ハ「檢査ヲ爲シ又ハ報告ヲ爲サ
シムルコトヲ得」ト云フノデアリマス
カラ、極メテ是ハ輕イ權限ニナツテ居リ
マスカラ、其程度デ宜カラウト斯様ニ
考ヘテ居ル次第デアリマス

○清瀨委員 特權ヲ揮ヒ過ギルト考ヘ
ル場合ニハ、委員會ニ御掛ケニナルト
云フ、其揮ヒ過ギルコトヲ御判斷ナサ
ルノハ大臣デアアル、自分デ以テ特權ヲ
揮ヒ過ギルト云フ御判斷ヲナサツテ、是
ハ委員會ニ掛ケルカ掛ケナイカト云フ
コトヲ、オキメニナルト云フコトハヤ
カシイト思ヒマス、一體各條項共重大
デアリマスガ、此條項モ非常ニ重大デ
アリマス、時ニ依ルト、前ニモ申シタ
ヤウニ、會社ノ財産ヲ拂ツテシマハナケ
レバナラヌト云フコトニナル、會社ノ
死活ニモ關スルコトガ起リ得ルノデア
リマスカラ、之ヲ委員會ニ掛ケナクシ
テ、大臣ガ勝手ニオヤリニナルト云フ
コトハ隨分危險ガ伴フト思フ、是ハ是
非委員會ニ御掛ケニナルヤウニ御願ヒ

○清瀨委員 ちットモ輕クナイト思フ
ノデアリマス、大臣ハドウ云フ御考デ
輕イト仰シヤルカ知レマセヌケレド
モ、業務及財産ノ狀況ニ關シ檢査ヲ爲
シ又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得」ト
云フコトニナルト、何時デモ報告ヲサ
セルコトガ出來ル、檢査ヲスルコトガ
出來ル、檢査ヲスルト云フコトハ、決
シテ私ハ輕クナイト思フ、遞信局ナラ

○小泉國務大臣 第二十三條ノ法文ハ概
シテ公益ニ關スル事項ニ於テノミ重キ
ヲ置イテアルノデアリマシテ、別ニ命
令權ハナイノデアリマスルカラ、先ヅ
電氣工作物其他ノ工事、業務及財産ノ
狀況ニ於テ、公共ニ利害關係ヲ持ツ、
惡影響ヲ來スト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ遞信局長竝ニ地方長官
ニ其檢査ヲ爲サシメテ、公益ヲ害セナ
イヤウニト云フノ目的ヲ以テ、此案ヲ
立案シタ次第デアアルノデアリマシテ、
命令權等ハ與ヘテ居リマセヌノデ、輕
イト云フコトハ私ハ命令權ヲ含ンデ居
ラスカラ輕イト申シタノデ、全然無意
味ニ輕イト申シタノデアリマセヌカ
ラ、其點モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○清瀨委員 ソレハ其御積リカ知ラス

○小泉國務大臣 第二十三條ノ法文ハ概
シテ公益ニ關スル事項ニ於テノミ重キ
ヲ置イテアルノデアリマシテ、別ニ命
令權ハナイノデアリマスルカラ、先ヅ
電氣工作物其他ノ工事、業務及財産ノ
狀況ニ於テ、公共ニ利害關係ヲ持ツ、
惡影響ヲ來スト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ遞信局長竝ニ地方長官
ニ其檢査ヲ爲サシメテ、公益ヲ害セナ
イヤウニト云フノ目的ヲ以テ、此案ヲ
立案シタ次第デアアルノデアリマシテ、
命令權等ハ與ヘテ居リマセヌノデ、輕
イト云フコトハ私ハ命令權ヲ含ンデ居
ラスカラ輕イト申シタノデ、全然無意
味ニ輕イト申シタノデアリマセヌカ
ラ、其點モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○小泉國務大臣 第二十三條ノ法文ハ概
シテ公益ニ關スル事項ニ於テノミ重キ
ヲ置イテアルノデアリマシテ、別ニ命
令權ハナイノデアリマスルカラ、先ヅ
電氣工作物其他ノ工事、業務及財産ノ
狀況ニ於テ、公共ニ利害關係ヲ持ツ、
惡影響ヲ來スト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ遞信局長竝ニ地方長官
ニ其檢査ヲ爲サシメテ、公益ヲ害セナ
イヤウニト云フノ目的ヲ以テ、此案ヲ
立案シタ次第デアアルノデアリマシテ、
命令權等ハ與ヘテ居リマセヌノデ、輕
イト云フコトハ私ハ命令權ヲ含ンデ居
ラスカラ輕イト申シタノデ、全然無意
味ニ輕イト申シタノデアリマセヌカ
ラ、其點モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○小泉國務大臣 第二十三條ノ法文ハ概
シテ公益ニ關スル事項ニ於テノミ重キ
ヲ置イテアルノデアリマシテ、別ニ命
令權ハナイノデアリマスルカラ、先ヅ
電氣工作物其他ノ工事、業務及財産ノ
狀況ニ於テ、公共ニ利害關係ヲ持ツ、
惡影響ヲ來スト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ遞信局長竝ニ地方長官
ニ其檢査ヲ爲サシメテ、公益ヲ害セナ
イヤウニト云フノ目的ヲ以テ、此案ヲ
立案シタ次第デアアルノデアリマシテ、
命令權等ハ與ヘテ居リマセヌノデ、輕
イト云フコトハ私ハ命令權ヲ含ンデ居
ラスカラ輕イト申シタノデ、全然無意
味ニ輕イト申シタノデアリマセヌカ
ラ、其點モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

ケレドモ、第一是ハ公益上ノ事ノミ検査スルト云フガ、サウ云フコトハ此條文カラハ見ラレス、無論公益ノ必要ガナケレバ検査シナイダラウケレドモ、此條文デ見ルト、勝手ニ會社ニ乗込シテ行ッテ、財産カラ會計マデ検査スルコトガ出來ルヤウニ見エル、サウ云フコトハ減多ニナイカ知レスケレドモ、ヤハリ爲シ得ルノデアリマス、公益上トカ何トカ仰シヤルケレドモ、公益上検査シナケレバナラヌ場合ノ規定ナドハ何ニモアリハシナイ

○小泉國務大臣 此検査ハ、業務狀態ノ實情ヲ検査スルト云フノ程度デアリマシテ、若モ此法文ヲ濫用シマシテ、サウシテ官憲ガ何カ壓迫デモ試ミヤウトスレバ、其餘地ガナイデモアリマセヌ、御説ノ通りデアリマスガ、從來ハ左様ナコトハ餘リナイノデ、此法文ヲ

楯ニ致シマシテ、電氣局長、逓信局長竝ニ地方長官ガ、サウドウモ非常識ニ之ヲ濫用スルヤウナコトノ虞ハナイト、斯ウ考ヘテ居リマス、本案ノ趣旨竝ニ精神ハ既ニ申上ゲマシタル通り、此電氣事業ハ總テ公共的ノ事業デアルカラ、公共ニ利害關係ヲ持ツ關係上、此精神ニ於キマシテ條文ヲ置イタ次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○清瀨委員 私ハ逓信局長ガ検査ナサルコト云フコトガ至當デアラウト思ヒマ

ス、地方長官ガ之ヲ検査シナケレバナラヌ理由ハ何處ニアルカ、ソレヲ御伺スルノデアリマス、サウ云フコトヲ申スノハドウカ知リマセヌガ、大體ニ於テ政爭ガ段々酷烈ニナッテ——惡口ヲ言フノデアリマセヌガ、今日内務大臣ハヤタラニ検査局等ヲモ勝手ニ動かシテ、色々黨勢上ノ便利ヲ圖ルコトガアルノデアリマス、一體斯ウ云フヤウナ検査ヲ地方廳ニ許サナケレバナラヌ理由ハ何處ニアルカ、逓信局或ハ逓信省デ検査ニナッテモ十分デハナイカ

○小泉國務大臣 簡單ニ御答致シマス、其點ニ付キマシテハ、地方廳ニ検査權ヲ持タセマシタノハ、一言ニシテ申上ゲマスナラバ、衛生上、保安上ト云フヤウナ關係ガアリマスノデ、地方長官ニ検査セシムル條項ヲ置イタノデアリマス

○清瀨委員 益ヲカシイト思ヒマス、衛生上保安上ニ付テ考慮シナケレバナラヌカラ、財産狀態マデ検査サセナケレバナラヌトハ少シヲカシイデヤアリマセヌカ、或ハ工事ノ方ナラバ、時ニ依ルト人命ノ保安、或ハ色々ナ點ニ於テ、地方長官ガ検査シナケレバナラヌ場合ガアルカモ知レスト思ヒマス、併ナガラ會計ガドウシテ保安トカ衛生ニ關係ガアリマスカ、益ヲカシイデヤアリマセヌカ

○小泉國務大臣 財産ノ狀況ニ關シテ検査致シマスコトハ、實際上ニ於テハアルマイト思ヒマス、無イモノヲ何故書イタカト云フ御質問ガアラウト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテハ、電氣工作物竝ニ其工事、業務ニ關聯致シマシテ、從ッテ財政上ノ狀態ニモ關聯シテ來マスカラ、茲ニ財産上ノ検査ヲ附加ヘタノデアリマス、財産上ノ検査ヲ目的トスルノデハナイト云フコトヲ明言致シマス

○清瀨委員 財産ノ狀況、業務ノ事等ハ、逓信局ヤ逓信省デ十分出來ルト思ヒマス、地方長官ニサウ云フ検査ヲサセナケレバナラヌコト云フコトハナイト思フ、サウ云フコトヲサセルト、色々ナ弊害ヲ生ムコトニナルカラ、斯ウ云フコトハ御除ケニナッたら如何デアルカ

○富安政府委員 大臣ノ仰シヤイマシタコトヲ、私カラ少シ補足的ニ申上ゲサセテ戴キタイト思ヒマス、成程言葉カラ申シマス「行政官廳ハ」ト云フノデ、「行政官廳ハ電氣事業者ニ對シ電氣工作物及其ノ工事竝ニ業務及財産ノ狀況ニ關シ検査ヲ爲シ又ハ」斯ウ云フ風ニアリマス、文理ノミノ解釋ト致シマシテハ、成程行政官廳ノ中ノ地方長官ハ業務ニ關係ハナイノデアリマス、併ナガラ此法條ヲ置キマシタ趣旨精神ト

云フモノハ、現行法ノ施行規則ニ於キマシテ、第七十條ノ二ト云フ「地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ公益上必要ト認ムルトキハ電氣事業ノ實況ヲ検査シ且危險急迫ノ場合ニ在リテハ電氣事業者ニ對シ保安上必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ」トアリマス、新様ナ趣旨ニ基キマシテ、同様ノ規則ヲ此改正法案ニ置キマシテモ適當デアル考デ、此法案ガ出來テ來テ居リマス、保安上ノ點ヲ主トシテ考ヘル時ハ、成程逓信局ニ電氣課ト云フモノガアリマシテ、保安的ノ見地カラモ無論検査其他ノ適當ノ措置ヲ致スノデアリマスケレドモ、業務ノ方面ト違ヒマシテ、保安上ノ必要アリト云フ點ニナリマス、地方長官ニ對シマシテモ亦權限ヲ與ヘマシテ適當ニ處理スル必要ガアリハシナイカ、サウスルノガ性質上適當デハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、現行法ノ趣旨ヲ其儘私ハ必要ト存ジマスルノデ、法條トシテハ斯様ニ致シマシテ、規則ヲ立テマスル場合ニ於キマシテハ、此現行ノ規則ト同ジモノヲ作ル積リデ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○清瀨委員 ソレカラ私ハ保安上ノ關係等ニ付テ、工事工作物ノ検査ヲナストカ、或ハ報告ヲ取ラセルト云フヤウナコトハ、是ハ有り得ルコトデ、至極

結構ダト思ヒマス、併シ少クトモ地方長官ニ會計財産ノ検査ヲサセ、報告ヲ出サセルト云フヤウナ権限ヲ與ヘルト云フコトハ、今マデ餘リ弊害ハナイカモ知レマセヌケレドモ、是ハ弊害ヲ伴ヒ易イ、殊ニ政争ガ段々苛烈ニナツテ來テ、色々ナ機關ヲ利用シテ黨勢ヲ擴張スルコトニ努メルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ實ニ私ハ危險ナル條項ダト思ヒマス、少クトモ斯ウ云フ會計検査、財産検査ト云フコトハ御止メニナツタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、是モ意見ノ相違カモ知レマセヌカラ、此程度ニ止メテ置キマス、ソレカラ第二十四條デアリマスガ、之ニ付テハ色々ナ議論モアリマスケレドモ、私ハ成ベク早ク切上ゲタイ意味デ、詳シイコトハ止メマスガ、第二項ニ「前項ノ命令ニ因リ必要ヲ生ジタル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ハ關係電氣事業者ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス」此「主務大臣之ヲ裁定ス」ト云フ條項ハ到ル處ニ澤山アル、若シ主務大臣ノ裁定ガ不服デアッタバ、何箇月以内カニ通常裁判所ニ出訴セヨト云フコトヲ御認メニナツテ居ル、所ガ二十四條ニ限ツテ、普通裁判所ニ出訴權ヲ御認メニナツテ居ナイ、是ハ如何ナル理由デ此條項ダケ之ヲ御認メニナラヌノデアルカ、例ヘ

バ私ノ考デハ、小サイト思フヤウナコトマデモ一々三箇月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルト云フヤウナ條項ヲ御認メニナツテ居テ、是ハ場合ニ依ッタラ會社ノ運命ヲ賭サナケレバナラヌヤウナコトガアル、「電氣ノ流用又ハ工事ニ關スル期間ノ伸縮ヲ命ズルコトヲ得」ト云フヤウナ統制權ヲ御置キニナルナラバ、又隨分之二ハ費用ノ分擔等ニ付テモ苦情ガ起リ得ルト思フ、斯様ニ相當大キイ條項ニ限ツテ、出訴權ヲ御認メニナツテ居ナイノハ如何ナル理由デアリマスカ

テハ、遞信大臣ノミヲ以テ最後ノ裁定ヲ致スコトガ適當デナカラウト考ヘマシテ、總テ此ヤウナ場合ニ於キマシテハ、財産ノ權利ニ對スル紛争ノ最終ノ解決機關デアアル民事ノ裁判所ニ訴ヘルコトニナツテ居リマス、之ニ反シマシテ二十四條ノ場合ノ如キハ、事ガ全ク電氣事業者ノ關係ニ掛ルコトノミデアリマシテ、其場合ニハ事柄ガ財産的ノ性質ヲ持ツテ居リマシテモ、最モ能ク事情ヲ知悉シテ居ル所ノ遞信大臣ダケノ裁定ヲ以テ適當トシ、又ソレダケデ十分分ルコト、考ヘテ居リマス、其趣旨ニ基キマシテ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メナイト云フコトニ致シテ居リマス

續ニ依ツテ運用セラル、モノデアリマスカラ、主ニ利益ノ増進ノミニ重キヲ置イテ統制命令ヲ發スルノデアリマス、實際ニ於キマシテハ損失補償ト云フ如キ問題ハ生ジナイト考ヘテ居ルノデアリマス、其理由ト致シマシテハ、本案ノ統制命令ハ、特定人ノ利益ノ爲デハアリマセヌノデ、國家全體ノ利益ノ爲ヲ圖ツテ居リマス適法處分デアリマスカラ、斯ル適法處分ニ因ル國家ノ損失補償ノ制度ハ、我國ニ於キマシテハ未ダ確立シテ居ラスト思ツテ居リマス、電氣事業者ハ經營權ヲ特許セラレタモノデ、獨占的ノ性質ノ事業ヲ經營致シ、隨分事業上ノ特權モ認メラレテ居ルノデアリマス、或ル程度ノ義務負擔ノ如キハ、犠牲的ニ之ヲ忍ンデ貫フコトガ至當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、今日ノ所統制命令ニ依ル損失ノ補償ノ如キハ、未ダ國家トシテ考ヲ持ツテ居ラスト云フコトヲ御答致シマス

○富安政府委員 私カラ御答申上ゲタイト思ヒマス、御話ノヤウニ、本法案ヲ通ジマシテ、或ハ最終ノ出訴ヲ認メテ居ル場合モアリマスシ、又認メテ居ナイ場合モアリマス、ソレニ付キマシテハ、大體私共ノ考ヘテ居リマスル一定ノ標準ヲ立テマシテ、或場合ニハ出訴スルモノモアリ、或場合ニハ出訴マデ至ラナイデ、裁定ダケニ止メタノデアリマス、ソレハ如何ナル場合ニ出訴ヲ認メナイデ裁定ダケニ止メタカト言ヒマス、遞信大臣主管ノ事務以外ノ關係ニ於キマシテ、他ニ主務大臣ノアルヤウナ關係事項ニ關シマシテ、而モ其事項ガ協議ヲ必要トシ——協議シ能ハザル場合ニ付テ、何等カキメナケレバナラスト云フヤウナ場合ニ關シマシ

テハ、遞信大臣ノミヲ以テ最後ノ裁定ヲ致スコトガ適當デナカラウト考ヘマシテ、總テ此ヤウナ場合ニ於キマシテハ、財産ノ權利ニ對スル紛争ノ最終ノ解決機關デアアル民事ノ裁判所ニ訴ヘルコトニナツテ居リマス、之ニ反シマシテ二十四條ノ場合ノ如キハ、事ガ全ク電氣事業者ノ關係ニ掛ルコトノミデアリマシテ、其場合ニハ事柄ガ財産的ノ性質ヲ持ツテ居リマシテモ、最モ能ク事情ヲ知悉シテ居ル所ノ遞信大臣ダケノ裁定ヲ以テ適當トシ、又ソレダケデ十分分ルコト、考ヘテ居リマス、其趣旨ニ基キマシテ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メナイト云フコトニ致シテ居リマス

○向井委員 今ノ問題ニ關聯シテ大臣ニ御問致シタイ、此二十四條ノ規定ニ基キマシテ、電氣事業者ニ對シテ電氣工作物ノ變更ナドヲ命ゼラレタ場合ニ、其命ヲ受ケテ變更シタ會社ニ取ツテハ、時ニ重大ナル損失ヲ蒙ルコトモアル、此損失ニ對シマシテ、國トシテ之ヲ補償ヲナサル御積リデアアルカドウカ、其點ヲ御伺致シマス

○小泉國務大臣 統制命令ニ依リマス損失補償ノ件ニ付キマシテハ、特ニ一言付加ヘテ御答致シテ置キタイト思ヒマス、統制命令ハ申スマデモナク、此企業全般ノ利益増進ノ爲ニ慎重ナル手

テハ、遞信大臣ノミヲ以テ最後ノ裁定ヲ致スコトガ適當デナカラウト考ヘマシテ、總テ此ヤウナ場合ニ於キマシテハ、財産ノ權利ニ對スル紛争ノ最終ノ解決機關デアアル民事ノ裁判所ニ訴ヘルコトニナツテ居リマス、之ニ反シマシテ二十四條ノ場合ノ如キハ、事ガ全ク電氣事業者ノ關係ニ掛ルコトノミデアリマシテ、其場合ニハ事柄ガ財産的ノ性質ヲ持ツテ居リマシテモ、最モ能ク事情ヲ知悉シテ居ル所ノ遞信大臣ダケノ裁定ヲ以テ適當トシ、又ソレダケデ十分分ルコト、考ヘテ居リマス、其趣旨ニ基キマシテ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メ、或ル場合ニハ出訴ヲ認メナイト云フコトニ致シテ居リマス

○向井委員 今ノ問題ニ關聯シテ大臣ニ御問致シタイ、此二十四條ノ規定ニ基キマシテ、電氣事業者ニ對シテ電氣工作物ノ變更ナドヲ命ゼラレタ場合ニ、其命ヲ受ケテ變更シタ會社ニ取ツテハ、時ニ重大ナル損失ヲ蒙ルコトモアル、此損失ニ對シマシテ、國トシテ之ヲ補償ヲナサル御積リデアアルカドウカ、其點ヲ御伺致シマス

○小泉國務大臣 統制命令ニ依リマス損失補償ノ件ニ付キマシテハ、特ニ一言付加ヘテ御答致シテ置キタイト思ヒマス、統制命令ハ申スマデモナク、此企業全般ノ利益増進ノ爲ニ慎重ナル手

○向井委員 一應御趣旨ノアル所ハ諒承致シマシタガ、此國家全體ノ利益ト申シマスコトハ、ドウ云フ意味カ一寸分リニクイノデアリマス、如何ニ國家ノ利益ニナリマシテモ、即チ公益ノ爲ニ此工作物ノ變更ヲ命ズルト云フヤウナ場合ニハ、公益ナルガ故ニ其變更ヲ命ズルコトガ私ハ出來ルト思フノデア

リマス、私益ノ爲ニハ他人ノ工作物ノ變更ノ命令ハ出來ナイ、公益ナルガ故ニ、即チ今遞信大臣ノ御答ニナッタヤウニ國ノ利益トデモ申シマスカ、公益ノ爲デアルガ故ニ、此工作物ノ變更ヲ命ズルコトガ出來ル、是ハ一ツノ權力作用デアリマセウ、併ナガラ其命ヲ受ケテ工作物ノ變更ヲ致シマシタモノニ取ツテハ、損害ヲ被ル場合が多アルト思フノデアリマス、是等ノ事業者ハ、或ル程度マデノ義務ヲ負擔スルト云フコトモ、亦必ズシモ不可デハナイカモ知レマセスガ、苟モ或ル特定ノ他人ニ對シテ、其財産ヲ徵收スルノ結果ニ陷ルガ如キコトニ對シテ、國ガ補償シナイト云フ理窟ハナイト私ハ思フ、サウ云フ補償ニ關スル特別ナ法規ハナイカモ知レナイ、併ナガラ之ニ類シタモノハアリマセウ、土地收用法ニ依リマシテモ、何レノ場合デモ補償スルコトニナツテ居ル、是ハ政府事業タルト民間事業タルト問ハズ、是レ即チ特定ノ人ニ對スル財産ノ徵收ナルガ故ニ、之ヲ補償スルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ豫算ナドノ關係モアリマセウ、今直ニ私ハ此補償ニ對スル御見込ヲ立テ、豫算ヲ計上ナサルガ宜イトカ惡イトカ云フコトヲ申上ゲルノデハアリマセス、併ナガラ其結果若シ損失ヲ被ラシタル場合ニ於テハ、之ニ對シ

テ國ハ補償スベキ筋合ノモノナリト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ遞信大臣ノ御考ヲモウ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマス

○小泉國務大臣 只今向井君ノ御尋ノ要旨ハ、臨時電氣事業調査會ニ於キマシテモ屢々問題ニナリマシテ、論争ノ焦點トナツタ點デアアルノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ、色々ノ御議論等モアリマシタガ、要スルニ前段ニ私ガ御答致シマシタル趣旨ニ依ッテ、一先ズ諒承ヲ得テ居ルノデアリマス、只今御質問ノ如ク統制案ハ利益ヲ目的トスル爲ニ統制命令ヲ發スルノデアリマスガ、萬々一左様ナ大キナ損害ガアツタ時ニハ、是ハ國家ガ補償スルコトガ相當デアアルト思ッテ居リマスガ、只今今日此法文ニソレヲ明記スルコトハドウデアアルカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、仰セノ如ク國家補償ノ問題ハ、豫算ノ伴フ問題デアリマスカラ、ソレ等モ他日只今ノ御質問ノ趣意ヲ大イニ研究致シマシテ、用意致シタイト思ヒマス

○清瀨委員 二十八條ニ付テ御尋シタイノデアリマスガ、主務大臣ハ三ツノ場合ヲ舉ゲテ、其三ツノ場合ニ於テ「許可ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ會社ノ取締役其ノ他ノ役員ノ改任ヲ命ズルコトヲ得」私ハ其一部若クハ全部ヲ取消スダケ澤山デハナイカ、會社ノ取締

役其他ノ役員ヲ改任スルト云フコトハ外ニ立法例ガアルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ今日ノ時代ノ思想カラ行ケバ、非常ニ誤ッテ居リハシナイカ、滿鐵會社デアルトカ、東洋拓殖デアルトカ云フモノハ政府ガ出資致シテ居ル、政府ガ資本金ノ大部分ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ會社ニ對シテサヘモ、今日役員ヲ政府ガ專斷デ任命スルト云フコトハ間違ッテ居ルデハナイカ、株主カラ選舉サセタラ宜イデハナイカト云フヤウナ時代ニナツテ居ル、ソレト是トハ無

論變リマスガ政府ハ出資モ何モシテナイ、成程或程度マデハ特權モ與ヘテ居ルガ、併シ一方ニハ隨分嚴重ナル監督權ヲ振フト云フヤウナコトニナツテ居ル、會社ノ財産ヲ盡シテマデモ、或ハ或ル場合ニハ施設ノ變更ナドヲ命ズルコトガ出來ルト云フヤウナ、極端ナ監督權ヲ振フトコトガ出來テ居ルノデアアル、其上ニ一體役員ガ命令ニ聽カナカタカラト云フテ、役員ヲ政府ガ更ヘナサイト云フコトヲ命ズルコトハ、如何ニモ官僚主義、時代錯誤ノ甚シイモノデナイカ、斯ウ云フコトヲシナクテモ、十分ニ監督ガ出來ヤシナイカ、又役員カラ云フナラバ、全部若クハ一部ノ特權ヲ取消サレタナラ、其位置ニ居ル人ハアリハシナイ、又株主モ恐ラクハ其位置ニ置カナイト思フ、斯ウ云フヤウナ

コトヲサレルコトハ、非常ナ私ハ誤リデアルト思フ、是ハ議論ニナツテ意見ノ相違ト云フコトニナレバソレダケデアリマスガ、役員ノ改任ナドヲオ止メニナル意思ハアリマセヌデスカ

○小泉國務大臣 此第二十八條ニ付キマシテハ、先般モ政友會ノ御方カラ、只今清瀨君ノ御尋ネノ通りノ御趣旨ノ御質問ガアッタノデアリマスガ、其當時ニ御答ヲシタト記憶シテ居リマス、度度私ガ煩サク申上ゲルヤウデアリマスケレドモ此電氣事業ハ、國家産業ノ基礎タルベキ公共的ノ事業デアリマスカラ、萬々一其公共ニ及シマス利害關係ガ非常ナル場合ヲ考慮致シマシテ、左様ナ時ニハ主務大臣ガ是ダケノ權限ヲ持ッテサウシテ、行政統制ト云フコトヲ掌ルコトガ最モ是ハ適當デアラダラウ只今ノ御話ニ依リマス云フト、官僚主義ノ政治デ、時代錯誤デナイカト仰セラレマシタガ、私ハ之ヲ逆比例ニ考ヘマシテ、所謂國家民衆並ニ公共的ノ利益ヲ保護スル上カラ行キマスレバ、主務大臣ガ此位ノ權利ヲ持ッテ居ルガ統制上總テノ行政權ガ行使シ易クハナイカト、斯様ニ實ハ考ヘテ居リマス、但シ此法案ヲ愈々實行スルカ、ドウカト云フ時ニハ、是ハ極メテ重大ナ問題ノ惹キ起ルコトデアリマシテ、蓋シ此會社ノ取締役其ノ他ノ役員ヲ改任スルガ

如キハ容易ニ實行スベキモノデハナイ、申サバ所謂傳家ノ寶刀デアリマシテ、容易ニ此寶刀ハ拔クベキモノデナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、精神ハ今申上ゲマシタ精神ニ於テ此法文ヲ立案致シタノデアリマシテ、政府ト致シマシテハ皆様ノ成ベク御一致ノ御協賛ニ依リマシテ、本案ノ如ク可決致サレルコトヲ希望致シテ居ル次第デアリマス

○清瀬委員 實ハ頻リニ電氣事業ノ重要性ヲ御説キニナル、私モ是ハ重要ト思フノデアリマス、故ニ到ル所ニ於テ逡巡大臣ノ監督權、是ハ非常ニ私ハ極端ダト思フノデアリマス、四十四億トカ五億トカノ資本ヲ固定シテ居リマス電氣事業ノ死活ノ運命ヲ握ルダケノ監督權ヲ、十分ニ此條文ノ到ル所ニ與ヘテアル、サウシテ此監督權ヲ持ッテ、而シテ第二十八條ノ非常規定デアリマス、此非常規定ヲ行使シナケレバナラヌヤウナ場合ガアッタラ、逡巡大臣ハソレハ非常ニ職務ニ怠慢ナ爲デアル、逡巡大臣ガ職務ニ怠慢デナカッタナラバ

此第二十八條ノ監督權ヲ振フヤウナ場合ガアリ得ナイ、何處デモ、此處デモ悉ク是ハ逡巡大臣ガ命令シ得ル、監督シ得ルコトニナッテ居ル、斯ウ云フコトハアリ得ル筈ハナイ、成程傳家ノ寶刀デアルカモ知レヌガ、傳家ノ寶刀ヲ今

日拔クベキ時代デハナイ、是ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、此上ニ申シハ致シマセヌ、私共ハ斯ウ云フコトハ非常ニ時代錯誤デアルト思フ、逡巡大臣ハ時代錯誤ヂヤナイト仰シヤル是ハ意見ノ相違デアリマスカラ私ハ申上ゲマセヌガ、是ハ甚ダ宜シクナイ規定デアルト思フ、其中ニハ取締役其他ノ役員トアリマスガ、是ハ會社ノ取締役其他ノ役員ト了解シテ宜イノデアリマス、此其他ノ役員ト云フ意味ハ何レニアルノデアリマス、之ヲ御伺ヒ致シマス

○小泉國務大臣 其點ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答スルヤウニ致シマス、此場合一寸御許ヲ得タイノデアリマスガ、今貴族院カラ私ニ是非出席シロ、僅ノ時間デ宜イト云フノデアリマスガ、二十分カ二十五分バカリ御暇ヲ頂戴ヲ致シタイト思ヒマス、直グ又參リマスカラ其間政府カラ御答サシテ戴キタイト思ヒマス(休憩)ト呼フ者アリ)休憩ナサラヌ前ニ戻リマス

○清瀬委員 ソレハ仕方ガアリマスマイ

○富安政府委員 私カラ御答サシテ戴キマス、二十八條ニ「會社ノ取締役其他ノ役員」トアリマス言葉ハ言葉ト致シマシテハ多少明瞭ヲ缺イテ居リマスノデ、御疑念ノ起ルノハ洵ニ御尤モト存ジマスガ、私共此言葉ニ依ッテ觀念

致シテ居リマス所ハ「會社ノ取締役其他ノ役員」ト申シマスノハ、株式會社ノ場合ニ於テハ取締役監督役、合名會社ノ場合ニ於テハ業務執行員、合資會社ノ場合ニ於テハ業務執行員タル無限責任社員、斯ヤウナモノヲ「其ノ他ノ役員」ト云フ言葉ノ中ニ含マシメタル積リデアリマス、一々書イテ書ケナイコトモナイカト存ジマスガ、他ニモ斯ウ云フ立法例ガアリマスカラ、其儘ヲ踏襲ヲ致シマシテ、斯ヤウナ意味デアルト云フコトデ御了承ヲ願イタイト思ヒマス

○清瀬委員 ソコデ私ハ疑ガ起ルノデアリマス、是ハ多ク會社組織ノ場合ヲ御豫想ニナッテ、合名會社株式會社カ知レマセヌガ、兎ニ角會社組織ノ場合ヲ豫想シテ、會社ノ取締役若クハ是ニ準ズベキ役員、斯ウ云フヤウニ諒解ヲ致シマシタガ、此條文ニ依リマシテ、若シ公共團體ノ經營デアッタラドウスルノデアアルカ、公共團體ノ經營デアッテ、斯ウ云フヤウナ失策ヲサレタ場合ニ、一部若クハ全部ノ免許ヲ取消サレルヤウナ場合ニハ、是ハ改任ヲ要求シナイノデアリマス、命ジナイノデアリマス、又個人ノ場合デアリマス、電氣事業ハ今日ハ無論會社組織ガ多イケレドモ、個人タル三井、三菱ト云フヤウナ財閥ガ、個人營業トシテ——清

瀬規矩雄デモ將來十億ノ資産ヲ持ツト、獨リデアル場合ガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニ會社ノ取締ナラバ改任スルガ、個人ハドウ云フコトヲスルノデアリマス、個人ナラ見逃シタル、一部若クハ全部ノ免許ヲ取消シタノデ宜イ、改任スルコトハ出來ナイ、又公共團體ノ時ニハドウスルノデアリマス、之ヲ別々ニスルト云フコトニナッタラ不公平ナモノニナリハシナイカ、是ニ付テドウ云フ取扱ヲスル御考デアリマス

○富安政府委員 個人ニ付テハ只今御話モアッタノデアリマスガ、現在個人經營ノ電氣事業ト云フモノハ體カ七ツカ八ツホカナカッタト思ヒマス、從ヒマシテ今其點ヲハッキリサシテ置ク程ノ必要アリトモ考ヘマセヌ、又一面個人ニ付テハ、許可ノ取消ヲヤルコトニ依ッテ、目的ガ十分達セラレルノデアッテ、會社デアッテコソ初メテ經營ノ法人ニ對スル取締ト相違ンデ重役ノ改任ト云フコトガ考ヘラレルケレドモ、個人ニアッテハ斯様ナニツノ途ヲ聞ク要ガナイノデアリマス、個人ハ除外致シマシタ趣旨デゴザイマス、又公共團體ニ付キマシテハ、是モ相當ニ攻究ハ致シタ積リデアリマスケレドモ、電氣事業法ニ於キマシテ、左様ナ制裁規定ヲ設ケナイデモ、個々ノ公共團體ノ法制

ヲ見マスルト、ソレハ其理事者デア
ル者ニ對スル制裁ノ規定ハ、備ハッテ居
ルヤウニ思ヒマス、ソレヲ以テ足リル
ノデアッテ、重ネテ電氣事業法ニ於キマ
シテ、他ノ會社ノ如キ規定ヲ設クルノ
必要ガナイカニ考ヘマシテ、斯様ナ立
法ヲ致シタ次第ゴザイマス

○清瀬委員 今日現在デハ、個人ノ經
營ト云フコトハナイノカモ知レマセヌ
ケレドモ、事業ノ性質カラ行クト、是
ハアリ得ルト思フ、將來アルカモ知レ
ナイ、無イト云フコトハ誰モ保證出來
ナイト思フ、ソレニ個人ノ場合デアッ
ナラバ、免許ヲ取消セバソレデ宜イデ
ハナイカ、會社ノ場合ニ於テモヤハリ
サウデアアル、免許ヲ取消セバソレデ
宜イノデアッテ、其上ニ役員ノ解任マデ
モ、追訴ト云フカ、追課スルト云フコ
トハ、甚ダ不公平ニナリハシナイカ、
個人ナラバ命令ダケヲ取消ス、是ガ會
社組織ダカラ役員ノ解任ニマデ及ブト
云フコトニナッタナラバ、個人ト會社組
織ノ取扱ヲ別ニスルト云フコトニナッ
テ、是ハ非常ニ不公平ナコトニナル、
ヤハリ會社ニ付テ役員ノ解任ヲ命ジナ
ケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、
個人ニ對シテモ相當ノ制裁ガアッテ然
ルベキデハナイカ、ソレデナケレバ、
不公平ト云フヤウナコトニナリハシナ
イカ、又公共團體ノ經營ノ場合ニ於テ

モ、ソレハ公共團體トシテ處分スルダ
ラウト云フ、公共團體トシテ處分スル
ダラウト云フコトハ會社ニ於テモ、株
主ガ黙ッテ居ナイダラウト云フコト、
同ジコトデ、ソレナラバ會社モヤハリ
同様ナ取扱ヲシナイト公共團體ト會社
組織ノ故ヲ以テ取扱ヲ別ニスルト云フ
コトハ、甚ダ不公平ニナリハシナイカ、
ヤハリ會社組織ニ對シテソレダケノ制
裁ヲ加ヘルト云フ場合ニハ、公共團體
ノ役員ニ對シテモ、個人ノ經營ニ對シ
テモ、相當ノ制裁ヲ加ヘルト云フコト
デナケレバ公平デナイ、個人ト公共團
體ニ付テハ加ヘナクテモ宜イモノデ
アッタナラバ、會社ニモ加ヘナイデモ宜
イ、全部若クハ一部ノ免許サヘ取消セ
バ、ソレデ澤山デハナイカ、公平ト云
フ點ニ付テ、大變缺クル所ガアリハシ
ナイカ、斯ウ申スノデアリマス

○富安政府委員 私共ハ會社ノ經營ノ
場合ニ於キマシテ、取締役ノ解任ト云
フコトヲ、事業ノ取消ノ外ニ竝ベテ立
テマシタ趣旨ハ、會社ノ經營ノ場合ニ
於テハ、電氣事業ト云フ事業ノ經營ト
云フ問題ト、又企業ノ所有ノ問題トハ
御承知ノヤウニ、分ケテ考ヘルコトガ
出來ルノデアリマス、企業ノ所有ハ會
社デアアル法人ニ屬シテ居リマセウ、併
ナガラ實際ノ運營ト云フモノハ、取締
役其他ノ手ニ歸シテ居ルノガ實際デア
ルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
若シ左様ナ實情デアル場合ニ處シマシ
テ、制裁ノ規定ト致シマシテ、獨リ事
業ノ經營ノ取消ト云フコトノミヲ認メ
マスルニ於キマシテハ、實際ノ場合ヲ
想像シテ見マスルノニ、餘リニ實情ニ
適シナイ、制裁ト致シマシテ適當ナ必
要以上ノモノヲ課スルト云フヤウナコ
トニナリハシナイカト云フ懸念ヲ私共
ハ持ッテ居ルノデアリマシテ、ソレ程マ
デノ必要ノナイ場合ニ於キマシテ、經
營ハ取消サナクトモ宜シイ、唯之ノ經
營ヲ手ニ收メテ居ル所ノ個人重役ヲ解
任致シサヘスレバ、事業其モノトシテ
ハ存續サシテ行ッテ少シモ差支ナイノ
ダト考ヘ得ルヤウナ場合ガ多クアリハ
シナイカト考ヘマスノデ、事業ノ取消
ヨリモ、一ツ輕イ程度ノ制裁ト致シマ
シテ、取締役改任ト云フヤウナ途ヲ開
イテ置クコトガ最も實情ニ適スルト考
ヘテ、斯様ナ立法ヲ致シタ次第デアリ
マス、個人ニ付キマシテハ申上ゲルマ
デモナク、左様ニ二ツヲ分ケテ考ヘル
コトハ出來ナイノデアリマスカラ、モ
ウ一段輕イ制裁ヲ設ケヨウト考ヘマシ
テモ、其途ガナク致方ガナイト、斯様
ニ私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○清瀬委員 ドウモ其處ニ行クト意見
ノ相違ト云フコトニナルト思ヒマス
ラ止メマスガ、此第二十八條ノ第一號
「電氣事業者ガ法令若ハ法令ニ基キテ
爲ス處分又ハ許可若ハ認可ニ附シタル
條件ニ違反シタルトキ」ト云フコトニ
ナッテ居リマス、所ガ其末項ニ「主務大
臣ハ前項第一號ノ場合ニ電氣事業者ノ
計算ニ於テ他ノ電氣事業者ヲシテ必要
ナル施設又ハ事業ノ管理ヲ爲サシムル
コトヲ得」ト云フコトニナッテ居リマス
ルガ、此第一號ニ付テ、他ノ電氣事業
者ヲシテ必要ナル施設又ハ事業ノ管理
ヲ爲サシメルト云フ例デアリマスネ、
例ヘバドウ云フ場合ニ斯ウ云フコトヲ
爲サルト云フ例ガ從來アッタノデアリ
マセウカ、或ハ今後豫想シ得ベキ場合
ハドウ云フ場合デアリマスカ、ソレヲ
一應御伺シテ置キタイ

○富安政府委員 想像シ得ル例ト致シ
マシテ、必要ナル施設又ハ事業ノ管理
ヲ爲サシムルコトヲ得ト云フノデアリ
マスガ、必要ナル施設トハドンナ場合
ニ言ヒ得ラレルノデアアルカ、又事業ノ
管理ハ如何ナル場合ニ爲サシムルノデ
アルカト斯ウ云フコトニナルト思ヒマ
スガ、其想像シ得ル例ヲ假ニ申シテ見
マスナラバ、第一施設ト云フモノハ、
例ヘバ本法二十三條ノ二項デアリマス
カ、電氣工作物ノ改築命令ヲ發シタケ
レドモ、事業者ガ命令ニ從ハナイト云
フヤウナ場合ニ於キマシテ、他ノ事業
者ヲシテ代ッテ、施設セシメルト云フヤ

○清瀬委員 今日現在デハ、個人ノ經
營ト云フコトハナイノカモ知レマセヌ
ケレドモ、事業ノ性質カラ行クト、是
ハアリ得ルト思フ、將來アルカモ知レ
ナイ、無イト云フコトハ誰モ保證出來
ナイト思フ、ソレニ個人ノ場合デアッ
ナラバ、免許ヲ取消セバソレデ宜イデ
ハナイカ、會社ノ場合ニ於テモヤハリ
サウデアアル、免許ヲ取消セバソレデ
宜イノデアッテ、其上ニ役員ノ解任マデ
モ、追訴ト云フカ、追課スルト云フコ
トハ、甚ダ不公平ニナリハシナイカ、
個人ナラバ命令ダケヲ取消ス、是ガ會
社組織ダカラ役員ノ解任ニマデ及ブト
云フコトニナッタナラバ、個人ト會社組
織ノ取扱ヲ別ニスルト云フコトニナッ
テ、是ハ非常ニ不公平ナコトニナル、
ヤハリ會社ニ付テ役員ノ解任ヲ命ジナ
ケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、
個人ニ對シテモ相當ノ制裁ガアッテ然
ルベキデハナイカ、ソレデナケレバ、
不公平ト云フヤウナコトニナリハシナ
イカ、又公共團體ノ經營ノ場合ニ於テ

○清瀬委員 今日現在デハ、個人ノ經
營ト云フコトハナイノカモ知レマセヌ
ケレドモ、事業ノ性質カラ行クト、是
ハアリ得ルト思フ、將來アルカモ知レ
ナイ、無イト云フコトハ誰モ保證出來
ナイト思フ、ソレニ個人ノ場合デアッ
ナラバ、免許ヲ取消セバソレデ宜イデ
ハナイカ、會社ノ場合ニ於テモヤハリ
サウデアアル、免許ヲ取消セバソレデ
宜イノデアッテ、其上ニ役員ノ解任マデ
モ、追訴ト云フカ、追課スルト云フコ
トハ、甚ダ不公平ニナリハシナイカ、
個人ナラバ命令ダケヲ取消ス、是ガ會
社組織ダカラ役員ノ解任ニマデ及ブト
云フコトニナッタナラバ、個人ト會社組
織ノ取扱ヲ別ニスルト云フコトニナッ
テ、是ハ非常ニ不公平ナコトニナル、
ヤハリ會社ニ付テ役員ノ解任ヲ命ジナ
ケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、
個人ニ對シテモ相當ノ制裁ガアッテ然
ルベキデハナイカ、ソレデナケレバ、
不公平ト云フヤウナコトニナリハシナ
イカ、又公共團體ノ經營ノ場合ニ於テ

○清瀬委員 今日現在デハ、個人ノ經
營ト云フコトハナイノカモ知レマセヌ
ケレドモ、事業ノ性質カラ行クト、是
ハアリ得ルト思フ、將來アルカモ知レ
ナイ、無イト云フコトハ誰モ保證出來
ナイト思フ、ソレニ個人ノ場合デアッ
ナラバ、免許ヲ取消セバソレデ宜イデ
ハナイカ、會社ノ場合ニ於テモヤハリ
サウデアアル、免許ヲ取消セバソレデ
宜イノデアッテ、其上ニ役員ノ解任マデ
モ、追訴ト云フカ、追課スルト云フコ
トハ、甚ダ不公平ニナリハシナイカ、
個人ナラバ命令ダケヲ取消ス、是ガ會
社組織ダカラ役員ノ解任ニマデ及ブト
云フコトニナッタナラバ、個人ト會社組
織ノ取扱ヲ別ニスルト云フコトニナッ
テ、是ハ非常ニ不公平ナコトニナル、
ヤハリ會社ニ付テ役員ノ解任ヲ命ジナ
ケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、
個人ニ對シテモ相當ノ制裁ガアッテ然
ルベキデハナイカ、ソレデナケレバ、
不公平ト云フヤウナコトニナリハシナ
イカ、又公共團體ノ經營ノ場合ニ於テ

ウナ場合ガアリハシナイカト思ヒマス、又許可ノ條件ト致シマシテ、御案内ノ通りニ電氣供給ヲ確保致シマス爲ニ、豫備設備、豫備機械ノ設置ヲ命ズルノデアリマスケレドモ、電氣事業者ガ之ニ應ジナイ場合ニハ、ヤハリ代理施設ヲセシムル必要ガアリハセスカト考ヘテ居リマス、是ハ一二ノ例デアリマス、電氣事業ノ管理ヲ爲サシムル場合ノ方ハ一層適用ノ場合ノ想像ガ少イノデアリマスルケレドモ、申シテ見マ

スルナラバ第十六條デアリマスルガ、「電氣事業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ供給事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス」斯様ナコトニナツテ居リマスニ拘ラズ許可ヲ受ケナイデ事業ヲ中止シタヤウナモノニ對シマシテハ、其地方ニ於ケル供給ハ止ツテ、公益上非常ニ支障ガアル、需要者ニ對シテ直ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトヲ防ギマスガ爲ニハ、何等カ其處ニ他ノ電氣事業者ヲシテ事業ノ管理ヲ爲サシムルヤウナ必要ガアリハシナイカト想像ヲ致シテ居リマス

○清瀬委員 只今ノ第二項デアリマスガ、此中ニ「電氣事業者ガ其ノ供給區域内ノ一部分ニ供給ヲ開始シタル後久シキニ互リ」トアル、此久シキニ互リト云フコトガ、何ト申シマスカ甚ダ不明確デアリマス、此久シキニ互ル程度ハ、凡ソ

ドノ位ノ期間ヲ以テ久シキニ互ルト御認ニナルカ、是ハ法ノ濫用ニ依ツテ、隨分色々ナコトガ出來ルト思ヒマス、一ヶ月ヲ以テ久シキニ互ルト認メル者モアルカモ知レヌ、十日ヲ以テ久シキニ互ルト認メル者ガアルカモ知レヌ、是ハ「アソビシヤス」デアルト思ヒマスガ、ドウ云フ見解デアリマスカ

○富安政府委員 洵ニ御尤ナ御尋トハ存ジマスガ、同時ニ又極メテ御答ノシニクイ御尋デアルト云フコトモ御了承願ヒマス、全ク個々ノ場合ニ付キマシテ、本法ニ該當スルカシナイカト云フコトハ、諸般ノ狀況ヲ考ヘナケレバナ

ラヌノデアリマシテ、幾日幾月ト云フコトハ言ヘナイ、ト申シマスノハ隨分管轄地ニ對スル電線ノ設備ヲスルコトガ、非常ニ困難ナル場合モアリマセウシ、比較的樂ニ出來ルト云フ場所モアリマセウ、其狀況カラ見テ、樂ニ出來

ルコトガ明ナ場合ニモ猶シナイト云フヤウナコトモアリマスノデ、其事情ヲ一々見マセヌト、時日、期間ナドヲ以テシテハ申上ゲニクイト存ジマス、其點御了承ヲ願ヒマス

○富安政府委員 是ハ御案内ノコト、思ヒマスルケレドモ、只今ノ電氣事業法施行規則ノ第七十一條ニモ同ジコトガアルノデアツテ、大體規則ノ運用ト云フモノハ、實際ニ於キマシテ付イテ居ルノデアリマス、其處ニ非常ニ言葉ガ曖昧デアアル爲ニ、紛糾ヲ生ズルト云フ様ノ御懸念ノコトモ無イデハナイカト存ジテ居リマス、現行ノ規則ノ運用ト云フモノハ、是デ付イテ居ルノデアリ

ルコト云フ場合ニ、電信柱ハ十本モ十五本モ立テナケレバ其處マデ行カスト云フヤウナ時ニ、隨分事業者ニ取ツテハ迷惑ダト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ、「久シキニ互ル」ト云フコトヲドウ云フ解釋ヲ爲サルカ知ラヌケレドモ、一年モ二年モ三年モ棄テ置イテモ「久シキニ互ル」デアラウシ、亦三箇月

カ五箇月デモ「久シキニ互ル」ト言ヘヌコトモナイト思ヒマス、是ハ今マデアツタカ無カッタカ知リマセヌケレドモ、ヤリ方ニ依ツテハ、當局者ノ御考ヘ次第デハ隨分惡用サレタリ、色々弊害ヲ生ムヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマス、「久シキニ互ル」ト云フ文字ハ此處デモウ少シハッキリシテ置クトカ、或ハ施行令デモウ少シ詳シク規定ヲシテ置カナイト、唯「久シキニ互ル」ト云フダケデハ餘リボンヤリシテ居ルト思ヒマ

ス

○富安政府委員 是ハ御案内ノコト、思ヒマスルケレドモ、只今ノ電氣事業法施行規則ノ第七十一條ニモ同ジコトガアルノデアツテ、大體規則ノ運用ト云フモノハ、實際ニ於キマシテ付イテ居ルノデアリマス、其處ニ非常ニ言葉ガ曖昧デアアル爲ニ、紛糾ヲ生ズルト云フ様ノ御懸念ノコトモ無イデハナイカト存ジテ居リマス、現行ノ規則ノ運用ト云フモノハ、是デ付イテ居ルノデアリ

マスカラ、併シ之ヲモット明ナ言葉デ何トカ現シテ、而モ其現シ方ガ上手デア

ルコトガ出來マスルナラバ宜シイノデアリマスルケレドモ、何分ニモ斯様ナ性質ノ事柄ニ付キマシテ、モット好ク現シ得ルコトハ隨分困難デハナイカト思フノデアリマス、他ノ言葉ヲ以テ説明ヲ致サセテ戴キマスナラバ、其場合ノ事情ガ當該ノ事業者ヨリモ隣接ノ事業者其他ノ事業者カラ供給ガ出來ルヤウナ状態ニ至ルマデハ、ヤハリ相當ナ事

由ガアツテ、先ノ事業者ガ供給ヲシナイノデアルト云フコトヲ認メテヤラナケレバナラナイカト思フノデアリマス、斯ウ云ツタラ少シ説明的ニナルカト思ヒマスルケレドモ、ソレニ致シマシテモ、仰シヤイマスヤウナ問題ガ尙殘ルノデアリマス、其點ヲ明瞭ニ解決スルコトハ出來ナイノデアリマスルケレドモ、大體サウ云フ趣旨デアルト御了承ヲ願ヒマスレバ、運用ニ於キマシテ、非常ニ困ルヤウナコトガ起リモシナイデ濟ミハシナイカ、御話ノヤウニ只一軒ノ家ガ非常ニ遠隔ノ地ニ離レテ居ル場合ニ直グニ「久シキニ互ル」云々ト云フヤウナコトデ取消スト云フヤウナ制裁ガ來ルダラウト云フコトハチヨットソレダケノ事柄デハ考ヘラレナイヤウニ私共ハ存ジテ居リマス、個々ノ場合ノ問題デスカラ、其邊ハ宜シウ御願ヒシマス

○清瀬委員 是ハ第二十八條ノヤウナ嚴重ナル制裁ガ付イテ居ナケレバ宜イガ、全部若クハ一部ヲ取消シタリ或ハ重役又ハ役員ノ改任ヲ命ズルト云フヤウナ嚴重ナル制裁ガ付イテ居ル「久シキニ互リ」ト云フヤウナコトハ、解釋ノ如何ニ依ッテハ、是デ重役ノ改任ヲヤルコトガ出來ルノデアル改任セスカモ知レヌケレドモ、出來ルノデアル、是デハ危險デアル、斯ウ云フヤウナ制裁條項ハ、ハッキリシテ置カスト、當局者ノ考ニ依ッテ勝手ナ解釋ガ出來ルノデアル、是デハ危イ、頗ル宜シクナイト

所ニ依ッテハ、多少解釋ヲ異ニスルト思ヒマスガ、此場合ニ於テハ一體ドウ云フ風ニ御解釋ニナルノカ、一應御説明ヲ願ヒタイ

○富安政府委員 公益ト云フ言葉ニ付キマシテハ、昨日モ問題ニナッタヤウニ存ズルノデアリマス、御話ノ通り誠ニ範圍ノ明確ニ缺イタ用語ニハ相違アリマセヌケレドモ、同時ニ又各種ノ立法ヲ通ジテ見テ、「公益上ノ必要云々」、「公益ヲ害スル云々」ト云フ文字ハ、到ル處ニ用ヒラレテアルノデアリマシテ、斯様ナ法律語トシテノ「公益」ト云フ言葉ハ既ニ熟シテ居ル、ソレデ之ニ代ルベキ適當ナル用語ガ發見セラレナイ以上ハ、ヤハリ斯様ナ言葉ヲ用ヒテ行クコトハ、御話ノヤウナ點ハアリマシテモ、已ムヲ得ナイコトカト考ヘテ居リマス、殊ニ電氣事業法ト全ク同じ性質ノ立法、例ヘバ地方鐵道法トカ、瓦斯事業法等ノ中ニ於キマシテ、ヤハリ制裁規定ノ所ニ持ッテ來マシテ、同様な言葉ガアルノデアリマス、規定ノ二

ノ總テニ通ジタ例デハナイカト思フノデアリマス、實例ト致シマシテハ、地方鐵道法ノ三十七條、瓦斯事業法ノ二十七條ノ如キ、正シク其通りナノデアリマス、諸テドウ云フヤウナ實例カ、假ニ想像シテ見ロト仰シヤイマスルト、是レ々々トハッキリシタコトガアリマ

スルナラバ、公益上ト云フ抽象的ノ括リヲ爲ス前ニ一、二、三トハッキリ書キマスガ、ハッキリシタモノガ無ケレバコソ、公益上ト云フ抽象的ノ言葉ヲ使フノデアリマスカラ、如何ニモ之ニ該當スルヤウナモノハ中々擧ゲ難ネル次第デアリマス、併シ私共古ク此事業ニ從事シタ者等カラ聽イテ見マスト何かコンナヤウナ會社ガアッタサウデアリマス、電壓ヲ特ニ下ゲサセルヤウナ機械裝置カ何カラシテ、非常ニ「メートル」ガ上ラナイヤウニスルト云フコトヲ故意ニスル、料金ダケハ同じデスカラ、胡麻化シデス、サウ云フヤウナコトヲスル如キハ故意ニ、計畫的ニ、左様ナ機械的裝置デ事實上ノ作爲ヲスルト云フコトデアリマスカラ、是ナドハ公益ヲ害スル行爲ニ該當シヤシナイカト考ヘマス、併シハ思ヒ付キデス様ニ申シテ居ルノデアリマスカラ、他ニドウ云フコトガアリマスカ、兎ニ角只今申シマシタヤウナ趣旨ニ依リマシテ、若クハ法律ノ普通ノ用語上、同じ言葉ノ他ノ

立法令ニ於ケルト同じヤウニ解釋シテ行ケバ、此場合此言葉ヲ存置シテ置ク必要ガアリハシナイカト私共考ヘテ居ル次第デアリマス

○清瀬委員 是ガ此制裁條規ニデモハッキリシテ居レバ宜イケレドモ、先ノ條件ガハッキリシテ居ナクテ、一部若クハ全部ヲ取消ス、或ハ役員ノ解任ヲ命ズルト云フコトデハイカスト思フ、第二號ニ「久シキニ互リ」ト云フヤウナ不明確ナ、第三號ノ「公益ヲ害スル行爲」ナント云フヤウナ解釋ノ仕様ニ依ッテハドウデモ解釋ノ出來ルヤウナ文字デ以テ、斯ウ云フヤウナ制裁ヲ加ヘル條規ヲ附シテ置クト云フコトハ私ハイカスト思フノデアリマス、併シソコニナルト唯意見ノ相違ノミナラズ、サウ思ッテモ自分ハ斯ウ思ッテ居ルト言ヘバ仕方ガナイガ、是ニ付テ二十八條ノ處分ヲナサル時分ニハ無論電氣委員會ノ御諮問ニナルト思ヒマスガ、左様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○中村政府委員 只今ノ御問ニ對シテ御答致シマスガ、主務大臣ガ取消又ハ役員ノ解任ヲ命ズル場合ニ於テハ、電氣委員會ニ諮問スルト云フ譯デナイ、少シ其前ニ、其處マデニ至ル事實ノ調査ニ付キマシテ、是ガドレ程ノ、詰リ申サバ第一第二第三、只今御質問ノヤウナ行爲ト云フヤウナ點デモ、或ハ久

イ、「公益ヲ害スル行爲」ト云フコトハ、

コトハ解釋ノ仕方ニ依ッテハ非常ニ廣ク解釋出來ルト思フ、之ニ依ッテヤハリ重役ノ首ヲチョン切ルトコトガ出來ルノデアル、是ハ實ニ危イ、笑ヒ事デハナイ、「公益ヲ害スル行爲」ト云フコトハ、

トハ必要デモアリ、又ソレガ實際立法

コトハ解釋ノ仕方ニ依ッテハ非常ニ廣ク解釋出來ルト思フ、之ニ依ッテヤハリ重役ノ首ヲチョン切ルトコトガ出來ルノデアル、是ハ實ニ危イ、笑ヒ事デハナイ、「公益ヲ害スル行爲」ト云フコトハ、

シキニ互リト云フヤウナ點デモ、或ハ二年デモ久シキニ互ルコトモアレバ、五年モ久シキニ互ラザルコトガアル、サウ云フヤウナ事實ヲ調査スル所ハ、委員會デ調査シテ貰フ、併シ其調査シタ事實ニ對シテ、裁斷ヲ下スコトハ、是ハ其裁斷ヲ下ス時ニ其量ニ付キマシテ、別ニ委員會ニ掛ケルノデナク、事實ヲ調査スルダケハ委員會ニ掛ケル、サウ云フ積リデアリマス

會ハ、殆ド常設デアリマス、毎日招集スルノデアリマセヌガ、委員ナルモノガ出來マシテ、サウシテ事柄ノアル都度寄ッテ貰ヒマシテ、日本全國ノ權威者ヲ網羅スル積リデアリマス、サウシテ此第三條ノ全部又ハ一部ヲ取消スニ値スル程ノモノデアアルヤ否ヤト云フヤウナ調査ハ、其委員會ニ於テ調査ヲシテ貰フ積リデアリマス

ニ對シマシテハ、電氣委員會ニ諮問スルト云フ私共ノ考デアリマス

マセヌガ、私ノ記憶ニ依リマス、次官ハ委員會デ第二號第三號ノ條件ヲ調査スル、而シテ最後ニ是ハ遞信大臣ガ裁決スルモノデアルト云フ風ニ御答辯ニナッテ居ルト思フデアリマス、之ニ事務當局ハ同意デアアルカドウカ、其通リニ事務當局モ御解釋ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス

○清瀨委員 ソレハ少シカシイト思フ、事實ヲ調査スルコトハ、遞信省ガ無論ナサルベキデアリマス、委員會ト云フモノハ常設デ、毎日々々開クモノデハアルマイト思ヒマス、一體ドウ云フ委員會ノ組織デアリマスカ、ソレヲ先ニ御尋シタイト思ッタノデスガ、第二號若クハ第三號ノ調査ハスルガ、最後ノ裁斷ハ遞信大臣ガスルト云フコトハ疑ガナイ、其裁定ヲナサルニハ、専門家ノ電氣委員會ニ諮問シテ裁定ナサルノカ、諮問シナクテ裁定ヲナサルカト云フコトヲ承ッタ所ガ調査ヲナサルト云フコトデアル、是ハ實ハ甚ダ意外ノ御答辯ト承リマシタガ、實際サウ云フ御積リデアリマスカ、調査ハ一體無論遞信省ガナサルベキデアッテ、委員會ガ調査スベキモノデハナイト思ヒマス

○清瀨委員 今ノ答辯ハハッキリシマセデシタケレドモ、サウスルト全部若クハ一部ヲ取消シタリ、或ハ役員ノ改任ヲ命ズルト云フヤウナ場合ニハ、委員會ニ御諮問ナサルト今仰シヤッタト思ヒマスガ、ソレハ相違アリマセヌカ

○富安政府委員 次官ノ仰シヤイマシタコトヲ、私ガ伺ッテ居レバ、私自身ノ解釋ト致シマシテハ、次官ノ仰シヤイマシタ御趣旨ハ、調査共事ヲ委員會デスルト云フ御趣旨デハナカラウト思ヒマス、其事ハ、遞信省ガ調査ヲスルノハ當然デアリマス、唯重役ノ改任ヲ諮問ニ掛ケルニ當リマシテハ、調査ノ内容等ニ付キマシテ、十分委員會ニ話シテ、其上デ意見ヲ徵スルト云フコトニナルノガ當然ナ話デアルカラ、左様ナ意味ニ私ハ解シテ居ルノデアリマス

○中村政府委員 或ハ私ノ申シ様ガ少シ廣過ぎタカモ知レマセヌガ、只今事務當局ノ言ッタ意味デ申シタノデアリマス

○中村政府委員 調査ニハ省ダケデ調査スルコトモアリマスカ、併シ此委員

○富安政府委員 率直ニ私ノ考ヲ申上デマス、御尋ノ重役ノ改任ト云フ適用

○清瀨委員 速記録ヲ見ナクテハ分リ

○富安政府委員 公益ト云フ言葉ノ解

釋ニ付キマシテハ、ソレハ法條ノ設
ケラレタ趣旨精神ニ基イテ解釋ヲ致ス
ベキモノデアルト考ヘテ居リマスルコ
トハ、先日來申上ゲタ通りデアリマス、

如何ナル場合ニ本條ノ所謂公益上ノ必
要ト云フ事柄ガ該當スルカト申シマス
ルト云フト、是亦繰返シテ申シマスヤ
ウニ、具體的ノ場合ニ於キマスル事業
ノ認定ニ依ル外ハ致シ方ガナイノデア
リマスルケレドモ、大體ニ於キマシテ

本條ノ公益ノ意味ハ國又ハ公益團體
ガ、既ニ經營致シテ居リマスル事業者ヨ
リ買收致シマスルコトガ、事業者ニ取
リマシテ少シモ差支ナイバカリデナ
ク、更ニ進ンデ、買收スル其事ガ、國
家公益全體ノ見地カラ見テ、著シイ利
益ヲ齎ラス、斯様ナ場合ニ玆ニ、所謂
公益上ノ必要ト云フコトヲ言フノデア
ルト云フ風ニ私共ト致シテハ考ヘテ居
リマス

買收スル相手方ニ相成ルノデハナイ
カ、一方ニハ自分ガ買收スル片一方デ
アツテ、而シテ其協議ガ調ハナイ時ニ、
主務大臣ガ之ヲ裁定スルト云フコトハ
甚ダカシイト思フ、斯ウ云フ場合ニ、
ヤハリ主務大臣ガ買方ノ方ノ國ノ代表
者トシテ相手方ニナツテ居ッテ、サウシ
テ話ヲ進メル、所ガ其話ガ調ハナイ、
サウスルトヤハリ主務大臣ガ之ヲ裁定
スルト云フノデアリマスカ

○富安政府委員 本條ノ公益ト云フ文
字ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ
ヤウニ、私共ハ國家公共ノ公益ト云フ
コトヲ考ヘテ居リマスルカラ、御話ノ
アリマシタヤウニ、公共團體ノ財政上ノ
理由ニ依ッテ之ヲ買收スルト云フヤウ
ナ場合ニ、本條ガ該當スルモノトハ解
シテ居リマセヌ

○清瀨委員 其次ノ項ノ末ノ方ニ斯ウ
云フコトガアル、殘存事業ノ全部又ハ
一部ニ付事業ヲ繼續スルコト能ハザル
トキハ電氣事業者ハ國又ハ公共團體ニ
對シ殘存事業ノ全部又ハ一部ノ買收ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ

○中村政府委員 只今御尋デアリマシ
タガ、是ハ買收サレル方ヲ一ツハ保護
スル意味デ出來タ條文デアリマス、會
社ヲ經營致シテ居リマスル者ガ、最モ
利益ノアル部分ダケ公共團體ニ取上ゲ
ラレテ、サウシテ後ノ殘餘ノ分ダケデ
ハ到底立ッテ行ケナイト云フヤウナ場
合ヲ保護スル爲ニ出來タノデアリマ
ス、ソレデ此請求スルコトヲ得ト云フ
ノデ、此請求ヲシタ場合ニ或ハ買收價
格、若ハ其他ノ條件ニ於キマシテ、當
事者間ノ協議ノ調ハナイト云フヤウナ
場合ハ、主務大臣ガ之ヲ裁定スルト云
フコトニナツテ居ルノデアリマス

○中村政府委員 只今ノ點ハ、若シ其
裁定等ニ不服ノアリマシタ場合ニハ、
裁判所ニ訴出ルコトニナツテ居リマス
○清瀨委員 裁判所ニ訴ヘルコトノ規
定ヲ殘シテ居ルコトハ分ッテ居ルノデ
アリマス、ソレヲ御聽キシテ居ルノデ
ハナイ、公共團體ガ買收スル時ニ、協
議ガ調ハナイ時ニハ、主務大臣ガ之ヲ
裁定ナサルト云フコトハ分ル、所ガ國
ガ買收スル時ニ於テハ、主務大臣ハ國
ヲ代表シテ買方トナル人デハナイカ、
其買方トナル人ガ、賣方ノ人ト協議
ヲ致シテ居ル、其協議カ調ハナイ時ハ、
今度ハ主務大臣トシテ之ヲ裁定スルト
云フコトハカシイデヤナイデスカ、
此場合モヤハリ裁定ナサルノデスカ
ト、斯ウ聽イテ居ル

○清瀨委員 成程公益上ノ必要ト云フ
コトヲ、ハッキリ御説明ニナルコトハ中
中ムヅカシイト思フ、私共モ是ハムヅ
カシイト御察シシマスガ、併シ一ツノ
例ヲ擧ゲテ言フナラバ、公益上ノ必要
ト云フコトハ、單ニ供給條件ノ改善、
是ダケニ依ルモノデアルカ、或ハ公共
團體ノ財政上ノ必要ナドモ含ムモノ
カ、之ヲ經營シタ方ガ公共團體ノ財政
上ニ非常ナ利益デアルト云フヤウナ場

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

願ヒマスト云フコトハ申上ゲラレル
ガ、是非トモ之ヲ買上ゲテ貰フト云フ
コトハ出來ナイ、又強制スルコトモ出
來ナイ、嫌ダ、俺ノ必要ナ部分ダケ買
フノダト、斯ウ云フコトニ相成ル外ハ
ナイノデアリマス

○中村政府委員 只今御尋デアリマシ
タガ、是ハ買收サレル方ヲ一ツハ保護
スル意味デ出來タ條文デアリマス、會
社ヲ經營致シテ居リマスル者ガ、最モ
利益ノアル部分ダケ公共團體ニ取上ゲ
ラレテ、サウシテ後ノ殘餘ノ分ダケデ
ハ到底立ッテ行ケナイト云フヤウナ場
合ヲ保護スル爲ニ出來タノデアリマ
ス、ソレデ此請求スルコトヲ得ト云フ
ノデ、此請求ヲシタ場合ニ或ハ買收價
格、若ハ其他ノ條件ニ於キマシテ、當
事者間ノ協議ノ調ハナイト云フヤウナ
場合ハ、主務大臣ガ之ヲ裁定スルト云
フコトニナツテ居ルノデアリマス

○中村政府委員 只今ノ點ハ、若シ其
裁定等ニ不服ノアリマシタ場合ニハ、
裁判所ニ訴出ルコトニナツテ居リマス
○清瀨委員 裁判所ニ訴ヘルコトノ規
定ヲ殘シテ居ルコトハ分ッテ居ルノデ
アリマス、ソレヲ御聽キシテ居ルノデ
ハナイ、公共團體ガ買收スル時ニ、協
議ガ調ハナイ時ニハ、主務大臣ガ之ヲ
裁定ナサルト云フコトハ分ル、所ガ國
ガ買收スル時ニ於テハ、主務大臣ハ國
ヲ代表シテ買方トナル人デハナイカ、
其買方トナル人ガ、賣方ノ人ト協議
ヲ致シテ居ル、其協議カ調ハナイ時ハ、
今度ハ主務大臣トシテ之ヲ裁定スルト
云フコトハカシイデヤナイデスカ、
此場合モヤハリ裁定ナサルノデスカ
ト、斯ウ聽イテ居ル

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

○中村政府委員 實ハ私共ノ考デハ、
公共團體ノ場合ヲ最モ目安ニ致シテ居
ル譯デアリマス、公共團體ノ場合デア

リマスレバ、買収致シタ後ニモウ明日カラ公共團體ガ電氣事業者デアリマスカラ、相當此買収條件等ニ付キマシテハ立入ッテ公平ニ取扱ヒタイト考ヘマス、國ガ之ヲ買収致シマス場合ニハ、ドウモ如何トモスルコトガ出來ナイダラウト思ヒマス、只今御質問ノヤウニヤハリ主務大臣ガ之ヲ裁定スルト云フコトノ外止ムヲ得ヌ、此條文ニ依ル外仕方ガナイト思フノデアリマス

○清瀬委員 此條項ハ公共團體ガ買フ場合ヲ豫想シテト仰シヤルケレドモ、現ニ第四項ニハ「前三項ノ規定ニ依ル買収價格、買収範圍其ノ他買収ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル、協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ主務大臣之ヲ裁定スト云フコトニナッテ居ル、即チ國ガ買フ場合モ、是ハ豫想シテ立法ナサッテ居ル、ソコデ私ハ國ガ買フ場合ニハ、主務大臣即チ遞信大臣ト云フモノガ國ヲ代表シテ此衝ニ當ルノデハナイカ、一方ニハ國ヲ代表シテ衝ニ當ッテ協議ヲシテ居ルガ、其協議ノ調ハナイ時ニハ、今度ハ遞信大臣ト云フモノニ立歸ッテ之ヲ裁定スルトスレバ、自分ノ好キナヤウナ裁定ガ出來ルト云フコトニナル、サウ云フ意味デアリマスカト云フコトヲ聞イテ居ルノデス

○中村政府委員 只今仰セラレタ通り此法條ニハ「前二項」「前三項」トアル

ノデヤハリ國ノ買収ノ時モ入ッテ居リマスケレドモ、私共ノ考ヘテ居リマス點ヲ露骨ニ告白シマス、買収ニ關シマシテハ、國家ガ之ヲ買収スル、或ハ公共團體ガ買収スル場合ニハ、別ニ買収法ト云フモノヲ作ル積リデアリマス

○清瀬委員 ソレハ結構デアルト思フノデアリマス、私ハサウ云フ事ヲ希望シテ、實ハ當局者ノ御意嚮ヲ御伺ヒシタイト思ッテ居リマシタガ、進ンデ當局者カラサウ云フ御説明ガアッタコトハ満足致シマス、ソコデソレハ何時頃一體御出シニナル御積リデアリマスカ、買収規定ヲ、マサカ施行規則トカ勅令トカ云フヤウナモノデ御出シニナル積リデナクシテ、ヤハリ法律トシテ御出シニナル積リデアリマセウ、何時頃御出シニナル積リデアリマスカ

○中村政府委員 只今ノ事ハ、御質問ノ如ク法律デ致シタイト思ッテ居リマス、時期ハ一寸申上ゲ兼ねマス

○清瀬委員 第二十九條ノ末項「前項ノ裁定中買収價格ニ付不服アル者ハ」トアリマス、ソコデ私が先刻御尋致シマシタ「公共團體ニ對シ殘存事業ノ全部又ハ一部ノ買収ヲ請求スルコトヲ得」是ト關聯シテ、此末項ニ依ルト、唯價格ノ點ニ不服ガアレバ訴ヘテ出ロト云フダケデ、範圍ノ點ニ於テ及ンデ居ナイ、範圍ニ不服ガアッタラドウスル

コトモ出來ナイト云フトコニナッテ居リマス、是ハドウ云フ御考デアリマスカ、價格ニ於テ不服ガアル時ニハ、裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルナラバ、範圍ニ於テモ不服ノアル時ニ裁判所ニ訴ヘ出ルコトガ出來ナケレバナラヌ筈ダラウト思フ、所ガ唯之ニ依ッテ見ルト、裁判所モ、ドウモ判決ノ仕様ガナイノデヤナイカ、何ヲ基礎トシテ裁判所ハ判決ヲスルカト云フコトノ困難ガ生ズルハト思フノデアリマスルガ、兎モ角モ此處デハ唯「電氣事業者ハ國又ハ公共團體ニ對シ殘存事業ノ全部又ハ一部ノ買収ヲ請求スルコトヲ得」トナッテ居ル、ドウカ買上ゲテ下サイト御願ヒスルコトハ出來ルケレドモ、強判權ハ少シモナイ、裁判所ニモ之ヲ訴ヘルコトハ出來ナイ、御取上ニナラナイ、サレバモウ要ラナイノダ、オ前達ガ立ッテ行カウガ行ケマイガ要ラナイノダ、買ハナイノダト云フコトニナレバ、ソレデ泣寢入ノ外ハナイ、斯ウ云フコトニ解釋シナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ此點ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、成程末項ニ買収價格ニ付テノミ通常裁判所ニ出訴スル途ヲ開イテ居リマスガ、私共ノ考ト致シマシテハ、サウアルベキモノダト考ヘテ居リマス、ト申シマ

スルノハ、裁判所ガ最終ノ決定ノ機關デアルト申シマスルノハ、物ノ値段財産價格ノ問題デアルカラコソ、通常裁判所ノ最終ノ判斷ト云フモノヲ私共ハ必要ト考ヘルノデアリマシテ、其以外ノ事柄ニ付キマシテハ通常裁判所ニ持ッテ行ッテ最終ノ決定ヲ仰グベキ筋合ノモノトモ考ヘテ居ナイノデアリマス、御話ノアリマスル買収ノ範圍等ニ付キマシテハ、左様ナ價格ナド、違ヒマシテ、通常裁判所ニ最終ノ決定ヲ持ッテ行クベキ性質ノモノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ買収ノ範圍ニ付テ泣寢内ニナルノデハナイカト云フコトニ對シマシテハ、其爲ニ先程モ御話ノアリマシタ「前三項ノ規定ニ依ル買収價格、買収範圍其ノ他買収ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル、協議調ハズ、又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ主務大臣之ヲ裁定スト云フノデアッテ、主務大臣ノ裁定ガ適當ニ其處ニ動イテ來テ、之ヲ以テ最終ノ決定ノ機關ト致シテ出來テ居ルモノデアリ、左様ニスベキモノダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、又斯様ナ途ガ開イテアリマスル以上ハ、泣寢入ニナルト云フヤウナコトハナイモノダト云フコトニナリ得テ居ルト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○清瀬委員 第三十一條ニ付テ御尋致

シマス、是ハ主トシテ國營電氣事業ノコトヲ規定サレテ居ルト思フノデアリマスガ、此中ニ「當該官廳ハ主務大臣ト協議スベシ」ト云フコトニ相成ツテ居ル、只今ノ施行規則竝ニ昨年ノ十二月ニ逕信省カラ御發表ニナリマシタ所ノ電氣事業法ノ改正案ニ依リマスルト云フト、「主務大臣ノ承認ヲ受クベシ」ト云フコトニナツテ居ル、然ルニ此處デハ「協議スベシ」ト云フコトニナツテ居ル、非常ニ弱クナツテ居ルト思フ、私ハドウシテモ是ハ「承認ヲ受クベシ」ト云フコトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ヲ「協議スベシ」ト御變ヘニナツタ理由、竝ニ「協議スベシ」トハドウ云フ意味デアルカ、唯、斯ウ云フ事業ヲヤリマスヨト云フコトヲ通告シテモ、是ハ協議ト言ヒ得ルカモ知レマセヌ、是ハ大變主務大臣ノ權力ガ弱メラレタ形ニナルト思フ、一體電氣事業ノ統制ナド、云フコトヲ言フケレドモ――

間事業ト同様ノ十分ノ監督ヲシナケレバ統制ハ付カヌト思フ、官廳ノ事業ナルガ故ニ、勝手ナ事ヲサセルノダト云フコトデアツテハ、統制ガ付ク譯ハナイ、折角從來「承認ヲ得ベシ」ト云フコトデアツタモノヲ、此改正案ニ於テ「協議スベシ」ト云フコトニ變ヘラレタト云フ御趣意ハ何處ニアルカ、露骨ニ言フナラバ、逕信大臣ガ鐵道大臣ヤ何カニヤリ込メラレタノデハナイカト云フヤウナ氣持モ致スノデアリマスガ、當局者ハソレニ付テドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、先ヅ御伺ヒ致シマス

○富安政府委員 御答申シマス、電氣事業ノ統制ヲ企テル以上ハ、國ニ於テ營業電氣事業ニ付テモ、亦之ヲ逸スベカラザルモノデアルト云フ御話ニ付キマシテハ、私共勿論御同様ニ考ヘテ居リマス、隨テ之ニ對シマシテモ適當ナ、又必要ナ程度ノ法條ノ適用ト云フモノハ無論スルヤウナ立前ニシテ、立法ヲ致シテ居ル次第デアリマス、協議トアリマスルハ、今マデノ勅令ニ依リマシテ、承認ヲ得ベシト云フノト非常ニ弱クナツテ居ルノデハナイカト云フ御話ニ付キマシテハ、私共ハ必ズシモ實質ガ變更サレテ居ルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ色々國同志ノ關係ニ於キマシテ、或ハ承認ト云フ言葉ヲ用フルカ、或ハ又協議ト云フヤウナ言葉ヲ用

フルカト云フヤウナコトハ、時代ノ動キニ依リマシテモ、相當變遷ヲ致シテ居ルモノデハナイカト考ヘルノデアリマスケレドモ、用語ト致シマシテハ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、協議ト云フ言葉ヲ用フル方ガ寧ろ最近ノ立法ノ普通ノ例ニナツテ居ルヤ、ウニ私ノ調ニ依リマスルト、左様ナコトデアルト云フコトヲ發見致シマシタ、現ニ全ク類似ノ關係ヲ律シテ居リマスル道路法デアリマスルトカ、自動車法ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、全ク同ジヤウニ、同種ノ事柄ヲ律スル場合ニ於キマシテ、當該ノ主管廳、主務大臣ト協議シロト云フヤウナ文字ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、既ニ法制ノ今日ノ普通ノ例ガ、左様ナコトニナツテ居リマスル以上ハ、ソレニ倣フノガ最新ノ立法トシテ妥當ナコトデアル、當然ノコトデアルト云フ考ヲ以チマシテ、私共ハ斯様ナ言葉ヲ用ヒタ次第ゴザイマス、ソレガ爲メニ實質ガ變リヤシナイカ、協議ト云フコトデハ弱クナリハシナイカト云フ御意見ニ對シマシテハ、協議ト言ヒマシテモ、ソレハ唯相手ガ國同志ノ間柄デアルト云フコトニ鑑ミマシテ、先ヅ普通ノ吾々ノ社會上ノ常識ト申シマスルカ、立法常識ト申シマスルカ、其點カラ考ヘマシテ妥當ダト云フ考カラ、之ヲ變更シタニ過ギナイノデ

アリマスカラ、實質ニ變リガナイ、ヤハリ協議ト致シマシテ、協議ヲスルト云フコトニナツテ居リマスルコトハ、今マデ承認ヲ經ルト言ツテ居タノト、實質ニ於テ變リガアルモノダトハ私共ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、言葉ノ耳障リト申シマスルカ、先ヅ普通ノ社會一般ノ妥當ダト考ヘル用語ニシタ、ソレニ過ギナイト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

○清瀬委員 要スルニ協議ト言ヒ、承認ト言ヒ、是ハ事實上ヤハリ大臣ノ力ノ問題デアツテ、字ガドウナツテ居ルカラト云フコトバカリモ言ハレヌト思フ、サレバト言ツテ私ハ逕信大臣ガ弱イウ云フ意味デハアリマセヌケレドモ、ドウシテモ弱イ大臣ガ強イ大臣ニ、シテヤラレルト云フコトハ有勝チナコトデアル、唯併シ通念ニ於テト仰シヤルガ、昨年ノ十二月頃マデハ、當時御發表ニナツタ改正案ニ依ルト云フト、承認ト云フコトニナツテ居ル、ソレマデ承認ト云フコトガ宜イト信ジテ居タニ相違ナイ、昨年ノ十二月カラ今度提案スル間ニ承認ト云フコトガ協議ト云フコトニ變ツテ來テ居ル、ソレハドウチラガ宜イカ知ラスケレドモ、要スルニ私共ノ通念ニ於テ、常識ニ於テ、承認ヲ求メルト云フコトノ方ガ強クシテ、協議シ

テ居ルカ、先ヅ御伺ヒ致シマス

ルカ、或ハ又協議ト云フヤウナ言葉ヲ用

ヨウト云フコトノ方ガ弱クナルト云フコトハ、是ハ常識ニ於テサウ判斷スル外ナカラウト思フケレドモ、併シサウ云フコトハ多ク存ジマセヌガ、要スルニ斯ウ云フコトニ依ッテ見テモ、一體遞信省ハ弱イカラア、云フヤウナ信濃川問題ノヤウナコトガ起ッテ、電氣ノ統制ヲ案ルト云フヤウナコトニ相成ルト思フ、是ハ深ク御注意ナサラナクテハナラヌト思ヒマスガ、ソレハ議論ニ互ルカラ申上ゲマセヌガ、ソコデ此條項ノ

スケレドモ、末項ノ二十四條ニ規定スル事項ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スト云フコトハ甚ダ怪シカラヌ、ドウ云フ定ヲスル積リデアルカ知ラナイケレドモ、斯ウ云フ條文ハ必要ナイ、官ニ於テ營ム所ノ電氣事業デモ、二十四條ノ私ハ統制權ヲ遞信省ニ於テ御持チニナラナケレバ、統制ハ出來ヌト思フノデアリマス、ドウ云フ一體定ヲ爲ス御積リデアルカ、之ヲハッキリツ承リタイ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、此

末項ニ於テ、是ハ先日モ問題ニナッタノデアリマス「國ニ於テ營ム電氣事業ニ付テハ第二十四條ニ規定スル事項ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フヤウニナッテ居ル、是ハ私ハ餘程重キヲ置イテ居ル、二十四條ノ規定ト云フモノハ、電力統制ノ上ニ於テハ、是ハ最モ必要ナル規定デアラウト思フノデアル、是ハドウシテモ官民ヲ問ハズ、國デ營ンデ居ルトカ、私設事業デ營ンデ居ルトカ云フ區別ヲ付ケズシテ、之ハドウシテモ官民同様ニ取扱ハナケレバ電力統制ト云フモノハ絶對ニ出來ヌト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス、然ルニ之ニ付テ、除外例ヲ設ケヨウトシテ、國ニ於テ營ム電氣事業ニ於テハ、其前ノ第二項ニ於テ色々除外例ヲ設ケテ居ル、是ハ手續上ノコトデアルカラ私ハ宜シイト思ヒマ

問題ニ付キマシテハ、一昨日デアリマシタカモ御答ヲ申上ゲタ所ニ依ッテ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマスルケレドモ、御話ノアリマシタ統制命令ト云フモノハ、第三十一條ノ一項ノ、國ニ於テ營マントスルモノニ對シマシテ適用ハ決シテ除外サレテ居ナイノデアリマス、ソレハ第二項ニ於キマシテ、統制命令ノ條項ガ適用スルコトニ明ニナッテ居ルコトデ御諒承願ヒタイノデアリマス、然ラバ何ガ故ニ第三項ニ於テ斯様ナ特別ナ一項ヲ設ケタカト申シマスルコト云フト、思想ト致シマシテハヤハリ協議ト云フ文字ヲ以テ承認ト云フ文字ニ變ヘタト同ジ思想ナノデアリマスルケレドモ、要スルニ國同志ノ間ニ於テ命令ト云フヤウナ言葉ヲ用ヒルト云フコトガ如何ナモノデアアラウカト云フ

考ヲ以チマシテ、命令ト云フ言葉ヲ避ケタイ、其考慮ノ爲ニ、特別ニ勅令ヲ以テ、何カ之ニ代ハルヤウナ形式ヲ以テ、實質ハ少シモ變ラナイノデアリマスルガ、命令ト云フ言葉ヲ避ケルガ爲ニ、考慮ヲ拂フト云フダケノ考ヲ以チマシテ、第三項ガ這入ッテ居ルノデアリマスカラ、此勅令ハ其點ニ觸レマシテ命令ト云フ言葉ニ變ヘルノニ或ハ請求トデモ言ヒマスルカ、或ハ通知ト云フノガ宜イノカモ知レマセヌガ、ソレニハマダ確タル案ヲ持ッテ居ナイノデアリマスルケレドモ、要スルニ實質ハ片面的ナ働キ掛ケノモノ、ミデアッテ、是ハ普通ノ場合ニ於テハ、命令ト稱シテ居ルケレドモ、官同志ノ間ニ於テハ、命令ト言ハナイデ、何等カ他ノ言葉ヲ以テシタ方ガ先ヅ普通ノ考ニ適シナイカ、妥當ダト云フ考ヲ多クノ人ガ持チハシナイカト云フヤウナコトカラ、此點ノ考慮ヲ以チマシテ第三項ヲ入レタニ過ギナイノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

改メルヤウニスルト云フコトデアレバ別デアリマスカラ、一向差支ナイ、遞信省ガ何故ニ國ニ於テ營ム事業ダケヲ特別ナ取扱ヲスルカ、特別ノ取扱ヲスルト云フコトハ微塵モナイ、文字ノ末ニ於テ命令スルト云フコトハ、穩カデナイト云フヤウナコトハ、甚ダ意味ヲ成サヌト思フ、併シソレヲ私ハ別ニ答メル譯デハナイ、唯實質ニ於テ二十四條ノ統制命令ニ於テ、苟モ官民ノ取扱ヲ異ニスルト云フコトハ必ズ爲サラヌト云フコトヲ大臣ガオイデニナラナイカラ、政務次官ノ明白ナル私ハ言明ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今御質問ノ通りデアリマス

○清瀨委員 第三十二條ノ組織ノコトニ付テ大分參考書類ヲ戴イテ居リマス、ソレニ依ッテ組織ノ内容モ略、分リマシタカラ満足致シマスガ、諮問事項ハ二十四條ノ第一項ノ命令モ重要デアルニ相違アリマセヌ、併シ其他ニモ重要ノコトガ澤山アルト思ヒマス、例ヘバ料金認可ノコトデアルトカ、料金ノ變更ニ關スルコト、即チ第十七條ノ第一項、第二項、第二十三條、二十五條二十六條、二十七條、二十八條、二十九條、三十一條ハ悉ク御諮問ナサラナケレバナラヌト思ヒマス、此諮問事項ヲ御掲ゲニナッテモ、ソレ程澤山ノ文字

○清瀨委員 第三十二條ノ組織ノコトニ付テ大分參考書類ヲ戴イテ居リマス、ソレニ依ッテ組織ノ内容モ略、分リマシタカラ満足致シマスガ、諮問事項ハ二十四條ノ第一項ノ命令モ重要デアルニ相違アリマセヌ、併シ其他ニモ重要ノコトガ澤山アルト思ヒマス、例ヘバ料金認可ノコトデアルトカ、料金ノ變更ニ關スルコト、即チ第十七條ノ第一項、第二項、第二十三條、二十五條二十六條、二十七條、二十八條、二十九條、三十一條ハ悉ク御諮問ナサラナケレバナラヌト思ヒマス、此諮問事項ヲ御掲ゲニナッテモ、ソレ程澤山ノ文字

ヲ費スモノデハナイト思ヒマス、之ヲ明白ニナサツテ置ク御意思ハアリマセヌカ、若クハ勅令ヲ以テ明ニサレル御積リデアルカト云フコトヲ御伺致シマス

○中村政府委員 二十四條ノ第一項ノ命令、其他電氣事業ニ關スル重要事項トシタ方ガ却テ廣イノデハアリマセヌカ

○清瀬委員 ソレハアルダラウト思ヒマス、二十一條、十七條、二十三條、二十五條等ノ總テノモノヲ入レテ、其他電氣事業ニ關スル重要事項トシテモ差支ナイト思ヒマス、二十一條ダケヲ入レテ、其他ハ入レヌト云フコトハ、二十一條ダケヲ重ク見テ居ルヤウデアル、二十一條モ大切デアルガ、十七條モ多數ノ者ニ關係ノ及ブモノデアル、

統制ト云フコトハ、國民一般ノ利便ノ爲ニ統制スルモノデアル、其國民ニ直接影響ノアルモノハ十七條デアル、只二十一條ダケヲ入レテ、十七條ヲ入レナイト云フコトハ、他ノモノヲ輕ク視ルヤウナ感ジガスル、十七條、二十三條、二十五條、二十六條、二十七條、二十八條、二十九條、三十一條ヲ入レテ、其他電氣事業ニ關スル重要事項トシタ方ガ、尙ホ明確ニナルト思ヒマス

ガ、是ハ必ズシモ此條文ニ入レナクトモ、勅令ニデモ御入レニナル御積リデアルカ、私ハ御入レニナルコトヲ希望スルノデアリマス、當局者ハドウ考ヘマスカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、御尋ノ點ニ付キマシテハ、立法技術ト申シマスカ、法律ノ體裁ト云フコトガ、主ニナル問題デハナイカト思ヒマス

ガ、色々ノ立法例ヲ見マス、略、同一ノ目的ヲ以テ置カレテアルモノト考ヘラレマス、斯様ナ委員會ノ機關ニ付キマシテ、全ク法律ヲ缺キマシテ、官制ノミヲ以テヤツテ居ルモノモアル位デアリマス、又稍、詳シク各法條毎ニ此事柄ハ斯ウ云フ機關ニ掛ケル、ト云フヤウナ例モナイデハナイヤウデアル、何レガ適當デアルカト云フコトニナリマ

スガ、法文ノ體裁ノ完璧ヲ期スルトカ、色々ナ點ヲ考慮致シマシテ、本案ニ於キマシテハ兩者ノ真中頃ミタイナモノニナリマシタガ、命令其他電氣事業ニ關スル重要事項ト云フコトデ、後ヲ一括シテ、官制ノミニ讓ラナイデ置クコトガ妥當デハナイカト思ヒマシテ、其邊ニ落著カセタノデアリマス

○清瀬委員 ソレデハ是ダケ伺ヒマシテ私ハ質問ヲ打切りマス、第三十二條ノ諮問事項ニハ第十七條、第二十三條、第二十五條、第二十六條、第二十七條、第二十八條、第二十九條、第三十一條ノ事項ヲモ必ズ御諮問ニナルモノト承知致シテ宜シウゴザイマス、是ダケヲ色々ナ御取扱ヲナサル場合ニハ、必ズ電氣委員會ニ御諮問ニナルト云フコトヲ御認メニナリマスカドウデスカ

○小泉國務大臣 只今ノ御質問ハ、數條ニ互ツテ居リマスルカラ、調査ノ上御答辯致シマス

○清瀬委員 モウ一ツ御尋致シテ置キタイト思ヒマスルコトハ、河川其他公有ノ水利水面ニ關スル事項ヲ、此電氣委員會ニ諮問セヌコトニ相成ッタノハ、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、二十四條カラ電氣資源ト云フ文字ヲ御除キニナ

タト云フコトハ、内務省ノ反對ノ爲デアッタト云フ風ニ私ハ承ツテ居リマスルガ、昨年十二月ニ御發表ニ相成ッタ改正案ニハ、チャント電氣資源ト云フ文字ガ這入ツテ居ッタ、ソレヲ内務省ノ横槍ノ爲ニ御除キニナツタト承ツテ居リ

マスガ、ソレニ相違アリマセヌカ、ドウ云フ譯デ内務省ノ横槍ニ聽從ナサツテ、之ヲ御除キニナツタノカ、是ハ曾テ同僚ノ喜多君カラ御尋致シマシタガ、是ハ最モ重要ナコトデアル、然ルニ之ヲ御除キニナツテ居ルコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、是ハ内務省ノ横槍デ御除キ

ニナツタニ相違アリマセヌカ

○小泉國務大臣 二十四條ニ、電氣資源ト云フ文字ヲ入レテ置カスト云フコトニ對シマシテハ、内務省カラ何カ異

議ガアツテ除イタノデハナイカトノ御質問デアリマスガ、決シテ内務省ノ強要ニ依リ、ソレヲ取除イタト云フコトハ毛頭アリマセヌ、是ハ本會議ニ於キマシテモ、委員會ニ於キマシテモ、私カラ御答シタト記憶シテ居リマスガ、電氣資源ニ就キマシテハ、別ニ發電水

力法ト云フモノヲ設ケマシテ、只今御尋ノ趣旨ノ御疑念ヲ一掃致シマシテ成ベク各省ヲ統一シテ、命令ノ一途ニ出ヅルト云フ方針ニ基イテ法案ヲ出シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○大野委員 私ハ供給區域獨占ノ問題ニ付テ御尋致シタイト思ヒマス、遞信省ノ從來ノ御方針ハ、電燈及ビ小口動力ノ獨占ニハ常ニ其方針ヲ御執リニナツテ居ッタノデアリマスガ、大口電力ニ對シテハ寧ロ自由競争ヲ認メタ方ガ良策デアル、新ウ云フ方針ヲ御執リニ

ナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、今回ノ此法案ニ依リ、或ハ先日來ノ質疑應答ニ依ルト、原則トシテ供給區域ハ獨占ヲ認メルト仰シヤツテ居ルガ、是ハ何時カラサウ云フ風ニ方針ヲ變更サレタノデアリマス、先ヅ此點ヲ御伺致シマス

○小泉國務大臣 供給區域ヲ獨占ヲ致スト云フ此考ハ何時頃カラカト云フ、ソナコトデアリマセヌノデ、現在ノ電氣事業者界ノ色々複雑シタ有ユル事情ヲ綜合致シマシテ、慎重ニ研究ヲ致

知致シテ宜シウゴザイマス、是ダケヲ色々ナ御取扱ヲナサル場合ニハ、必ズ電氣委員會ニ御諮問ニナルト云フコトヲ御認メニナリマスカドウデスカ

○小泉國務大臣 二十四條ニ、電氣資源ト云フ文字ヲ入レテ置カスト云フコトニ對シマシテハ、内務省カラ何カ異

議ガアツテ除イタノデハナイカトノ御質問デアリマスガ、決シテ内務省ノ強要ニ依リ、ソレヲ取除イタト云フコトハ毛頭アリマセヌ、是ハ本會議ニ於キマシテモ、委員會ニ於キマシテモ、私カラ御答シタト記憶シテ居リマスガ、電氣資源ニ就キマシテハ、別ニ發電水

力法ト云フモノヲ設ケマシテ、只今御尋ノ趣旨ノ御疑念ヲ一掃致シマシテ成ベク各省ヲ統一シテ、命令ノ一途ニ出ヅルト云フ方針ニ基イテ法案ヲ出シ

シマシタ結果、現在ノ所デハ供給區域
ハ重複ヲ許サヌ、即チ獨占ヲ原則トス
ル但シ需用供給ノ調節ヲ計ルガ爲ニハ
特定供給ト云フモノヲ許ス便法ヲ置ク
コトガ適當デアラウト、是ハ現在ノ現
狀ニ即シテ考ヘタ次第デアリマシテ、
何時何日カラト云フコトハナイノデア
リマスカラ、其點ハ御諒承願ヒマス
○大野委員 昭和二年ノ五月頃、時ノ
電氣局長中西四郎君ハ幾多ノ新聞雜誌
等ニ於キマシテ、遞信省トシテハ小口
動力及ビ電燈ニ對シテハ獨占ヲ以テ良
策ト思フ、併シ大口動力ハ産業發達ト
密接不離ノ關係ニアルカラ獨占ヲ許サ
ナイ、是ハ或ル程度ノ競争ハ需用者側
ノ利益デアッテ、今日ト雖モ此方針デ進
ム、是ガ最良ノ方法ト信ジテ居ルト云
フコトヲ昭和二年頃ノ遞信省電氣局長
ハ幾多ノ言論機關ニ發表サレテ居リマ
スガ、其當時ハ此方針デアッタノカ、其
後ニ於テ只今大臣ノ仰セラレタヤウニ
變ッテ來タノデアリマスカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、獨
占力競争カノ問題ニ付テハ、要スルニ
電氣事業界ノ業態ノ變遷ニ應ジマシテ、
此方針モ亦次第々々ニ移ッテ行カナケ
レバナライモノダト私ハ考ヘテ居リ
マス、電氣業ノ初歩ノ時代ニ於キマシ
テハ獨占ハ宜クナクテ、電燈若クハ小サ
イモノニ付テサヘモ競争ガ宜カッタノ
デアリマス、ソレガ段々業態ガ變ルニ
從ヒマシテ、電燈ハモウ獨占デナケレ
バナラヌト云フコトガ確立致シテ、更
ニ大口ノ動力ニ對シテモ獨占デナケレ
バナラヌト云フコトガ確立致シ、サウ
シテ今ハ現ニ區域トシテハ重複ヲ許サ
スコトヲ以テ可トスル程度ニ達シタノ
デアリマス、併ナガラ絕對ノ獨占デハ
マダ少シ今日進ミ過ギテ居ル、然ラバ
ドウスルカト云フト區域ヲ重複シテ許
可シテ競争サセルト云フコトハ弊害
アッテ宜シクナイ、ケレドモ需給ノ調節
ヲスル爲ニ區域ニ關係ナク、特定ノ事
業者ニ對シテ特定供給ヲ許スト云フ方
針ヲ以テ、需給ノ均衡ヲ按配スルノヲ
以テ最モ適當トスル時期ニ只今ハアル
ノデアアル、ソレガ何時サウ云フ風ニ變
テ來タカト云フコトニ付テハ、事柄ガ
左様ニ次第々々ニ移ッテ參ッタノデアリ
マスカラ、ハッキリト何時ドウ云フ時期
カラト云フコトハ申上ゲ惡イ性質ノモ
ノカト考ヘマス

○大野委員 只今ノ御説明デ、時代ノ
進運ニ即シテ今回ノ立法ヲヤッタノデ
アルト斯ウ仰シヤッタノデアリマス、併
シ私共素人考ヘデハアリマスガ電燈及
ビ小口動力ノ獨占ニハ誠ニ贊成デアリ
マスガ、大口電力、即チ産業用動力ノ
基本トナルベキ電力ハ料金ヲ安クシテ
「サービス」ヲ競争的ニ改良セシメル上
カラ言ッテ、自由競争ガ最モ宜イト思フ
ノデアリマス、之ニ反シテ獨占ニ委セ
ル時ニハ其會社ヲシテ徒ニ横暴ナル而
モ産業用動力トシテハ、極メテ必要ナ
ル、潤澤且ツ經濟的ナ電力ノ供給ヲ停
頓セシメル虞レガアルト思フガ、當局
ハ如何ナル御見解デアリマスカ
○小泉國務大臣 只今ノ御問ハ一應御
尤デアリマスガ、從來ノ如ク料金ガ届ケ
出制度デアリマス、供給區域ヲ獨占
スルコトハ非常ニ弊害ガ生ジ易イト思
ヒマスガ、本案ノ趣旨ハ御承知ノ如ク
料金ヲ認可制度ヲ以テスル以上ハ、供
給區域ダケハ獨占ヲ原則トスルコトガ
適當デアルト、先般モ私ノ意見トシテ
申上ゲテ置キマシタ通り、ドウシテモ
料金認可制度即チ供給區域獨占ト云フ
コトハ、是ハ不可分ニ考ヘタ方ガ最モ
適當デアルト、斯様ニ信ジタ次第デア
リマス

○大野委員 只今認可制度ヲ執ルノデ
アルカラ區域ハ獨占ニシタ方ガ宜イト
云フコトデアリマスカ、一應御尤ダト
思ヒマスガ、併シ私ハ認可制度ハ明治
四十四年貴族院デ之ガ否決サレタ歴史
ヲ持ッテ居リマス、第一認可制度ニスル
ト企業家ガ企業ヲスル秘密ガ私ハ保タ
レマイト思フ、現ニ斯ウ云フ實例ガア
ル、東京市ノコトデアリマスガ、曾テ
或ル企業家ガ電氣火葬ヲ考ヘタノデス
電氣火葬ヲ出願致シタ、警視廳竝ニ東
京市ニモ關係ガアリマスカラ東京市ヘ
之ヲ出願シタ所ガ、東京市ガ之ヲ握ッテ
シマッタ、其企業ノ内容ヲ見テ是ハ中々
良イモノデアルト見テ握ッテシマッタ、
自ラ電氣火葬ヲ設置シタコトガアル、
斯ウ云フコトガ是カラ私ハ幾ラモ起リ
ハセヌカト思フ、殊ニ今日ノ如ク政爭
ガ苛烈ニナレバ苛烈ニナル程斯ウ云ッ
タ所謂企業ノ秘密ガ往々ニシテ漏レハ
セヌカ、遞信省ニ出願スルト、小泉遞
信大臣ノ如キ人格稀ニ見ル高潔ナ方ガ
在ッテ、或ハ中村政務次官ノ如キ方ガ居
リマスレバ宜シウゴザイマスガ、サウ
デナイ人ガ中ニハ居ルノデアリマス、
極メテ黨派心ノ強イ人デアルト、出テ
來タカラト云ウテサウ云ッタ秘密ヲ自
分ノ黨派ノ實業家ニ知ラセテ、又共願
サセテ競争サセル、サウシテ自分ノ黨
派ノ關係ノ方ヘ許可スルト云フヤウナ
コトガ、將來ニ起ッテ來ハセヌカト云フ
コトヲ憂慮スルモノデアリマスガ、如
何ニ御考ニナッテ居リマスカ
○小泉國務大臣 只今御尋ノ御趣意ノ
如キコトガ絕對ニナイトハ言ヒ得ナイ
カモ存ジマセヌガ、我ガ遞信省ハ傳統
的ニ誠ニ能ク省内ハ統一一致シテ居リマ
シテ、サウシテ傳統的ニ少シノ黨派心
モ挾ンデ事務ニ執掌致シテ居ルト云フ
形跡ハ少シモナイノデアリマス、私ハ

今自分ガ遞信省ノ椅子ヲ讀シテ居ルノ
デ辯明ガマシイコトヲ言フノデアリマ
スガ、決シテサウデハナイノデアリマ
ス今ハ在野黨ノ時分ニハ大野君ト同ジ
ヤウニ、役所ハ何デモ彼デモ官僚式ニ
政黨カラ強要スルト、其強要ニ應ズル
ヤウナ弊害ガアルモノト思フテ居タ時
代モアッタノデアリマス、一度自分ガ遞
信省ノ此椅子ヲ讀スコトニナリマシ
テ、我が遞信省ト致シマシテハ今申上
ゲマシタ通り、ドノ點カラ見テモ傳統
的ニ能ク省内ハ統一一致シテ居リマシ
テ、決シテ電氣事業者若クハ政黨者間
カラ動カサレタト云フ事實ハ今日マデ
見出サズ、全ク是ハ御世辭デモ何デモ
アリマセス、此美シイ狀態ヲ推進シテ
參リ、殊ニ又斯ウ云フ新シイ電氣事業
者竝ニ需用者トモ大變都合ノ好イ法律
ガ出來マスレバ、今後一層此遞信省ノ
傳統的ノ精神ヲ持チマシテ、只今ノヤ
ウナ御憂慮ニナル所ノ點ハ決シテナカ
ラウト、斯ウ私ハ確ク信ジテ居ルノデ
アリマス、ドウゾ其點モ御諒承ヲ願ヒ
タイノデアリマス

○大野委員 只今遞信大臣ノ御話ニ依
リマス、自分モ在野當時サウ云フヤ
ウナ私ト同ジヤウナ考ヲ持ッテ居タ時
代モアッタガ、一度椅子ヲ讀シテ見ルト、
遞信省ハ從來カラサウ云フヤウナコト
ハ一ツモナイ、寔ニ私ハ其御話ヲ聽イ

テ安心致シタノデアリマス、サリナガ
ラ是ハ大臣ハ小サイコトヲ御承知ナイ
カモ知レマセヌガ、現在岐阜縣ノ
是ハ横道ニ入りマスガ、必ズシモ黨弊
ガ遞信省ニ及ンデ居ナイトハ言ヘスト
云フコトヲ私ハ申上ゲマス、私ノ選舉
區ノ岐阜縣ノ武儀郡ノ菅田町ト云フ所
ニ郵便局ガアリマス、今私ハ今井田事
務官ニモ一寸其事ヲ申上ゲテ置イタノ
デアリマスガ、又清水祕書課長ニモ申
上ゲタガ、此處ニ日下部ト云フ人ガ郵
便局長デアリマシテ、今ノ局長ハ就任
シテ二三年程モ經ッタデアリマセウガ、
其實父ハ約三十年モ菅田郵便局ノ局長
ヲ致シテ居リマシテ、幾度カ遞信省カ
ラ表彰サレテ居ル模範郵便局長デアリ
マス、然ルニ此局長ガ財界ノ不況ノ爲
ニ財産ヲ無クシマシタ、ソコデ局長ハ
ドウカシテ自分ノ親戚ノ財産デモ自分
ノ名義ニシテ、父ガ三十年モ此郵便局
長ヲヤッテ其後ヲ繼イダノデアアルカラ、
何トカシテ保證金ト云ヒマスガ、財産
ノ方ノ不安ヲ除ク爲ニ一生懸命デ運動
シテ居ル眞最中ニ、偶々名古屋遞信局カ
ラデアラウト思ヒマスガ、呼出狀ガ來
テ、オ前ハ何モ不都合ハナイケレドモ、
オ前ノ家ノ財産ガナクナッテハ困ルカ
ラ、直チニ辭表ヲ書ケト云ウテ、去年
ノ九月此局長ハ詰腹ヲ切ラサレテ辭表
ヲ出シマシタ、所ガ今日迄六ヶ月ノ間

マダ後任者ガ決ラナイ、隨分土地トシ
テハ相當ノ人ガ局長ヲ願出タノデアリ
マスガ、是モ政黨ノ爲ニ——私ハ敢テ
政黨ノ爲ト言フ、民政黨ノ岐阜縣ノ多
額納稅議員、長尾元太郎君、此人ガ一
番有力ナル郵便局長ノ候補者ヲ自分ノ
家ヘ呼寄セテ、オ前ハ郵便局長ヲ願出
タサウダガ、止メロ願書ヲ撤回シロト
言フ、多額納稅者ト云フト其村デハ一
番大金持デアアルカラ、少シ此人ニ睨マ
レルト村デ生活スル上ニ於テ非常ナ不
便ト不都合ヲ感ズルト云フノデ、此人
ノ權威ニ恐レテ、遂ニ局長ニ採用シテ
貰ヒタイト云フ願書ヲ出シタノヲ撤回
シタノデ、今ニ至ル迄局長ガ決ラナイ
デ居リマスガ、是ハ何故カト云フト、
今度長尾君ハ自分ノ子供ヲ郵便局長ニ
シテシマハウト云フノデアッテ、是ガ出
來ナケレバ民政黨ヲ脱黨シテモ宜シイ
ト云フ聲明マデ出シテ今日モ運動ヲ
ヤッテ居ル、吾々ハ斯ウ云フ不祥ナ事實
ヲ現ニ見テ居ルノデアリマス、ソレデ
私ハ黨弊必ズシモ遞信省ニハ及ンデ居
ナイトハ思ハナイノデアリマス、將來
私ハ斯ウ云フコトガ益々簇出スルノデ
ハナイカト云フコトヲ眞ニ憂ヘテ居リ
マスガ、是ハ此問題トハ全然別個ノ問
題デアリマスガ、斯ウ云フタコトモ人格
高キ小泉遞相統率ノ下ニ於テ黨弊此處
ニ侵入シテ居ルト云フ、新シイ現在問

題トナッテ居ル事實ガアルノデアリマ
スカラ、況ヤ此大資本ヲ有スル所ノ電
燈電力會社等ハ如何ナル魔手ヲ伸スカ
分ラナイ、現ニ吾々ハ是モ目撃シテ居
ルノデアリマス、後カラ御尋致シタイ
ト思ッテ居リマスガ、此法案ノ第三十五
條ニ「本法若クハ本法ニ基キテ發スル命
令ニ依リ許可若ハ認可ヲ受ケテ爲スベ
キ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタル者又
ハ第十七條第二項若ハ第二十四條第一
項ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ二千圓
以下ノ罰金ニ處ス」是ナドハ私共カラ
言ハセルト甚ダ罰金ガ輕イ、寧ろ斯ウ
云ッタ者ニハ體刑マデモ持ッテ行ッテ貰
ヒタイ程ニ吾々ハ思ッテ居ルノデアリ
マス、現ニアノ庄川問題ハ如何デアリ
マスカ、日本電力株式會社ト云フ大キ
ナ資本ヲ有シテ居ル所ノ會社ガ如何ニ
遞信省ヘ魔手ヲ伸バン、前中野政務次
官ガ在任中ノ如キハ、池尾芳藏ト云フ
社長ガ明言シテ居ルデハナイカ、遞信
省ノ命令ガナンダハ縣廳カラ命令ガ來
テモ構ハナイ、ヤッテシマヘト云フノ
デ、命令モ何モ來ナイ中ニドン／＼堰
堤モ作レバ、何デモ勝手氣儘ノ行動ヲ
執ッタト云フコトハ、現ニ今日裁判所ノ
問題ニナッテ居ルデハアリマセヌカ、
吾々ハ斯ウ云フコトヲ目撃スル度ニ、
決シテ遞信省ト雖モ、安心ガ出來ナイ
ト思フ、故ニ此許可制度ハ相當考ヘモ

ト思フ、故ニ此許可制度ハ相當考ヘモ

ノデハナイカト思フノデアリマス、ソアラズシテ、内務農林ノ當局ト能ク協
レカラモウ一ツ御尋致シマスガ、今回議ヲ致シマシテ、萬違算ノ無イヤウニ
ノ法案ハ電氣事業委員會ノ答申ニ基キ致シテ居ル點ニ徴シマシテモ、池尾某
立案サレタヤウデアリマスガ、此委員ノ名前ヲ御漏シテ願ヒマス

○小泉國務大臣 只今私が遞信省ニ於テハ傳統的ニ洵ニ明ルク、正シク、力強ク、統一一致シテ居ル、斯ウ申上ゲタニ對シテ、實例ト致シテ岐阜縣大野郡ノ三等郵便局ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、實ハ三等郵便局ハ餘リ大臣ガ關係致シマセヌ、併シ只今ノ御説ヲ伺ヒマス、私モ調査ヲセザルヲ得マセヌカラ、篤ト調査ヲ致シマシテ、誤リナキヤウニ致シタイト思ヒマス、次ニ庄川問題ヲ御引キニナリマシテ、元ノ中野次官、ソレカラ池尾何ト申シマスカ、名ヲ能ク存ジマセヌガ、此池尾氏ト何カ關係ガアッタ、私ハソレヲ辯解致シマセヌガ、池尾ト云フ人ガ何カ遞信省ニ高壓のニ命令ヲスルト、何デモ池尾氏ノ言フ通りナルデハナイカト云フヤウナ御口吻デアッタノデアリマスガ、此點ダケハ特ニ御諒承ヲ願フテ置キマス、我が遞信省ニ於キマシテハ、電氣事業者カラ如何ナルコトヲ申出マシテモ、正鵠ヲ得タモノデナケレバ、何トシテモ法ヲ曲ゲ或ハ事實ヲ曲ゲテ之ニ應ジタコトハアリマセヌ、殊ニ庄川問題ハ御承知ノ如ク、遞信省ノミノ決裁事項ニ

議長 遞信大臣 小泉又次郎氏

法制局長官 川崎 卓吉氏

内務政務次官 齋藤 隆夫氏

大藏政務次官 小川郷太郎氏

農林政務次官 高田 耘平氏

商工政務次官 横山勝太郎氏

遞信政務次官 中野 正剛氏

遞信次官 今井田清徳氏

鐵道政務次官 山道 襄一氏(昭和五年三月十二日辭任)

古市 公威氏

青柳 榮司氏

澁澤 元治氏

中島久萬吉氏

大河内正敏氏

中山秀三郎氏
橋本圭三郎氏
肥後 八次氏
團 琢磨氏
田中 隆三氏(昭和五年三月九日辭任)
一宮房治郎氏(昭和五年三月九日辭任)
福澤 桃介氏
松浦五兵衛氏
若尾 璋八氏
藤田 謙一氏
松岡 均平氏
津崎 尙武氏
串田 萬藏氏
杉浦 武雄氏
井上敬次郎氏
永井 專三氏
山本 忠興氏
松永安左衛門氏

臨時委員

内務次官 潮 惠之輔氏

大藏次官 河田 烈氏

農林次官 松村真一郎氏

商工次官 三井 米松氏

遞信參事官 福田 五郎氏

遞信省經理局長 大橋 八郎氏

鐵道次官 青木 周三氏

増田 次郎氏

池尾 芳藏氏

林 安繁氏

是ダケデアリマス

○大野委員 只今ノ顔觸中官吏ハ別ト致シマシテ、此委員ヲ見マシテモ、消費者側ノ委員ハ一人モ見受ケナイノデアリマスガ、今度設置サレル委員會ニハ、需用者側ノ委員モ御入レニナル御考デアリマスカ、如何デスカ

○小泉國務大臣 需用者側代表ト申シマシテモ、如何ニモ範圍ガ廣イノデアリマシテ、先ヅ其時ノ政府ノ政務官ナルモノハ、國民ノ代表タル代議士ガ大部分デ、サウ「ブルジョア」階級デモナイヤウデアリマスカラ、是ハ消費者ノ代表ト見テモ宜カラウト思ヒマス、特ニ消費者ノ代表トシテ選ム意見ハ持ッテ居リマセヌ

○大野委員 モウ一點伺ヒマス、大口電力ノ料金ヲ地域のニ公定スルト云フコトハ、性質上出來ナイト思ヒマス、例ヘバ紡績ニ用ヒル電力ハ、少々値段ガ高クテモ、或ハ電壓ニ狂ヒガ來タトサレルト云フヤウナ事業ニハ、少々電力ガ高クテモ優良ナ電力ヲ用キナケレバナラス、之ニ反シ製鐵事業ノ如キハ、少々電壓ノ狂ヒガ來ヤウガ、一寸位停電シタカラト云ッテ差支ナイカラ、成ベク安イ電力ヲ使ヒタガルト思フノデアリマスガ、同ジ地域デ料金ヲ定メルト云フノハ、相當困難ト思ヒマスガ、之ニ對シテハ如何様ニ御考ニナッテ居リマスカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、洵ニ御尤ナ御言葉ト拜承致シマス、無論料金ノ認可ヲ致シマスニ付キマシテハ、或地域ニ限りマシテ、料金ガ認可サルルト云フ原則ニハナルダラウト思ヒマスケレドモ、同時ニ又御述ニナッタ點モ決シテ見通ス譯ニハ參ラナイノデアリマス、ソレハ料金政策ヲ加味スルコトニ依リマシテ、特殊ノ産業ニ依リマシテハ、特別ニ安イ電力ヲ認メルト云フヤウナ方法ヲ講ジマスノデアリマシテ、地域ノミニ依ル積リデハナイノデアリマス、適當ニ政策的ニモ亦考慮シタイト思ヒマス

○大野委員 今回此法案ヲ提案サレタ理由其他ハ諒承シテ居リマスガ、最後ニ私ハ遞信省ノ電氣事業ニ對スル根本方針ヲ御尋シテ置キタイト思ヒマス、今回統制スルト云フコトハ國營ノ準備トシテ此統一統制ヲ御圖リニナルノデアルカ、或ハ現在ノ一二ノ大電力會社ノ安定ヲ圖ル爲ニ此案ヲ立法サレタモノデアルカ、又近來日本全國到ル所ニ於テ、電燈電力會社ニ對シテ所謂爭議ガ頻發致シテ居リマス、私ノ縣ノ如キニ於テモ、東邦電力會社ニ對シテハ、相當猛烈ナル運動ヲ起シテ居ルノデアリマスガ、一度此認可ヲ御探リニナルト、恐ラク全國ノ需用者側ガ舉ッテ會社ノ橫暴ヲ訴ヘ、會社ハ常ニ非常ニ高

イ料金ヲ取ッテ吾々需用者ヲ苦シメテ居ルカラ、其内容ヲ調査シテ速ニ適當ナ値下ゲヲシテ吳レト云フ出願書ガ全國カラ集ッテ來テ、積ンデ山ヲ爲スダラウト思フ程ニ考ヘルノデアリマスガ、此調査ニ對シテハ遞信省ハ隨分澤山ナ御役人ヲ要スルダラウト思ヒマスガ、サウシナカッタナラバ二年モ三年モ五年モ十年モ掛ッテ、一々調査スル譯ニモ行カナイデセウカラ、斯ウ云フコトニ對スル經費ハモウ豫算ニ組マレテ居ルノデアリマスガ、聞ク所ニ依ルト、其爭議ノ問題バカリデハアリマセス、或ル會社ノ内容ヲ調査スル爲ニ要スル費用、或ハ人員等ノ關係ハ今日ノ簡易保險ノ何倍モノヲ要スルデアラウト言ッテ居ル人モアルノデアリマスガ、斯ウナルト電燈會社ノ調査ニモ非常ナ澤山ノ金ヲ要スルノデアリマスガ、緊縮政策ノ内閣ニソナナ金ガ出來マセウカ私ハ非常ニ遞信省ノ爲ニ心配シテ居ルノデアリマス

○小泉國務大臣 此電氣事業法ハ國營ノ前提デアルカドウカ、斯様ナ御問ノヤウデアリマシタガ、本案ノ骨子ト致シマス所ハ、先般モ申シマシタ通り、電氣事業者ノ資本ノ浪費ナカラシムル爲メ、又監督ノ力ヲ以テ其目的ヲ達シテ、設備ノ重複其他ノ無駄ヲ排除シタイト云フコトハ勿論デアリマス、此法案ノ目的ガ思フ通りニ全ク理想的ニ實現シテ進ンデ參リマシタテ、將來ニ於テハ或ハ國營ノ大理想ニ達スルコトガ出來ナイトモ限ラヌト思ッテ居リマス、但シ當局ニ於テ本案ヲ提出シマシタノハ、國營ノ前提デナイコトダケハ申上ゲテ宜イト思ヒマス、次ニ料金ヲ認可制度ニスルト、現在デモ各地ニ鈔カラザル電燈料値下ノ爭議ガ起ッテ居ルカラ、此上又非常ナ爭議ガ簇出シテ參ルソレヲ調査スルニハ非常ニ多額ナ經費ヲ要スルガ其經費等ノ用意ハシテ居ルカト云フ御質問ノ要旨ニ承リマシタガ、本案ニ對シテハ未ダ大藏當局ト經費ノ點ニ付テハ協商ガ成立致シテ居リマセス、遞信當局ハ努メテ大藏省ニ向ッテ出來ルダケノ經費ヲ要求シ、又其要求ヲ容レサセル考デ居リマス、而シテ今日ト雖モ全國ニ互ッテ大分數多ノ爭議ガ起ッテ居リマス、之ヲ悉ク等閑ニ附シテ居ル次第デハアリマセス、出來ルダケ遞信省竝ニ地方當局双方ニ於テ圓滿解決ヲスルヤウ、有ユル努力ヲ拂ッテ居リマス、之ニ對シテハ遞信省ハ特ニ大藏省ニ爭議調停ニ要スル費用ハ要求致シテ居リマセス、現在ノ程度ニ於テハ相當力ヲ致シテ居リマスガ、今後ニ於ケルコトハ今後ノ狀態ニ依ッテ、若シ澤山ノ爭議デモ起レバ相當考慮シマスガ、現在ノ所ハ此料金認可制度ヲ執ッテ

モ、今日以上ニ左程多ク爭議ガ簇出シ而モ遞信省ノ裁定ヲ仰グト云フヤウナ大キナ事件ハ發生致サヌト今日デハ考ヘテ居リマス

○大野委員 本案ハ成ベク早く審議ヲ終了シテ本會ニ上セタイト云フ委員長ノ切ナル御希望モアリ、又他ニ質問者モアリマスカラ、私ハモウ一點ダケ伺ッテ置キマス、全ク天然資源ニ乏シイ我國狀ト致シマシテ、唯一ツ惠マレテ居ルノハ水利デアルト思ヒマス、私ハ嘗テ東京市會議員當時電氣ノ調査委員トナリマシテ、或ハ鬼怒川或ハ猪苗代或ハ木曾川等ノ水利使用ノ狀態ヲ詳カニ視察シタコトモアリマスガ、全ク日本ハ其總水利ノマダ漸ク五分ノ一シカ使ハレテ居ナイト云フコトモ聞イタノデアリマス、詰リ水利ノ使用ニ對シテ極メテ不經濟ナ使用ヲ致シテ居ルノデアリマス、今後水利權ノ許可等ニ當リマシテハ、餘リ有力ナ實業家、企業家ノ運動等ニ迷ハサレズ、國家經濟ノ爲ニ水利權ノ御許可等ニ方ッテハ、慎重ナル私ハ國家的見地ヨリ御進ミ願ヒタイ、斯ク希望ヲ致シテ置ク次第デアリマス、是デモウ私ハ質問ヲ止メマス

○河西委員長 清瀨君先刻最後ノ御質問ニ對シテ一ツ保留ニナッテ居ルノガアリマス、ソレハ只今富安政府委員カラ御答ヲ申上ゲマス

○富安政府委員 第十七條以下御舉ゲ

ニナリマシタ逐條ノ事柄ヲ、電氣委員
會ニ諮問スルコトノ考ハナイカ、斯様
ナ御間ニ對シマシテ御示ヲ戴キマシタ
各條ニ付キマシテ、私ノ考ヘテ居リマ
ス所ヲ申上ゲタイト存ジマス、第十七
條ノ料金ノ關係デアリマス、是同條
ノ第一項ノ事柄ハ料金決定ノ標準ニ關
スル事項デアリマシテ、諮問致シマス、
第二項ノ命令ハ是又諮問致ス考デアリ
マス、ソレカラ第二十三條ノ工事竝ニ
業務等ノ監督命令ノコトデアリマス
ガ、其中業務ノ關係ニ關シマシテハ重
大ナ事柄デアリマスナラバ、第十七條
ニ歸リマシテ諮問ヲ致ス考デアリマ
ス、次ニ工事ノ關係ニ付テ申シマスレ
バ、是又重大ナ事柄デアリマスレバ、
第二十四條ノ強制命令トシテ諮問スル
コトニ相成ルト考ヘマス、其外ノ事柄
ハ平易ナル事柄ニ屬スルデアリマシ
テ、諮問ヲシナイデ命令スルコトヲ以
テ適當デアルト私共考ヘテ居リマス、
第二十五條、第二十六條ハ、一ハ事業
譲渡、ソレカラ一ツハ會社合併ノ事柄
デアリマスケレドモ、是ハ現在ヤッテ居
リマス情勢ト全ク同一デアリマシテ、
之ヲ諮問スルニモ及バナイカト私共ハ
考ヘテ居リマス、ソレカラ第二十七條
ハ失効ノ事柄ノ規定デアリマシテ、是
ハ諮問ニ付スベキ内容ノ事柄ガナイヤ

ウニ私共考ヘテ居リマス、第二十八條
重役ノ改任ノ事柄ニ付キマシテハ、是
ハ電氣委員會ノ官制制定ノトキニ、諮
問事項トシテ書上ゲルノヲ私共ハ寧ロ
適當デハナイカト考ヘテ居ル次第デア
リマス、第二十九條、買收ノ規定デア
リマス、是ハ裁定スル場合ニ於テハ諮
問ニ付シマス、ソレカラ第三十一條、
是ハ國ニ於テ電氣事業ヲ營マントスル
トキハ、所謂會社ノ事業ニ對シマスル
第三條ニ該當スル所謂經營權許可ノ事
柄デアリマシテ、諮問ニ付スル必要ハ
ナイカト考ヘテ居リマス、右御諒承ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○清瀨委員 一寸御尋致シマスガ、二
十九條ノ國ノ場合ハ別ト致シマシテ、
公共團體ニ於テ買收スルト云フヤウナ
場合ノコトデアリマス、前三項ノ規定
ニ依ル買收價格、買收範圍其ノ他買收
ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調
ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキ
ハ主務大臣之ヲ裁定スルト云フコトニ
ナッテ居リマスガ、此裁定ニ服シナイ場
合ニハ、裁判所ニ訴ヘルコトモ出來マ
スケレドモ、此協議調ハナイトキニハ
又主務大臣ノ裁定ニ服スルコトハ厭ヤ
ダ、訴ヘルコトモ厭ダト云フコトニナ
リマス、其儘立消トナルモノデアリ
マス、或ハ是ハ主務大臣ガ裁定シタ
ス際ニ、篤ト慎重ニ審議ヲ致シマシテ、

許可ヲ初テスルノデアリマシテ、其許
可セラレタトキニ買收ノ價格範圍其外
ニ付テ折合ハナカッタトキニ、初テ主務
大臣ノ裁定ト云フコトガ起ルノデアリ
マス、其處ニ來ル前ニ斯様ナ手續
ヲ經テ斯様ナ事態デアリマス以上ハ、
裁定ト云フ段ニナリマシテ主務大臣ガ
愈、裁定ヲシマシタナラバ、ソレニ服
サネバナラナイト云フコトハ、私共ト
致シマシテハ當然已ムヲ得ナイコトデ
ハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ
最後ノ御尋ハ兩方トモ服サネバナラナ
イノカト云フ風ニ拜承シマシタガ、一
方ガ服サネバナラナイヤウナ場合ニ於
キマシテハ、兩方トモ同ジヤウニ取扱
ハレルノハ當然デアッテ、兩當事者ニ區
別ガ立ツベキ筋合ノモノデナイカト私
共ハ考ヘルノデアリマス

○富安政府委員 厭ヤデアルト云フ場
合ニ裁定ニ非強制的ニ服セシムルカ
ドウカト云フコトデアリマスガ、公共
團體ノ買收ニ付キマシテハ、既ニ公益
上ノ必要ニ依ッテ主務大臣ガ許可ヲ致
ス際ニ、篤ト慎重ニ審議ヲ致シマシテ、

○清瀨委員 大臣モ同ジヤウニ今ノ御
答辯ヲ肯定ナサルデアリマセウカ、例
ヘバ國ガ公共團體ガ買フト云フ原則ダ
ケヲ決メテ値段ガ折合ハナイ、値段ガ
折合ハナイト云フノハ公共團體ノ方デ
一定ノ價格ヲ決メテ、是位ナラバ買ヒ
タイト思フガ、折合ガ付カナイ、ソコ
デ主務大臣ニ持ッテ行ッテ裁定ヲ願フ、
裁定ハ假定デアリマスケレドモ、公共
團體ノ希望ガ是レ以上ノ裁定ハシテ貰
ヒタクナイ、例ヘバ千萬圓デ買ヒタイ
ト云フ公共團體ハ意思ヲ持ッテ居ル、買

○富安政府委員 厭ヤデアルト云フ場
合ニ裁定ニ非強制的ニ服セシムルカ
ドウカト云フコトデアリマスガ、公共
團體ノ買收ニ付キマシテハ、既ニ公益
上ノ必要ニ依ッテ主務大臣ガ許可ヲ致
ス際ニ、篤ト慎重ニ審議ヲ致シマシテ、

○清瀨委員 大臣モ同ジヤウニ今ノ御
答辯ヲ肯定ナサルデアリマセウカ、例
ヘバ國ガ公共團體ガ買フト云フ原則ダ
ケヲ決メテ値段ガ折合ハナイ、値段ガ
折合ハナイト云フノハ公共團體ノ方デ
一定ノ價格ヲ決メテ、是位ナラバ買ヒ
タイト思フガ、折合ガ付カナイ、ソコ
デ主務大臣ニ持ッテ行ッテ裁定ヲ願フ、
裁定ハ假定デアリマスケレドモ、公共
團體ノ希望ガ是レ以上ノ裁定ハシテ貰
ヒタクナイ、例ヘバ千萬圓デ買ヒタイ
ト云フ公共團體ハ意思ヲ持ッテ居ル、買

收談ヲ始メル、段々ヤッタガ中々此折合ガ付カナイデ、結局主務大臣ニ御裁定ヲ願フ、假ニ主務大臣ハ千百萬圓デ買ヘト御裁定ニナッタ時分ニ、公共團體ハ厭ヤダ、モウ少シ負ケテ貰ヒタイト云ッテモ、主務大臣ガ千百萬圓デ買ヘト云フ御裁定デアルカラ、之ヲ強制シテ厭ヤデモ應デモ、千百萬圓デ買ハネバナラス、斯ウ云フコトニ相成リマスガ、ソレデハ餘程ハ危イ規定ト思ヒマサ、其時ニハドウ云フ御取扱ヲナサルカ

○小泉國務大臣 只今清瀨君ノ御尋ノヤウナ場合ハナイトモ限ラヌト思ッテ居リマス、但シ公共團體ハ公益上ノ必要ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ得テト云フコトニナッテ居リマスノデ、公共團體デアリマスカラ、公益上ノ必要ガアリマシテ値段ノ裁定マデ行キマス其間ニ於テ、其道程ニハ大體ノ目安ガ付イテ居ル筈ニナッテ居ラウト思ヒマス、假ニ其道程中ニ値段ノ目安モ付カズ、遞信大臣ノ裁定ヲ俟ツト云フ段ニ相成ッタ時ニ、今仰セノ如ク一千萬圓ノモノヲ一千百萬圓ガ買ヘ、ソレガ適當デアルト思ヒマスレバ、當局大臣ハ左様ナ裁定ヲシナイトモ限ラヌト思ッテ居リマス、此場合ニ於キマシテハ双方カラ不服ガ出タナラバ出訴スルコトガ出來ル、ド

デハ非常ニ困ル場合ガ出來ル、買ハレル方デモ困ルガ、買フ方デモ困ルト云フ場合ガ出來ルガ、之ヲ強制サレルト云フコトニナッテハ頗ル迷惑ダト思ヒマスガ、ソレデモ強制サレルトデスカ、無論出訴權ハアリマス、出訴權ハアリマスガ、高イカ、安イカト云フコトヲ決メル出訴權デアッテ、之ヲ買フ事ヲ止メルトカ、買フ事ニスルトカ云フヤウナ出訴權デハナイト思フガ、ドウ云フ風ニ御判斷ニナリマスカ

○小泉國務大臣 此條項ニ依リマスルト、只今ノヤウナ事件ヲ生ジマシタ場合ヲ前提ト致シマシテ、當事者間ノ協議ニ依ル事トシテアリマスカラ、出來ル限リ協議ノ整フヤウナ方針ヲ執リマス、萬一其協議ガ整ハナカッタ場合アルト致シマスレバ、只今御質問ノ趣旨ノ如ク、一千萬圓デ買ハウトスル公共團體ガアリマシテモ、後ト例ヘバ五十萬圓ナリ、百萬圓ハ増額スルノガ適當デアルト、主務大臣ガ斯様ニ之ヲ認メマシタ以上ハ、其場合ニ強制スルコトハアルカモ存ゼス、斯様ニ解釋シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○清瀨委員 是ハ無論協議ガアルト云フコトハ存ジテ居ルノデアリマシテ、協議ガ整ヘバサウ云フ疑問ハ起ラナイ、唯協議ノ整ハナイ場合ニ疑問ガ起ルノデアリマス、主務大臣ハ公共團體ノ利益ヲ考ヘ、又買收サレル方ノ利益モ考ヘテ、假ニ千萬圓デ買フ方ガ公共團體ノ爲ニハ工合ガ宜イガ、千萬圓デ買ッテハ賣ル方ガ可哀相ダカラモウ五十萬圓出シテヤレ、或ハモウ百萬圓出シテヤレト云フヤウナ御裁定ヲ爲サルト、公共團體ハ自分ノ意思ニ反スル五十萬圓ナリ百萬圓ナリヲ豫定ヨリ高ク出シテ買ハナケレバナラナイト云フコトニナッテ、之ヲドウシテモ強制サレル、モウ厭ヤダト言ッテモ是ハ止メルコトガ出來ナイ、五十萬圓、百萬圓モ餘計出スナラ厭ヤダカラ止メタイト思ッテモ、遞信大臣ハ止メサセナイ、強制サレルト云フコトニナルト、公共團體ハ非常ニ迷惑スルト云フコトニナル、之ヲ強制スルト云フ御話デアルナラバ、非常ニ私ハ困ル場合ガアルト思フガ、ヤハリ強制サレルト云フコトニ御變リハナイノデスカ

○小泉國務大臣 此強制ト申シマスルト、何ダカ語弊ガアルヤウニモ感ジマスガ、其強制ナルモノハ蓋シ双方ノ間ニ立チマシテ、公平ナル裁定ガ即チ強制ト相成ルコトハ少シモ差支ナイ、萬一公共團體ニ於テ不服ガアルナラバ出訴スルダケノ餘地ヲ存シテアリマスカラ、サウ大シタ弊害ハナイ、左様ニ感ジテ居リマス

○清瀨委員 甚ダ執拗イヤウデアリマ

スガ、是ハ明カニシテ置キタイト思ヒ
マスカラ、モウ一ツ御同致シマス、無
論公平ナ裁定ヲ仰グト云フコトニハ、
私ハ異議ヲ挟ムモノデハナイ、飽マデ
公平ノ裁定ヲ爲サルニ相違ナイト思ヒ

ス、而シテソコデ不服ガアリマスルナ
ラバ、公平ナル又其上ニ裁判デ判決シ
テ貰フト云フ餘地ヲ置イテアリマス
カ、其通りデ差支ナイ、斯様ニ信ジテ
居リマス

ハセルト云フコトニナレバ強制ニナル
ガ、ソコハドウデセウカ
○小泉國務大臣 只今申上ゲタ通り、
結局ハ強制ト云フ事實ニハナルト思ヒ
マスガ、ドウモ強制ト云フ言葉ハ何ト

平ヲ缺イタ觀念ガ湧イテ來ルノデアリ
マスカラ、社會通念カラ行キマシテ強
要トセズニ裁定ト云フコトニ御協議ヲ
願ヒタイト思ヒマス

マスガ、公共團體トシテハ一千万圓ナラ
買ヒタイト云フコトヲ決メテ居ル、所
ガ逓信大臣ガ公平ニ裁定シテモウ五十
萬圓餘計出セ、或ハ百萬圓餘計出セト
云フコトニナツテ、御裁定爲スツタ、ソ
レニ從ハナケレバナラスト云フコトニ

○清瀨委員 逓信大臣ハ非常ニ公平公
平ト仰シヤルケレドモ、公平ト云フコ
トハ是ハ主客的ニ見レバ公平ト見テ
モ、外ノ人ハ公平ト見ナイカモ知レス、
御自分デハ公平ノ積リデアツテモ、甚ダ
不公平ノ場合ガ天下ニ澤山アルノデア

指定スルトアルノデアリマスカラ、先
ヅ強制ト云フ文字ヲ御避ケ下サイマシ
テ、公平ナル裁定ヲ爲ス、何處マデモ
協調ヲ原則ト致シテ、萬一協調ガ破レ
タ時ニハ主務大臣ガ公平ナル裁定ヲス

ニ於テハ千百萬圓デモ、所謂公平ナル
裁決ヲ爲シテ買ヘト裁定ヲナサツタ時
ニハ、厭ヤト云フコトガ出來ヌ、ソレガ
厭ヤデモ引退ルコトガ出來ヌト云フコ

ナツタナラバ、公共團體ハ非常ニ迷惑
ヲスル場合ガアル、是デモヤハリ逓信
大臣ノ御裁定デアルカラ五十萬圓ナ
リ、百萬圓餘計ニ出シテ、ソレダケ高
ク買ハナケレバナラスト云フコトニナ

モ、神様ノシタヤウニ公平デアルト言ッ
テモ、公共團體ガ千萬圓デアフト云フ
豫定ヲ作ツテ居ルノニ、逓信大臣ガモウ
五十萬圓出セ、或ハモウ百萬圓出セト
云フ御裁定ニナツテモ、五十萬圓出スノ

アルノデアリマスガ、只今ノ如ク一千
萬圓ヲドウモ安イカラモウ五十萬圓
買ツチャレ、ソレガ公平ダト云フ時モア
ルカモ知レマセスケレドモ、萬々サウ

ナリハシナイカ、之ヲ一ツ御研究ヲナ
サツテ、今日只今御答辯ハ必ズシモ要求
シマセヌカラ御協議ナスツテ明日ニデ
モ一ツ明確ナル御答辯ヲ仰ギタイ、之

デ出サセル思召デアリマスカ
○小泉國務大臣 只今御質問ノ通り裁
定ヲ致シマスル時ニハ、其裁定ナルモ
ノハ賣渡ス方、買取ル方、双方ニ對シ
テ少シモ不公平ナク、洵ニ正鵠ヲ擲ン

ハ嫌ヒダ、百萬圓出スノハ厭ヤダ、困
ルト云フ風ニ、非常ニ迷惑ヲスル場合
ニ、之ヲ買ハナケレバナラスト云フ強
制スル權利ガアルカナイカト云フコト

モウ五十萬圓増額スルノガ適當デア
ルカモ知レマセスケレドモ、萬々サウ
云フコトハナイト思ヒマスガ、絶對ナ
イトハ限ラヌト思ツテ居リマス、此時ニ

ナ問題ガ起ルト思ヒマス
○森委員 富安政府委員ハ先刻清瀨君
ノ問ニ對シテ大臣ガ裁定シタ以上ハ、
絶對服從スベキモノダト云フ御答ヲサ
レタト思ヒマスガ、私ノ聽イタ通りデ

テ買フノガ相當デハナイカト云フ、此
正鵠ヲ擲ンダ時ニ於テハ之ヲ綜合シテ
五十萬圓高ク買ヘト云フ、斯様ナコト
ハ強制サレルコトガアラウト思ヒマ

判斷スル爲ニ訴ヘルノデアラウト思
フ、之ヲ買フコトヲ止メルト云フコト
ヲ裁判所ニ訴ヘル途ハナイト思フ、一
體強制スルコトガ間違デアルト思フノ

カッタ時分ニハ之ヲヤハリ一千万圓ヲ
一千五十萬圓ト裁定シマスカラ、強要
ト云フコトニ結論ハナルカモ知レマセ
ヌガ、強要トナルト何トナクソコニ公

アリマセウカ

○富安政府委員 他ノ委員ノ方カラ段段御質問ガアリマシテ、御問サレル方ニ於テモ御研究ヲナサルト云フコトデアリマスシ、政府ノ方デモ研究スルト云フコトデアリマスカラ、總テ此問題ニ付テハ留保サレテ戴キタイト思ヒマス

○向井委員 今ノ清瀬君カラ御尋ノ問題ニ付テハ大臣ノ御答ハ、ドウモ私ハ此條文ハ非常ニ能ク分ルヤウニ出來テ居ルト思フノデスガ、是ハ今清瀬君ノ質問サレタ具體的ノ例トシテ、例ヘバ一千萬圓ノ價格ヲ以テ買收シヨウト云フ場合ニ、遞信大臣ハ千百萬圓ニ買フベシト云フ裁定ヲナサル、其裁定ハ強制力ガナイ、ソレニ服從セヌデモ宜イノデアアル、其價格ニ不平ノアルモノハ裁判所ニ其價格ニ付テ出訴スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、千百萬圓ニ裁定シヨウト、千二百萬圓ニ裁定シヨウト、遞信大臣ガ之ガ適當ナリト思フモノヲ、即チ協議ノ整ハナカッタ場合ニ裁定スル、ソレヲ強制デアルトカドウトカ云フ風ニ非常ニムヅカシク變ニ御答ニナルヤウナ氣味ガアルノデアリマス、此法文ハ私ナドガ讀ンデ見ルト頗ル分ルヤウニ出來テ居ル、協議ノ纏ラナイ場合ニ裁定ナサルノデアルカラ、遞信大臣ノ信ゼラレル所ニ依ッテ裁決スルノデアリマス、ソレガ即チ裁定デアアル、

其裁定ノ價格ニハ服從ノ義務ガナイ、之ヲ救済スル途ハ唯單ニ民事裁判ニ訴ヘテ其價格ニ付テ争フコトニナッテ居リマス、斯様ニ當局ハ御考ニナリマセヌカ

○小泉國務大臣 只今向井君ノ御釋明下スタ通りニヤハリ解釋シテ居リマス

○河西委員長 清瀬君ドウデス、此問題ハ今ノ向井君ノ御話デ能ク分ッタヤウニ思ヒマスガ……

○清瀬委員 此條項ニ依ッテ裁定スルカラソレデ宜イデヤナイカト云フ向井君ノ御話デアリマスケレドモ、私ノ言フノハ裁定サレタ場合ニ自分デ豫定シタヨリカ高イ、少シ遞信大臣ノ裁決ガ不公平ト云フコトハ語弊ガアルカモ知レヌケレドモ、少シ思ッタヨリカ高イ、高ク裁決サレタ場合ニモ、之ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトニナルトソレガ即チ強制ニナル、且ツ公共團體ハ非常ニ迷惑デハナイカト御尋シタノデス

○小泉國務大臣 私ノ御答ノ仕様が惡カッタト思ヒマス、之ヲ裁定致シマシテソレニ不服ガアルモノナラバ直チニ之ヲ買フ必要ハアリマセヌ、直チニ之ヲ出訴シテ裁決ヲシテ貰フ、其命令ニ服從スル義務ハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○清瀬委員 ソレナラバ宜シイガ、併シ裁判所ニ出訴スルト云フコトハ唯價格ガ安イカ高イカラキメテ貰フト云フコトガ出訴デハナイカ、買フ買ハナイト云フコトハ是ハ裁判所ニ出訴スベキ問題デハナイト思フ、價格ガ適當デアアルカドウカ、遞信大臣ノ裁決サレタ價格ガ正當デアアルカドウカト云フコトヲ裁判所ニ出訴スル規定ト思フ、其點ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマス

○小泉國務大臣 只今御尋ノ通りデス「前項ノ裁定中買收價格ニ付不服アル者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ」斯様ニ認メテアルノデアリマスカラ、勿論買收價格ニ付テノミノ是ハ出訴條件ト思ッテ居リマス

○清瀬委員 飽マデ買ヒタイ、或ハ賣リタイト云フヤウナ場合ニ、此値段ガ安イカ高イカト云フコトヲ裁判所ニ訴ヘル規定ト思フ、所ガ若シ或ル程度ノ價格ナラ買ヒタイト思ッテモ、價格ガ高イカラ買ハナイト云フコトハ、買フ方カラ言フナラ出來ルノデアリマス、ソレナラハ是ハ賣ル方ニモヤハリ同様ニ自分ノ豫定シタヨリカ安イカラ賣ラナイト云フコトガ出來ルノデアリマス、カドウデアリマス

○小泉國務大臣 賣ル方ノ側ニ於キマシテモ協議ガ整ヒマセヌデ、主務大臣ガ之ニ裁定ヲ與ヘテ、其裁定ニ直チニ

之ヲ買收スルノ義務ハ絕對ニアリマセヌ、ヤハリ同様ニ裁判所ニ出訴スルト云フノデアリマスカラ、其裁定ハ命令デ押ヘ付ケルノデハナクシテ、其協議ノ整ハナカッタ場合ニ裁定ヲ致シマシテ、双方共之ニ不服ガアリマスナラバ、之ヲ出訴スル、其裁定ハ命令デハアリマセヌカラ服從スル義務ハナイト思ッテ居リマス

○清瀬委員 此出訴スルト云フコトハ價格ガ自分ノ思フ通りデナイカラ出訴スルノデアラウト思ヒマスガ、其裁定ニ應ジナイ時ニハモウ買收ニ應ジナイ、一方ノ買フ方ハ買ハナクテモ宜イイト云フコトハ只今立派ニ明言ヲ得タノデアリマスガ、賣ル方ニ於テモ自分ノ意ニ滿タザル價格デアッタナラ拒絶スルコトガ出來ル、賣ラナイコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマス

○小泉國務大臣 左様ナ場合ニハ只今申上ゲマシタ通り、其裁定ニ絕對服從スル義務ハナイノデアリマスカラ、賣ル方ハソレヲ拒絶スル權利ヲ持ッテ居リマス、但シ其場合ニハヤハリ一方ノ買フ方カラ出訴スルコトガアルカモ知レマセヌ、ソレダケハ餘裕ガアルト思ヒマス

○向井委員 先刻清瀬君カラ質問サレマシタ電氣委員ニ附議スル事項ニ付

テ、政府委員ノ御答ガアリマシタガ、此三十二條ノ「第二十四條第一項ノ命令」ト云フ下ニ「及第二十八條第一項ノ處分又ハ命令」ト云フコトヲ之ニ併記スル御意思ハアリマセスカ、法文ノ體裁ハ別ト致シマシテ、私マダ修正意見デハアリマセスガ、重役ノ處分ニ付テ、非常ニ重キヲ置カレルト云フコトハ、先日申上ゲマシタ通り、株主總會ニ於テ選舉シタ重役ヲ改任スルト云フ如キハ、私ハ非常ナ重大問題ト思ヒマスカラ、少ナクトモ此條文ダケハ此處ニ併記スル御意思ハナイカドウカ、御即答出來ナケレバ、御協議ノ上デモ宜シウゴザイマス

○小泉國務大臣

是ハ適用シナイト思ッテ居リマス

○高見委員 所ガ過般屢、遞信大臣ニ質問致シマシテ、今日ノ電燈料ナリ、或ハ動力料ナリニ於テ、殊ニ電燈料ナド、云フモノハ、人間ノ殆ド生活資料デアルガ、高イト云フ考ヲ持ツカ持ヌカト云フコトニ付テハ、明答ヲ避ケラレテ居ル、ソコデ此間ノ區域ノ獨占ニ關シテ、ソレガ需用者側ニ對シテドウ云フ長所ガアルカト云フコトニ付テノ御返事ヲ承ハラズニ終リマシタガ、今後ノ認定ト云フコトデナク、今現在ノ何千何百ノ電氣料ヲ認定スル場合ニ於テ、値段ガ高イカ安イカト云フ觀念ガ、マダ定マラナイトシマス、所謂即認可ト云フ趣旨ガ徹底出來ナイヤウニ思ハレル、何トナレバ、電氣料ガ高イカ安イカマダ定メナイノミナラズ、電燈料ヲ一應認定スルト云フ立場ノ上ニ御出發ニナル以上ハ、獨占ノ結果、一方會社ハ喜ブケレドモ、社會的政策ノ上カラ見テ認定スルト云フ腹ガ定ッテ居ラヌ限リニ於テハ直ニ車ノ兩輪ト言ハレヌト云フ非難ガ起ッテ來ル、同時ニ斯ウ云フコトヲ言フ人ガ澤山アリマス、認定ト云フ文字ハ、只今私ガ最初ニ質問シタ時ニ於テノ意味ニ、遞信大臣ガ御答辯ニナッタヤウニ見エケレドモ、アレハ嘘ダ、ノミナラズ、認定ト云フ文字ハ何ゾ圖ラン民衆ノ爲メノ利益ニアラズシテ、會社ノ爲メノ利益ダ、會社

ハアノ十七條ノ認定ト云フ文字ガアル爲ニ、非常ナ利益ヲ受ケル、ナゼカト云ヘバ、此認定ト云フコトガ無イ限リ、大體ニ於テ叱言苦情ヲ會社ニ持込シテ來ル、然ルニ此認定ト云フコトガアルト、叱言苦情ガ會社ヨリ本省又ハ電氣委員會ノ方ニ轉嫁サレテ行ク、ソレ故ニ元來遞信省ノ腹ガ一方獨占ト定メテ、同時ニ電氣料ヲ安くシヤウト云フ腹ガ定ッテ居ルナラバ、非常ニ尊イガ、遞信省ノ腹ガ定ッテ居ラナイトスルト、此認定ト云フ文字ハ寧ろアナタノ所謂「即」ト云フ文字ニアラズシテ、資本案ノ爲メノ一種ノ道具デアアル、會社側ナリ一般資本案ハ此認定ト云フ文字ヲ一寸見ルト云フト、民衆ガ非常ニ喜ブ、又民衆本位一般需用者側カラ見ラレタル所ノ此對立セル一ツノ法規デアアルカノ如ク見エル、遞信省ノ方デハサウデナイ、肚ガチャントキマッテ居ッテ、其認定ノ效用ヲ發揮スル意見ハナイノダカラ、要スルニ此認定ト云フモノハ何カト云フト、自己ノ今マデノ爭議ノ面倒臭イノヲ、會社ガ役所ニ轉嫁サレタル所ノ卑劣ナル一ツノ手段ノ現レデア

ハ、今言ウタ獨占區域ニ於テノ需用者側カラ何等ノ有難味ヲ發見セザルノミナラズ、認定ト云ハレル所ノ文字ニモ、需用者側ノ有難味ヨリモ、寧ろ會社ガ

テ、政府委員ノ御答ガアリマシタガ、此三十二條ノ「第二十四條第一項ノ命令」ト云フ下ニ「及第二十八條第一項ノ處分又ハ命令」ト云フコトヲ之ニ併記スル御意思ハアリマセスカ、法文ノ體裁ハ別ト致シマシテ、私マダ修正意見デハアリマセスガ、重役ノ處分ニ付テ、非常ニ重キヲ置カレルト云フコトハ、先日申上ゲマシタ通り、株主總會ニ於テ選舉シタ重役ヲ改任スルト云フ如キハ、私ハ非常ナ重大問題ト思ヒマスカラ、少ナクトモ此條文ダケハ此處ニ併記スル御意思ハナイカドウカ、御即答出來ナケレバ、御協議ノ上デモ宜シウゴザイマス

○小泉國務大臣

松山サンノ御質問ハ能ク研究シテ明日御答致シマス

○高見委員 此間カラ屢、大臣ノ聲明ニ依ルト、區域ノ獨占、即チ電氣料ノ認可、斯ウ云フ御言葉ガアルノデアリマス、言ヒ換レバ、區域ノ獨占ト云フモノハ、兎角資本案ノ方ニ獨占サレル傾キガアル、ソレ故ニ自然電氣料ヲ認可スルト云フコトハ、一般需用家ノ爲メヲ圖ッタ所ニ認可ノ力ガアル、其處ガ所謂車ノ兩輪ノヤウニ「即」ト云フ文字ヲ用キラレルト云フヤウニ心得テ宜シウゴザイマス

○小泉國務大臣 御尋ノ趣旨ト考ヘテ居リマス

○清瀬委員 只今御尋シマシタ二十九條ノ買收ノ場合デアリマス、是ハ即チ二十八條ノ「法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分又ハ許可若ハ認可ニ附シタル條件」云々ト云フ規定ガアリマスガ、若シ二十九條ノ二項ニ依ッテ、公共團體ガ買收スルト云フ場合ニ、價格ノ點ニ於テ買收ニ應ジナイ、即チ遞信大臣ノ裁定ニ應ジナイト云フヤウナ場合ニ、買收ヲ辭退スルコトガ出來ルト云フコトデアリマスガ、此場合ニハ二十八條ノ第一項ヲ適用ナサル御積リデアリマスカ如何デスカ

○小泉國務大臣

御尋ノ趣旨ト考ヘテ居リマス

○高見委員 所ガ過般屢、遞信大臣ニ質問致シマシテ、今日ノ電燈料ナリ、或ハ動力料ナリニ於テ、殊ニ電燈料ナド、云フモノハ、人間ノ殆ド生活資料デアルガ、高イト云フ考ヲ持ツカ持ヌカト云フコトニ付テハ、明答ヲ避ケラレテ居ル、ソコデ此間ノ區域ノ獨占ニ關シテ、ソレガ需用者側ニ對シテドウ云フ長所ガアルカト云フコトニ付テノ御返事ヲ承ハラズニ終リマシタガ、今後ノ認定ト云フコトデナク、今現在ノ何千何百ノ電氣料ヲ認定スル場合ニ於テ、値段ガ高イカ安イカト云フ觀念ガ、マダ定マラナイトシマス、所謂即認可ト云フ趣旨ガ徹底出來ナイヤウニ思ハレル、何トナレバ、電氣料ガ高イカ安イカマダ定メナイノミナラズ、電燈料ヲ一應認定スルト云フ立場ノ上ニ御出發ニナル以上ハ、獨占ノ結果、一方會社ハ喜ブケレドモ、社會的政策ノ上カラ見テ認定スルト云フ腹ガ定ッテ居ラヌ限リニ於テハ直ニ車ノ兩輪ト言ハレヌト云フ非難ガ起ッテ來ル、同時ニ斯ウ云フコトヲ言フ人ガ澤山アリマス、認定ト云フ文字ハ、只今私ガ最初ニ質問シタ時ニ於テノ意味ニ、遞信大臣ガ御答辯ニナッタヤウニ見エケレドモ、アレハ嘘ダ、ノミナラズ、認定ト云フ文字ハ何ゾ圖ラン民衆ノ爲メノ利益ニアラズシテ、會社ノ爲メノ利益ダ、會社

ハアノ十七條ノ認定ト云フ文字ガアル爲ニ、非常ナ利益ヲ受ケル、ナゼカト云ヘバ、此認定ト云フコトガ無イ限リ、大體ニ於テ叱言苦情ヲ會社ニ持込シテ來ル、然ルニ此認定ト云フコトガアルト、叱言苦情ガ會社ヨリ本省又ハ電氣委員會ノ方ニ轉嫁サレテ行ク、ソレ故ニ元來遞信省ノ腹ガ一方獨占ト定メテ、同時ニ電氣料ヲ安くシヤウト云フ腹ガ定ッテ居ルナラバ、非常ニ尊イガ、遞信省ノ腹ガ定ッテ居ラナイトスルト、此認定ト云フ文字ハ寧ろアナタノ所謂「即」ト云フ文字ニアラズシテ、資本案ノ爲メノ一種ノ道具デアアル、會社側ナリ一般資本案ハ此認定ト云フ文字ヲ一寸見ルト云フト、民衆ガ非常ニ喜ブ、又民衆本位一般需用者側カラ見ラレタル所ノ此對立セル一ツノ法規デアアルカノ如ク見エル、遞信省ノ方デハサウデナイ、肚ガチャントキマッテ居ッテ、其認定ノ效用ヲ發揮スル意見ハナイノダカラ、要スルニ此認定ト云フモノハ何カト云フト、自己ノ今マデノ爭議ノ面倒臭イノヲ、會社ガ役所ニ轉嫁サレタル所ノ卑劣ナル一ツノ手段ノ現レデア

喜ブノデアル、總テ此案ト云フモノハ
需用者本位ニアラズシテ、資本主方面
ノ、是ハ一ツノ法案デアルト云フコト
ヲ非常ニ論ズル者ガ大變アルカノ如ク
ニ、又ソコニ非常ニ肯定サレル點ガア
ル、所ガ遞信大臣ハ之ニ對シテドウ云
フ御見解ヲ御持チニナツテ居ルカ

○小泉國務大臣 御答致シマス、此改
正法律案ハ、電氣事業者ニ利益ヲ與ヘ
ルトカ、若クハ一般ノ需用者ハ何等ノ
恩典ニ浴シナイトカト云フコトハ少シ
モアリマセヌ、屢、申上デマスル通り電
氣事業者ニ於テ、今日此複雑致シテ居
リマスル、而モ二重三重ニ無駄ナ投資
ヲシテ居ル所モアルヤウニ考ヘマス、
是ヲ統制致シマス、サウシテ此無駄ノ
所謂浪費ヲ省キマシテ、減資ヲヤツテ、
少イ原資ヲ使フ、隨テ消費者、即チ需用
者ノ方ニ於テ、今日ヨリ以上ノ安イモ
トガ使ヒ得ラレル、斯様ナコトヲ目的
ト致シマシテ、電氣事業者モ、需用者
モ、雙方トモ安イ料金デ使ヒ得ラレル、
斯様ナ考ヲ以テ案ヲ仕組ンダ次第デア
リマス、而シテ先日モ御話ガアリマシ
テ私モ其點ダケハ御勘辨ヲ願ヒタイト
確ニ申上ゲタノハ、其料金制度ノ此料
金ノ基準ヲ何處ニ取ルカ、斯様ナ御質
問デアッタノデアリマスガ、ソレニ付キ
マシテハ、現在ノ押ナベテ、此電力料
金ガ安イカ高イカ、之ニ對シテドウ云

ハ考デ持ッテ居ルカ、切詰メテ御問ノヤ
ウデアッタノデアリマスルガ、之ニ對シ
マシテ其時ニ申上ゲマシタ通り、安イ
高イト云フコトハ、ソコニ一ツノ目安
ガアツテ、其目安ヲ對象ト致シマシテ、
一番高イ一番安イ、譬ヘテ申シマスレバ
甚ダ失禮ナ申分デゴザイマスルガ、一
圓ノモノガ高イ五十錢ノモノガ安イト
云フコトハ必ズシモ言ヘナイノデアリ
マス、一圓デモ安クテ五十錢デモ高イ
ト云フヤウナ料金ガアリハシナイカト
思ハレルヤウナ節モアルノデアリマス、
ソレヲ今日何處ノ會社ガ安イトカ高イ
トカ申シマスルト云フト、申スマデモ
ナク財界ニ直ニ影響ヲ來ス虞ガアルト
考ヘマシテ、實ハ其答辯ヲ差控ヘテ載
キタイ、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマ
ス、幸ニシテ此案ガ通過致シマスルト
云フト、當局ニ於キマシテモ亦電氣事
業者ニ於キマシテモ、亦消費者ニ於キ
マシテモ、ソコニ例ヘバ十箇月ナリ或
ハ一箇年ノ準備期間、所謂豫備智識ノ
期間ガアリマスノデ、此間ニ於テ又其
邊ヲ適當ニ考慮致シマシテ、現在ニ於
ケル爭議モ成ベクソレマデニハ地方廳
ヲ通ジ、遞信局長ヲ通ジ、或ハ遞信省
ガ直接ニソレニ關係致シマシテ、出來
得ルナラバソレマデニ左様ナコトハ圓
滿ニ解決シテ、サウシラ料金制度、之ヲ
認可致シマスル時ニハ、最モ重大デア

リマスルカテ、此委員會ニ掛ケマシテ、
適當ナル所ノ標準ヲ立テ、カラ進ミタ
イ、斯様ニ慎重ナル考ヲ持ッテ居リマ
スカラ、ソレデ御満足ヲ願ヒタイと思
ヒマス、斯様ニ申上ゲタノデアリマス
此點ハ篤ト御諒解ヲ願ヒタイと思ヒマ
ス

○高見委員 遞信大臣ハ前ノ質問ノ要
領ニ付テ御忘レニナツテ居ルノデス、此
前ノ時ハ其點ハ篤ト協議シテ申上ゲル
カラ御勘辨願ヒタイ、ソレデ此以上追
窮シマセヌト私ガ申上ゲテ、其實問ニ
アナタノ御答辯ガナクテ、ソレ切リニ
終ツタ、獨占スルト云フコトノ御趣旨ハ
從來モ相當獨占デアッタ、然ルニ自由競
爭ガ多少許サレテ、ソレデ需用者側ガ
非常ニ喜ンデ居ル、詰リ高イ電燈料ナ
リ動力ヲ強ヒラレテ居ル所ヘ、他ノ會
社ニ許サレテ居ル、故ニ需用者側ハ現
ニ喜ンデ居ルノデアアル、ケレドモ一方
重要ナル產業ヲシテ永遠ナ發達ヲサセ
ル爲ニ、獨占ノ契約ヲスル、絕對獨占ノ
方針ニ向ッテ行クト云フ御方針ノ上ニ、
需用者側ガ果シテドレダケノ利益ヲ得
ルカ、ドウ云フ利益ヲ需用者側ガ持ッ
ノデアアルカ、需用者側ノ方針トシテ、
二本ノ電信柱ノ甲會社ト乙會社ガ一ツ
ニナル、サウシテ某々會社ノ獨占區域
ニナルト云フコトノ結果、需用者側ガ
如何ナル利益ヲ受ケルカ、需用者側ニ

取ッテ、之ニ付テ例ヲ舉ゲテ御覽ナサ
イ、衛生上カラ論ズル、光ノ力カラ論ズ
ル、工作ノ技術カラ論ズルニ、何ノ利益
ガ需用者ニアルカト云フ質問ヲシタ、
然ルニ其答ヲ聞クヲ得ズシテ終ツタ、
ダカラ今日答辯出來スト仰シヤルナラ
バ聞カナイ、要スルニ此絕對獨占ト云
フコトハ、大體ニ於テ電燈料ガ今高イ、
モット安クサセル必要ガアルト云フ肚
ガ玆ニアル時ニ於テノミ獨占ト云フコ
トノ意味ガ車ノ兩輪ニナツテ徹底スル、
其電燈料ガ高イカ安イカ、肝ガキマ
ナイ時ニ於テ、一方獨占ト云フコトヲ
熱心ニ主張サレルト云フコトハ、需用
者側ニ取ッテ何ノ利益ガ見ラレルノデ
アルカ、試ニ其例ヲ舉ゲテ見ヨト云フ
コトヲ私ハ聞イタノデアアル、ダカラ電
燈料ノ基本ノ肚ガキマラナイデ以テ、
端的ニ其獨占ト云フコトダケヲ主張セ
ラレルト云フコトハ、是ハ需用者側ノ大
體ノ狀態ヲ十分ニ御考慮セズシテ、サウ
シテ資本方面ダケヲ考慮ノ是ハ法案デ
アルト云フヤウナ結論ガ出テ來テモ仕
方ガナイデヤナイカト云フヤウナコト
ヲ私ハ論ジテ居ッタノデス、ソレガ此間
ノ質問デアアルカ、今日ハサウデヤナイ
今日ノ質問ハ先程私ガ質問ニ入ルニ先
立ッテ、即ト云フ言葉ヲ御使ヒニナツタ、
所謂絕對的ノ獨占ハ、即電氣料認可ト
云フ此御言葉ノ意味ハ質問ノ初メニ於

如何ナル利益ヲ受ケルカ、需用者側ニ

如何ナル利益ヲ受ケルカ、需用者側ニ

如何ナル利益ヲ受ケルカ、需用者側ニ

如何ナル利益ヲ受ケルカ、需用者側ニ

テ私ハ念ヲ押シテ見タ、一方ニ於テ需用者側ノ方面カラ眺メテ、區域ノ獨占即電氣料ノ認可ハ車ノ兩輪デハナイカト、其ノ通りト仰シヤルカラ、ソレデハ今日電氣料ニ對スル肚ガキマラナイデ、單純ニ認可タタト斯ウ仰シヤルト、如何ニモ會社ヲ抑ヘテ、サウシテ需用者側ノ爲ニ十分ナル力ヲ發揮スルト云フヤウナ形ニ見エケレドモ、其肚ガマダ——原案ガキマラナイデアアル以上ハ、此認可ト云フコトハ、ヤハリ是モ實ハ需用者側ノ——即トカ車ノ兩輪トカ仰シヤルケレドモ、需用者側ノ爲デハナイ、是ハヤハリ其資本家側ノ會社ノ爲ニ作ラレタル法文デアアル、ナゼト云ヘバ今ハ此法律ガ實際ニ於テ行ハレテモ、其認可ト云フコトノ土臺ニナル電燈料ハ、從來ノ電燈料ヲ大體ノ基本トシテ發表サレル、シテ見ルト損ガ少シモナイ、而シテ是ハ認可ニナッタノダ、故ニ從來ノ自由ノ契約ガ許サレテ居ル時ハ叱言ナリ電燈料ノ爭議ハ會社ニ持込デ來タ、今ハ認可タタト云フコトノ爲ニ、會社ノ認可ガナクナッテ、サウシテ御役所々々ト云フコトニナッテ來ルノダカラ、非常ニ手數ヲ省ケル、サウシテ認可ト云フコトヲ、所謂需用者ノ方ヘ權利ヲ與ヘテアルガ如キ法文デアッテ、其實ハサウデナイ今日ハ東京ノ役所ヘ行ッテ運動スル、サウシ

テ會社ハ認可ノ際レルト云フ、非常ニ都合ノ好イ條文デアアル、故ニ此法律モ眞ニ資本主ノミノ利益ノ爲ニ作ラレタ制限デアルト云フコトヲ論ズル者ガアル、一應尤ダト思フ、最初ニアナタハ即トカ車ノ兩輪トカ言ハレタガ、需用方面カラ眺メ、電氣事業ノ認可ト云フ方面カラ見テ、斯ノ如キ非難ガアルガ、果シテ遞信大臣ハ如何ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ私ハ質問シテ居ルノデアリマス、サウデナイナラナイ、サウ言ハレテモ仕方ガナイト云フナラサウ答ヘテ戴キタイ

コトハ事實上何處デモヤッテ居ル、ソコデソレニ對シテ供給者側ハドウナルカト云フト、十五燭ノ約束ヲシテ實ハ八燭若クハ十燭ノ電力シカ供給シナイ、サウシテ電氣ヲ盜ム、需用者モ電氣ヲ盜ミ供給者モ電氣ヲ盜ム、ソコデ一年デアリマシタカ、富山縣邊リニ非常ニヤカマシイ電燈爭議ガ起ッタ、其時ニ一燈ニ付テ五錢カ三錢料金ヲ安クシタケレドモ、其代リ電燈ヲ暗クスル、料金ヲ安クシタバケデハイケナイ、電燈ヲ暗クサレルト兒童ガ勉強スル上カラ言ッテモ、或ハ針ノ孔ニ絲ヲ通サユナ商賣ヲヤッテ居ル人々ハ、電氣料ヲ安クシテ貰ウタガ、電氣ヲ暗クサレテハ非常ニ困ル、何ノ意味モ爲サス、斯ウ云フコトデアッテ、是等ハ非常ニ今後電氣事業統制ノ上ニ於テ考ヘナケレバナラスコト、思フ、デ十七條ノ第二項ノ所謂「必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フ

○小泉國務大臣 高見君カラ諄々トシテ御説キニナリマシタ、其御説ハ私共モ一應御尤ニ感ズルノデアリマスガ、其供給區域獨占即料金認可制度ト申上

○高見委員 ソレデ話ガ漸次分ッテ來マシタ、今迄電燈料ト云フモノハ遞信大臣ノ職責ノ上ニ於テ今後ヨリ安クスルヤウニ努力スルト云フ、アナタノ一言ガ出ナイガ故ニ此議論ガ出タ、故ニ若モ需用者側ノ方面カラ眺メテ、電氣料認可ト云フ文字ガソコニ非常ナ權威

「必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フノハ「公益上必要アリト認ムルトキハ」云々ノ場合デアルトアリマスガ、今申上ゲタヤウナ何カ特別ナ工作上ニ關シテ公益ノ點トマデ進マナクテモ、約束

テ居ル時ハ叱言ナリ電燈料ノ爭議ハ會社ニ持込デ來タ、今ハ認可タタト云フコトノ爲ニ、會社ノ認可ガナクナッテ、サウシテ御役所々々ト云フコトニナッテ來ルノダカラ、非常ニ手數ヲ省ケル、サウシテ認可ト云フコトヲ、所謂需用者ノ方ヘ權利ヲ與ヘテアルガ如キ法文デアッテ、其實ハサウデナイ今日ハ東京ノ役所ヘ行ッテ運動スル、サウシ

給スル側ニ於テ何時モ問題ガ起ルノハ、刑法ノ改正案モ隨テ出タ譯デアアルガ、需用家ガ電力ヲ盜ム、五燭ノ電球ヲ取ッテ二十燭ヲ點ケル、十五燭ノ電球ヲ取ッテ二十燭ヲ點ケルト云フヤウナ

ナラバ、之ニ對シテ十分ナ監督、十分ナル施設ト云フヤウナコトニ對シテドウ云フ御研究ガアツタカ、又法文ノ上ニ

テ私ハ念ヲ押シテ見タ、一方ニ於テ需用者側ノ方面カラ眺メテ、區域ノ獨占即電氣料ノ認可ハ車ノ兩輪デハナイカト、其ノ通りト仰シヤルカラ、ソレデハ今日電氣料ニ對スル肚ガキマラナイデ、單純ニ認可タタト斯ウ仰シヤルト、如何ニモ會社ヲ抑ヘテ、サウシテ需用者側ノ爲ニ十分ナル力ヲ發揮スルト云フヤウナ形ニ見エケレドモ、其肚ガマダ——原案ガキマラナイデアアル以上ハ、此認可ト云フコトハ、ヤハリ是モ實ハ需用者側ノ——即トカ車ノ兩輪トカ仰シヤルケレドモ、需用者側ノ爲デハナイ、是ハヤハリ其資本家側ノ會社ノ爲ニ作ラレタル法文デアアル、ナゼト云ヘバ今ハ此法律ガ實際ニ於テ行ハレテモ、其認可ト云フコトノ土臺ニナル電燈料ハ、從來ノ電燈料ヲ大體ノ基本トシテ發表サレル、シテ見ルト損ガ少シモナイ、而シテ是ハ認可ニナッタノダ、故ニ從來ノ自由ノ契約ガ許サレテ居ル時ハ叱言ナリ電燈料ノ爭議ハ會社ニ持込デ來タ、今ハ認可タタト云フコトノ爲ニ、會社ノ認可ガナクナッテ、サウシテ御役所々々ト云フコトニナッテ來ルノダカラ、非常ニ手數ヲ省ケル、サウシテ認可ト云フコトヲ、所謂需用者ノ方ヘ權利ヲ與ヘテアルガ如キ法文デアッテ、其實ハサウデナイ今日ハ東京ノ役所ヘ行ッテ運動スル、サウシ

給スル側ニ於テ何時モ問題ガ起ルノハ、刑法ノ改正案モ隨テ出タ譯デアアルガ、需用家ガ電力ヲ盜ム、五燭ノ電球ヲ取ッテ二十燭ヲ點ケル、十五燭ノ電球ヲ取ッテ二十燭ヲ點ケルト云フヤウナ

ナラバ、之ニ對シテ十分ナ監督、十分ナル施設ト云フヤウナコトニ對シテドウ云フ御研究ガアツタカ、又法文ノ上ニ

於テドウ云フ所マデ現レテ居ルカト云フコトヲ試ミニ聞イテ置キタイ

○小泉國務大臣 只今高見君ノ御質問ノヤウナ電氣等ヲ盜ム、而シテ又爭議ノ結果料金ヲ安クシテモ電力ヲ減ラシテ、從來ノ明ルサガ減退サレルト云フコトハドウモ往々アルヤウデアリマス、此弊害ヲ是正シ、嚴重ニ取締ルガ爲ニハ、或ハ十五條ノ二項ニ於テ「電燈ノ光度、供給點ニ於テ保持スベキ電壓、周波數、電氣工作物其ノ他供給業務ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアツテ、ソレニ依ッテ從來ノ弊害ヲ絶滅スルコトヲ希望シテ居リマス

○高見委員 十五條ノ「電燈ノ光度、供給點ニ於テ保持スベキ電壓、周波數、電氣工作物其ノ他供給業務ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノト、次ノ「其ノ他供給條件ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキ」ト云フノトハ、其間ニドウ云フ關係ガアルノデアリマスカ

○富安政府委員 只今ノ御尋ハ「光度供給點ニ於テ保持スベキ電壓、周波數、電氣工作物」ソコマデ舉ゲテ來タモノト「其他供給條件ヲ設定シ、又ハ變更セントスルトキ」ト云フ事項ト、ドウ云フ關係ガアルカト云フデアリマスカ、光度、電壓、周波數等ハ稍、専門的ノ用語デアリマスカラ、私共ト致シテ

ハ満足ノ行クヤウナ御説明ハ甚ダ出來ナイコト、存ジマスガ、極ク常識的ニ考ヘマシテ、光度ト云フノハ明ルサト御考ヲ願フテ宜イト存ジマス、ソレカラ電壓ト申シマスノハ、只今電燈ヲ暗クスルト仰シヤイマシタガ、電壓ヲ下ゲルトハハリ暗クナルノダサウデアリマス、併シ光度ト電壓トノ關係ニ付テ若シ御必要ナラバ、説明員カラ申上ゲサセマス、周波數、是亦専門的ナ事デアリマスケレドモ、何デモ交流電氣ガ一秒間ニ方向ヲ變ヘル數デ、其變ルコトガ一定シナイト云フコトデアリマス、特殊ノ産業、例ヘバ絹ノ機ヲ織ルヤウナ時ニハ、非常ニ能率上ニ影響ヲ來シテ生産費ニ支障ヲ及ボサウデアリマス、左様ナコトハ總テ一口ニ申シマシテ、優良ナル、品質ノ良イ電氣ト決定スル標準事項デハナイカト思フノデアリマス、是等ノコトヲ舉ゲマシテ、今仰シヤウナ意味ニ於テ電氣供給者ガ胡麻化スコトヲ防グヤウナ規定ヲ作リタイ、其規定ハ現ニ施行法ニアルノデアリマスガ、ソレヲ法律ニ引上ゲテ、一層其效果ヲ發揮セシメヤウトスルノデアリマス、ソレ等ノ事柄ト、其ノ他供給條件」ト云フ事項ハ、ヤハリ是モマア概括的ニ漏レタモノヲ此處ニ入レタ譯デアリマスケレドモ、假ニ例ヲ申シマスナラバ、電球ノ取替ニ關ス

ル「サービス」デアリマスとか、其他工夫ノ散宿所ト云フモノガアリマス、工夫ガ澤山多イ程見廻リガ出來タリ、修理ガ出來ルノデ、御客サンノ都合ガ好イ、一寸私ノ考ヘ付キマシタコトニ於テモ、サウ云フヤウナ優良ナ「サービス」ヲ提供スルコトニ關係スベキ事柄ガ多々アルノデアリマス、是等ノ事柄ヲ命令ニ讓リマシテ、詳シイ規定ヲ設ケテ、只今御心配ヲ戴キマシタヤウナコトノ絶滅ヲ期シタイト云フ考ヲ以テ是ガ立法ヲ致シテ居ルノデアリマス

○高見委員 「其他ノ供給條件」ト云フノハ「サービス」ダケデアリマスカ、モウ少シ具體的ナ説明ヲシテ貰ヒタイノデアリマス、「電氣料金其ノ他供給條件」ト云フノヲ、僕ハ十五條ト十七條トニ關係シテ二ツ合シテ聞イテ居ルノデ、今申上ゲタ所ノ目的、工作物ヲ完全ニシテ電氣ノ失ハレスコトヲ目的トスル十五條ノ二項、十七條ノ一項ノ供給條件ト云フモノ、意味ノ中ニ、私ガ聞カウト思フ所ノモノガ、ドウ程度マデ含マレテ居ルカト云フ意味デ聞イテ居ルノデアリマス、ソレカラ序ニ申上ゲマスガ、三十五條ト三十六條ニ於テ、三十五條ハ、十七條二項、二十四條一項ノ命令ノ違反者ダケヲ見テ居ルシ、三十六條ハ十五條一項ノ規定ニ違反シタルコトヲハッキリ書イテアリマスガ、此制裁ニ關スル規定等モ明カニシタイト思フカラ、之ヲ私ハ明確ニシテ戴キタイト云フ意味デ聞イテ居ルノデアリマス、要スルニ私ノ質問ハ「供給條件」ト云フ此條件ノ中ニハ今私ガ御聞キ申シタコトガ少シモ關係ノナイノカ、アルノカト云フコトヲハッキリ聽カセテ貰ヘバ、制裁ニ關係シタ三十五條、三十六條ノ規定モ能ク分ッテ來ルノデス

○富安政府委員 第十七條ニ於テ「料金其ノ他供給條件」ト申シテ居ルノハ、例ヘバ料金ト申シマスナラバ、電壓料金ナラドレダケ幾ラ、定量ナラ月割幾ラト云フコトハ申上ゲルマデモナイ、電氣料金ト云フノハ、一燭光ガ幾ラ、定料ナラ「キロ」アタリ幾ラト云フコトガ料金デアリマス、又供給條件ト申シマスノハ、電氣料金ノ計算ヲ補助的ニ補ッテ行ク、色々ナ條件ガアルノデアリマシテ、例ヘバ屋内配線使用料デアルトカ、定期「メートル」使用料ノ損料デアルトカ、電球ノ引替料、ソレ等ノモノハ供給條件ト致シマシテ、實質的ニハ御客様ノ頭ニ掛ッテ來テ、ソレノ如何ニ依リマシテ御客様ノ負擔ガ重クナッタリ輕クナルト云フコトノ性質ノモノデアリマス、併シソレハ料金ト云フ言葉ガ必ズシモ當ラナイト思ヒマ

○富安政府委員 第十七條ニ於テ「料金其ノ他供給條件」ト申シテ居ルノハ、例ヘバ料金ト申シマスナラバ、電壓料金ナラドレダケ幾ラ、定量ナラ月割幾ラト云フコトハ申上ゲルマデモナイ、電氣料金ト云フノハ、一燭光ガ幾ラ、定料ナラ「キロ」アタリ幾ラト云フコトガ料金デアリマス、又供給條件ト申シマスノハ、電氣料金ノ計算ヲ補助的ニ補ッテ行ク、色々ナ條件ガアルノデアリマシテ、例ヘバ屋内配線使用料デアルトカ、定期「メートル」使用料ノ損料デアルトカ、電球ノ引替料、ソレ等ノモノハ供給條件ト致シマシテ、實質的ニハ御客様ノ頭ニ掛ッテ來テ、ソレノ如何ニ依リマシテ御客様ノ負擔ガ重クナッタリ輕クナルト云フコトノ性質ノモノデアリマス、併シソレハ料金ト云フ言葉ガ必ズシモ當ラナイト思ヒマ

スガ、料金其他ノ供給ノ條件ト致シタ次第デアリマス、ソレガ十七條ノ「料金其ノ他供給條件」ト云フ意味デアリマス、ソレカラ供給業務ニ關スル其他ノ條件ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウナコトガ業務上ニ於テ意味サレテ居ルノデアリマス

○高見委員

最後ニモウツ聞イテ置キタイノハ、此御答辯ノナカッタ所ヲ承テ見タイ、詰リ獨占區域ト云フコトヲ御主張ニナルト云フコトハ、需用者側ニ取ッテドレダケノ利益ガアルカナリ取締ガ居ッテ、無駄ナ金ヲ大變費シテ工作費ナリ資本ガ掛ッテ、其爲ニ電氣料ヲ安クスレバ會社ガ潰レルト云フヤウナ危險性ガアッテ、ドウシテモ此場合ニ於テ需用者側ヲ犧牲ニ掛ケナケレバ其會社ガ存在シナイト云フコトガ明カニナッタナラバ、或ル程度ニ於テ國家ガ公債ヲ發行シテ、損ヲシテマデモ買ッテモ宜イト思フ、ソレデ初テ從來電氣ノ産業ノ綿ヲ作り綿絲ヲ作ルト云フヤウナ、産業ニ直接關係ノアルモノヨリモ、電氣ト云フモノハ空氣ト食物ト同ジヤウナ關係ヲ持ツモノデアリマス、ソレ故ニ需用者側ノ立場ト云フモノヲ御忘レニナッタ以上ハ、實際ニ於テ意味ヲ爲サヌノデアリマス、此電氣業法ト云フモノ、趣意ガ私ハ徹底セヌト思ヒマス、何處マデモ需用者側ノ意思ヲ達シテ行ク、ソコデ私ハ國家ノ政策トシ

テ、寧ロ今マデ高イ工作賃ヲ出シテ居ッテ、若モ高イ電燈料デナケレバ會社ガ持テヌト云フヤウナコトガアッテ、サウシテ其區域ノ人間ハ其爲ニ相當犧牲ニ掛ケラレ、其區域ノ需用者ガ犧牲ニ掛ケラレルト云フ危險ガアルナラバ、或ル程度マデ國家ガ金ヲ出シテ、損ヲシテマデモソレヲ調節スルコトハ眞ノ社會政策デアルト私ハ考ヘルカラ、是ハ需用者ノ立場ヲ非常ニ考ヘナケレバナラス、若モ今マデノ古イ下手ナ理事者ナリ取締ガ居ッテ、無駄ナ金ヲ大變費シテ工作費ナリ資本ガ掛ッテ、其爲ニ電氣料ヲ安クスレバ會社ガ潰レルト云フヤウナ危險性ガアッテ、ドウシテモ此場合ニ於テ需用者側ヲ犧牲ニ掛ケナケレバ其會社ガ存在シナイト云フコトガ明カニナッタナラバ、或ル程度ニ於テ國家ガ公債ヲ發行シテ、損ヲシテマデモ買ッテモ宜イト思フ、ソレデ初テ從來電氣ノ産業ノ綿ヲ作り綿絲ヲ作ルト云フヤウナ、産業ニ直接關係ノアルモノヨリモ、電氣ト云フモノハ空氣ト食物ト同ジヤウナ關係ヲ持ツモノデアリマス、ソレ故ニ需用者側ノ立場ト云フモノヲ御忘レニナッタ以上ハ、實際ニ於テ意味ヲ爲サヌノデアリマス、此電氣業法ト云フモノ、趣意ガ私ハ徹底セヌト思ヒマス、何處マデモ需用者側ノ意思ヲ達シテ行ク、ソコデ私ハ國家ノ政策トシ

イ、斯ウ云フモノヲ買フニハ獨占區域ト云フモノヲ立テ、サウシテ電燈會社ヲ買フト云フ譯ナラバ、寧ロ國家ガ損ヲシテモサウ云フモノハ買上ゲテ、全般ノ需用者側ノ幸福ヲ見テヤルト云フ所ニ、私ハ寧ロ買收トカ何トカ國家ガ損シテモ、其損ハ全國民ガ一致シテ引受ケテ、サウシテ需用者側ノ利益ヲ見テヤッテ、斯ウ云フモノハ買上ゲルト云フコトガ、是ハ一寸見ルト會社側ノ爲ニ言ッテ居ルヤウデアリマスガ、サウデハアリマセヌ、私ハ全般ノ社會政策トシテ利益ガアラウト思ヒマス、買收ノ利益モ其處ニアリマス、會社ガ儲ケテ居ルモノヲソレヲ國家ガ買ッテ儲ケテ見タ所デ、會社ハ何ガ喜ブカ、需用者側ガ何處ガ喜ブカ、會社ガ儲ッテ居リ、工作費モ安クナリ、需用者側モ満足デアルト云フノニ、國家ガ買ッテドウスルノデアリマスガ、何處カニ不平均ガアルモノヲ國家ノ力デ以テ需用者側モ、供給者側モ共ニ幸福ニサセルト云フコトガ、大ナル國家ノ政策デアリハシナイカト思フ、ソレ故ニアナタハ大膽率直ニ某々會社ハドウシテモ算盤ガ持テヌ、某會社ハ大地震ノ災害ヲ受ケタ爲ニ算盤ガ持テヌト云フヤウナ場合ニハ、一千萬圓デモ、二千萬圓デモ國家ガ損ヲシテ此會社ヲ買收スル方ガ宜イ、國民ハ却テ正直ナ政府ノ態度ヲ歡

迎シマス、私ハ需用者ノ立場ト云フモノ十分ニ考慮ノ中ニ入レナケレバ、電氣事業法案ト云フモノ、眞ノ目的ハ達セラレナイ、然ルニ先程電燈料ノ問題ニ付テハ、將來安クスルコトヲ目的トシテ大ニ努力スルト云フ遞信大臣ノ聲明ハ非常ニ多トスルケレドモ、今安イカ高イカト突キ詰メテ見ルト、ソレハ待ッテ吳レト云フ、シテ見レバ獨占區域ガ事業者ノ爲ニ利益ヲサセルモノデアッテ、モウ最近ニ於テ獨占區域ハ破レテ居ル爲ニ、ドレ程需用者ガ喜ンデ居ルカ分ラヌ、シテ見レバ需用者ノ方面ニ於テ獨占區域ナル爲ニ却テ會社ト會社ガ妥協シ、サウシテ獨占ト云フモノノ蔭ニ隱レテ益、横暴ヲ働キ、需用者ハ何ノ利益モ受ケナイ、此私ノ質問ハソレ切リニナッテ居ルノデアリマスガ、若モ政府ニ於テ斯ウ云フ所ニ需用者ノ利益ガアルト云フ端のナル明快ナル御答辯ガアレバ伺ヒタイ

○小泉國務大臣 區域ヲ獨占スルノデナク、獨リ電氣事業者ノミヲ利益シテ、需用者ニハ何等ノ利益ヲ發見スルコトガ出來ナイ、斯様ナ御質問ノヤウデアリマスガ、此事ニ付キマシテハ前回モ申上ゲタト記憶シテ居リマスガ、現在デハ御承知ノ如ク料金ハ届出制度ニナッテ居リマシテ、其料金ガ高イカ安イカヲ突キ詰メテ調査スルマデノ法規ニ

ナツテ居リマセス、其爲ニ今回此法案ノ精神ハ料金ヲ認可スルニ非ザレバ、無暗ニ料金ヲ決メルコトハ出來ヌ、ソレヲ致シマスノニハ、區域ダケハ獨占ヲ原則トスル、只今仰セノ如ク、或ル程度マデ自由競争ヲ許スコトガ需用者ニ對シテハ利益ヲ與ヘルノデナイカ、是ハ其通りノ結果ハアルデリマセウカ、此協定ナルモノモ、或ル程度デ其公平ヲ得テ長ク續ケテ居リマスレバ、サウ云フ需用者ノ非常ナ利益ニモナリマセウガ、今日マデノ實績ニ徴シマシテ、此協定ナルモノハ僅カノ年月、若クハ月日ヲ經マスト、直チニ二會社ナリ、三會社ナリ競争シテ居リマシタモノガ合同致シマス、ヤハリ一本ニナツテシマフノデアリマス、サウシテ是ガ獨占トナルト、ソコニ非常ナ弊害ガ生ズルノハ御説ノ通りデアリマス、但シ其弊害ノ生ジマスノハ、料金ガ認可制度ニ非ズシテ、届出制度ノ爲ニ起ルノデアリマス、將來ニ於キマシテハ其料金ハ認可ヲ得ルニ非ザレバ勝手氣儘ニ決メルコトガ出來ナイ、ソコニ斯ウ云フ一ツノ取締ヲ致シマスカラ、今後ニ於キマシテハ、需用者ニ對シマシテモ極メテ公平ナ、從來或ハ高イ、或ハ安イト云フコトニナツテ居タガ、ソレヲサセヌガ爲ニ今回此法案ヲ出シタノデアリマス、一面カラ申シマスレバ、區域ヲ獨

占トシテ、料金ヲ認可制度トシマシタナラバ、僅カナ間ノ競争デ僅カナ利益ヲ得マスヨリモ、永久的ニ公平ニ、而モ幾許カ低廉ナル料金デ濟ンデ行クト思ヒマスカラ、ヤハリ區域ヲ獨占トシテ、併セテ料金ヲ認可制度ニ致シマスコトガ、需用者ニ對シマシテハ極メテ利益デアアル、斯様ニ信ジテ居ル次第デアリマス

○高見委員 ドウモ満足出來ナイ、何故出來ナイカト言ヘバ、是カラ電燈會社ヲ興シテ、初メテ電燈ヲ點ケルト云フヤウナ場所ナラバ、成程認定ト云フ法律上ノ效果ヲ發揮スルコトガ出來ルガ、今日日本ノ全國ノ大部分ハ皆電燈ガ出來テ居ル、現在ノ電燈料ガ高イカ安イカ分ラスト云フ御議論デハ、何ト云ツテモ私ハアナタノ御説ニ満足スルコトハ出來ナイ、結局獨占區域ト云フコトハ單ニ事業者ノミノ利益ニナルデナイカ、ソレハ電氣料ヲ認可スルカラ宜イト仰シヤルケレドモ、是カラ新シイ電氣ヲ起シテ認可ヲスルナラバ宜シイガ、現ニ此法律ガ行ハレル際ニ、今ノ電燈料ヲ高イト見ルカ安イト見ルカト云フ質問ニ、アナタガ高イト見ルト仰シヤレバ此法律ガ意味ヲ爲シテ、サウシテ非常ナ活躍ヲ呈シテ來ル、此法律ガ社會的ニ活キテ來ル、現ニ電氣ヲ使ッテ居ル、ソレガ高イカ、安イカ分ラスト

今ノ所此儘一應認定セナケレバナラヌト云フ時ニ於テ、私ノ申上ゲルコトハマルデ意味ヲ爲サヌコトニナル、ソレハドウモ洵ニ遺憾トスル所デアルガ、併ナガラ私ハ茲ニアナタガ是カラ安クスルコトニ努力スルト、遞信大臣トシテ言ハレタ一言ハ記錄ニ殘ルシ、又社會ニモソレガ十分ニ徹底シテ行クト思フカラ、遞信省ノ役人モ其積リデヤラレルコトデアラウト思フ、社會政策ノ立場ニ於テドウ云フコトヲ一般ノ需用者ガ叫ンデ居ルカ、若モ其需用者ノ方デ電氣料金ノ認定ニ付テ、今私ガ申上ゲタヤウナコトガ、能ク頭ニ入ッタ時ニ於テノミ其認定ハ車ノ兩輪ノ如クニナル、若シ其信念ガナイ限リニ於テハ、アナタノ認定ト云フコトハ社會ハドウ見テ居ルカト言ヘバ、是モヤハリ資本家側ノ爲ニシタ所ノ認定デ、認可ヲ役所デヤルコトニナッタダケデ、會社大萬歳デアルト喜ンデ居ル、ソレデ早ク此根本ノ解釋ヲ御定メニナツテ、現在ノ料金ニ付テ國民生活ノ上ニ於テ高イトスレバ、之ヲ斯ウスルア、スルト云フ所ノ十分ナル御意見ヲ、一刻モ早ク決メラレンコトヲ望ンデ、私ハ此質問ヲ止メマス

云フコトニアルノデアリマス、ソレハ事業家モ損シナイ、民衆モ利益ヲ得ルト云フヤウナ所ニ達シタイノガ目的デアリマス、料金ハ所ニ依ッテ千差萬別デアリセウケレドモ、東京、或ハ大阪ト云フヤウナ主ナル地方ニ於ケル料金、及ビ遞信省ニ於テ全國ノ平均料金ガダレダケニナツテ居ルカ、表ヲ一ツ頂戴シタイ、ソレカラ此表ニ依ルト、昭和四年度ノ發電力ガ出來テ居ルガ、五年度ハマダ出來テ居ラナイノデアリマスガ、ソレガ必要デゴザイマスカラ、昭和五年度ニ於ケル發電力及ビ需要高ノ件數ヲ頂戴致シタイ

○富安政府委員 承知致シマシタ
○河西委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午後一時ニ開會致シマスト思ヒマス、公報ヲ以テ御通知致シマス

午後六時四分散會

昭和六年三月十二日印刷

昭和六年三月十三日發行

○松山委員 質問ハ別ニ致シマスガ、要スルニ電氣事業ノ統制ヲヤルト云フコトノ根本問題ハ、料金ヲ安クスルト